318
久
1041

基本戰術研究

下編

本戰術研究下篇

野外勤務

想定第一 …… 二
支隊前進命令細部ノ講評 …… 七
支隊ノ一部ニテ就テ …… 一四
命令ニ具備スヘキ性能 …… 一七
行軍命令ニ記載スヘキ要件及其注意 …… 二五
訓令ニ就テ …… 二七
訓令ニ記載スル普通ノ要點 …… 二七
騎兵捜索警戒ニ就テ …… 二八

明治
39 12 12
交内

前衛ニ砲兵ヲ配屬スルノ利害ニ就テ……三〇
軍隊宿營地出發ノ方法ニ就テ……三六
軍隊ノ集合ニ就テ……四二
前進ニ方リ大行李ノ集合法ニ就テ……四七
支隊命令答解ノ理由……四九
軍隊區分及支隊命令……五一
捜索勤務ノ要旨……五二
捜索ニ任スル騎兵中隊ノ最モ多ク遭遇スル狀況及之レニ
處スルノ方法……五四
斥候ノ目的……五七
斥候ノ人員……五七
斥候ノ區分……五八
斥候ノ行進法……六〇

夜間斥候……六一
行軍間ノ斥候……六三
戰鬪間ノ斥候……六七
將校斥候……六八
騎兵尖兵ニ就テ……七〇
騎兵側斥候ニ就テ……七三
捜索ニ任スル騎兵ノ行進速度……七六
報告ニ就テ……七八
支隊長ノ決心……八九
支隊ノ前哨配布及宿營ノ略圖ニ關シ細部ノ講評……九〇
前哨各部隊普通ノ區分、任務及位置ニ就テ……九三
前哨各部ノ距離及其警戒面……一〇二
普通ノ場合ニ於ケル前哨配布ノ順序……一〇四

前哨ニ關スル二三ノ注意……一〇九
敵ト稍接近シタル宿營警戒……一一一
前哨抵抗線ノ選定……一一一
村落露營……一一二
前哨ニ於ケル斥候ノ研究……一一五
前哨略圖記載ノ注意……一一七
宿營略圖記載法ノ注意……一二一
支隊ノ前哨配布及宿營略圖答解ノ理由……一二三
想定第二
宿營命令答解ニ關スル講評及其理由……一三三
舍營地ノ廣袤形狀設備ニ就テ……一三八
給養ニ就テ……一四七
作戰命令中給養ニ關スル一ノ記載方ニ就テ……一五三

宿營命令ニ記載スヘキ要件……一五四
宿營ニ關スル混成第一旅團命令……一五七
舍營準備ヲ爲ス舍營司令官以下ノ動作……一六一
宿營地ヨリ前進(軍隊區分)……一六八
前哨ノ撤收及小ナル前衛ノ前進法……一七〇
旅團ノ宿營配備戰鬪準備隊形ノ露營)ニ關スル講評及答解……一七四
ノ理由……一八二
戰鬪後師團ノ警戒及宿營ノ講評……一八六
仝右理由……一九二
想定第三
師團概略ノ宿營法……一九三
獨立騎兵ノ宿營並ニ警戒法ノ講評……一九七
前衛命令及前哨諸部隊命令ノ講評……

宿營ニ關スル前(後)衛命令ニ記載スヘキ要件……二〇一
前哨命令ニ示スヘキ要件……二〇四
前衛命令……二〇五
前哨命令……二〇八
前哨中隊命令……二一一
前衛獨力ヲ以テスル攻撃……二一四
想定第四
情況判斷ニ就テノ說述……二一八
左縱隊長情況判斷ノ講評……二三四
左縱隊長情況判斷……二三七
陣地占領ノ講評……二四四
工事ニ就テ……二四七
防禦配備略圖記載ノ注意……二四九
左縱隊長決心ノ講評……二五七
左縱隊長ノ決心、理由、處置……二五八
補遺
砲兵陣地偵察略圖記載ノ注意……二六三
敵前ニ於ケル渡河及架橋ノ爲メノ配備略圖記載ノ注意……二六四
攻撃配備略圖記載ノ注意……二六五
行軍略圖記載ノ注意……二六六
露營略圖記載ノ注意……二六七
露營ニ於テ各官ノ下スヘキ命令及處置ニ關スル項目ノ大要……二六八

下篇目次終

下篇研究ノ爲メ所要地圖

二十万分一　名古屋　豊橋

二万分一　名古屋　熱田　大高　知立　箕輪

上野村　岡崎　平針　擧母　刈谷

基本戰術研究下篇

野外要務

想定　其一

所用地圖　二十万分一名古屋、豊橋、二万分一名古屋、熱田、大高、知立、箕輪、上野村、岡崎、

東軍ノ主力ハ京都附近ニ於テ神戸附近ニ上陸セシ敵ト對持ス

駿河灣内ニ上陸セシ敵ノ一部ハ東海道ヲ名古屋ニ向ヒ前進ス

東軍司令官ハ四月七日夕名古屋殘留ノ諸隊中ヨリ一支隊ヲ編成ス此支隊ノ任務ハ東海道上ノ敵ニ對シ成ルヘク遠クニ於テ名古屋ヲ掩護スルニ在リ

該支隊ノ兵力左ノ如シ

歩兵第六聯隊及同第三十三聯隊ノ第一大隊

騎兵第一中隊

砲兵第一大隊(野砲)
工兵第一中隊ノ一小隊
衛生隊二分一

歩兵第五旅團長之ヲ指揮ス

支隊ノ諸隊ハ四月七日夜名古屋附近ニ宿營シアリ
情報ニ依レハ敵ハ今夕ヲ以テ豊橋附近ニ達スルノ距離ニ在リ其兵力
ハ未タ詳ナラス

問題

四月八日ノ爲ノ支隊命令

答解ニ關スル講評

翌朝諸隊ヲ悉ク一地ニ集メテ命令ヲ下ス場合ハ翌朝迄ニ情況ノ變
遷ニ由テ決心又ハ處置ヲ變スルノ顧慮アル片等トス
作業ノ答案トシテ單ニ明朝集合ノ一ノミヲ命令シ置キ筆ヲ改メテ

明朝ニ於ケル命令ヲ記ス如キハ作業トシテハ毫モ價値無シ
此想定ニ於ケル敵情ハ新ナルモノニシテ支隊モ新ニ編成セラレタ
ルモノナルヲ以テ京都方向ノ情況ハ部下ノ内或ハ知ル人アランモ
駿河灣方面狀況ヲ示サレハ之ヲ知ラサルモノモアラン我ノ向フ
所ノ敵ハ孰レヨリ來ル敵ナルヤヲ知ラスシテ前進スルカ如キハア
ランカ騎兵隊長等ハ任務ヲ果ス能ハサルヘシ此故ニ我支隊ハ駿河
灣ニ上陸シテ東海道ヲ西進スル敵ニ向テ前進スルモノナルヿヲ明
示スルヲ要ス

命令ノ第二項我目的トシテ書キ現スニ名古屋掩護ノ目的ト示スハ
支隊直後ノ目的ニアラスシテ永久ノ目的ナリ故ニ此場合是ヲ示ス
ハ支隊長自己ノ任務ヲ知ラシムルモノニシテ已レノ責任ヲ部下ニ
頒ツニ同シキヲ以テ示スノ必要全ク無ク唯タ直後ノ目的ヲ示セハ
可ナリ若シ支隊固有ノ任務ヲ示スノ必要アラハ各隊長ヲ集メシ時

隊長ノミニ示スヘキナリ然レ𪜈是亦必ス示スヘキモノニハ非サルナリ

我目的ヲ示スニ例ヘハ豐橋ト記スルモ差支ナシト雖モ情況上其日到達シ得ル地點ヲ示スヲ宜シトス然レ𪜈近キニ過キ先頭部隊既ニ其地ニ到着シ更ニ命令ヲ請フカ如キ地點ノ指示ハ返テ害アリ

獨立騎兵ニ行進路ヲ示シ或ハ之ヲ規定スルハ原則ニ戻ルモノナリ

獨立騎兵ニ命令スルニ何々方向ニ前進スヘシトスルヨリモ何々方向ヲ捜索スヘシト命スルヲ宜シトス

將校斥候ヲ出スハ通常騎兵隊長ニ委スルヲ可トス支隊長カ特ニ之ヲ出スハ騎兵隊ノ進路ト相反スル方向ニ出ストキ或ハ特別ノ任務ヲ課シテ派遣スルトキ等ナリ

前衛ヲ歩兵第三十三聯隊ノ一大隊トスルハ爾後ノ使用ニ不便ナルヲ以テ後尾ニ置キ戰鬪ニ方テ豫備隊ト爲スノ計畫トセハ早タヨリノ混交ヲ避クルヲ得ヘシ

前衛ト本隊トノ距離ヲ示スハ敢テ害ナシト雖モ通常ノ場合ニ於テハ支隊長本隊ノ先頭ニ在テ行進スルヲ以テ本隊先頭部隊ノ發進ハ支隊長直ニ命スルヲ得ヘキカ故ニ此距離ハ必ス示スヲ要スルモノニハアラサルナリ

名古屋ノ如キ大市街ニ於テ出發點ヲ千種村ノ東端或ハ名古屋市ノ南端等ノ遠隔セル地點トスルハ害アルモノナリ何トナレハ此ノ出發點ヲ經過スル迄支隊ハ整頓セス又受命者モ其出發地點迄ノ距離ヲ測リ自己ノ隊ノ出發ヲ規定スル等甚タ繁雜ナレハナリ

本隊ハ何時迄ニ云々ト此迄ト云フ字ヲ附スルハ不必要ナリ何時何分云々ト示セハ足ル

道路上ノ集合ハ成ルヘク避クルヲ宜シトス集合ヲ終リシ後ハ害少シト雖モ集合ヲ爲ス迄ノ間ニ於テ混雜ヲ生スルノ虞アリ殊ニ拂曉

以前ノ集合ニ於テ甚シキモノトス又砲兵ノ如キハ就中道路上ノ集合ニ困難ヲ感スルモノタリ

宿營ニ於テ大行李ハ通常各隊ノ所在地ニ在ルモノニシテ各隊長ハ明日ニ關スル命令ヲ支隊長ヨリ受領セハ是ニ基キ更ニ副官ヲシテ大行李ノ集合地及此地ニ至ラシムルニ要スル時間取ルヘキ道路等ヲ指示セシメ此方法ニ依テ大行李ハ所命ノ地點ニ集合シ而シテ後始メテ大行李長ノ指揮下ニ入ルモノナリ

大行李ノ集合及出發ハ此場合時間ヲ以テ示スヲ宜シトス諸隊出發後云々ト命令セハ運動迅速ノ利益アルモ又混雜ヲ生スルノ虞ナシトセス尚又休憩時間ヲ減スルノ害モアリ大行李ハ假令戰鬪アル日ト雖モ晝間ハ左程疲勞スルモノニアラス行軍間ニ於テモ其行進時間ハ諸隊ト甚シキ差アルモノニモ非ス唯疲勞スルハ夜間睡眠ノ不足ニ在リ故ニ朝ハ出來得ル限リ出發時ヲ遲クセシムルヲ要スルモノナリ

大行李ノ指揮官ハ命令中ニ示サヽルモ定リアルモノトシテ可ナリ又實際ニ於テモ今夜下ス命令ニ於テ示サヽルモ既ニ定リアルモノナルヘシ

新任務ニ就キタル支隊ナルヲ以テ今夜ハ各隊長ヲ集ムルノ必要アリ何トナレハ命令以外ニ訓示ヲ爲シ或ハ支隊長ノ意圖等ヲ示スヲ要スルコトアルヘケレハナリ

一、軍隊區分ニ就テ

軍隊區分トハ作戰及戰術上特別ナル目的ノ爲メ一時用フヘキ軍隊ノ編組ヲ云フモノニシテ例ヘハ大ナル軍隊ノ運用ニ方テ支隊(特別ノ任務ヲ與ヘ獨立シテ動作セシムルモノ)ヲ設ケ又ハ戰術上前衛後衛等ヲ設クルカ如シ

軍隊區分ヲ爲スニ方テ注意スヘキハ戰鬪序列ニ基キ勉テ建制部隊

ヲ分割セサルニアリ是レ成ルヘク統御及經理等ノ系統ヲ維持センカ爲ナリ(要務令第三ノ要旨)

戰備行軍ニ於テ軍隊區分ヲ指示スルハ如何ナル時機ニ於テスルヲ最モ有利ト爲スカヲ研究センニ宿營ニ就ク時ニ於テ明日ノ爲軍隊區分ヲ爲サンカ是レ發進ニ際シテ行軍縱隊ニ入ル爲ニ費ス時間少クシテ便利ノ點多シ然レ𪜈情報ノ集聚シ來ルハ通常夜ニ入ルヲ以テ宿營ニ就クヤ明日ニ關スル軍隊區分ヲ計畫スルヿハ多クハ爲シ能ハサルナリ然ラハ前夜ニ於テ下ス出發命令ノ際軍隊區分ヲ示サンカ是亦各隊ハ明朝新ナル軍隊區分ニ入ル爲特別ニ早ク運動ヲ起サヽルヿ可ラス此害ヲ除去スルニハ運動ヲ夜間ニ於テセサルヘカラス之レ殆ト實行シ得ヘカラサル所ナルヲ以テ敢テ有利ノ方法ニ非ラス故ニ情況之ヲ許シ且敵情及ヒ我カ目的ニ於テ明日ノ運動ニ差異ヲ生スル虞少キトキハ宿營ニ就ク際ニ於テ爲スヲ有利トシ若シ之ヲ行フ能ハスンハ少クモ明日實行セントスル軍隊區分ニ近ツク如ク宿營ヲ計畫スヘシ而シテ軍隊區分ヲ指示スルハ明日ニ關スル命令ヲ下ス際ニ於テスヘシ此ノ如クナレハ多クノ場合前陳ノ害ヲ概ネ除去スルヿヲ得又明朝任務ニ服スル各官ニ研究考慮ノ餘地ヲ與フルヲ得ヘシ

軍隊區分中ニハ一小部隊一兵タリトモ漏サヽル如ク指示シ各人ヲシテ之ヲ一見セハ自己ノ屬スル所ヲ知得スル如クスヘキモノナリ今前進行ノ場合ヲ想像シ要務令ニ據リテ軍隊區分ニ關スル注意ヲ與ヘントス

獨立騎兵

捜索ノ周到ナルハ警戒ノ爲メ緊要ノ手段ナルカ故ニ縱令前方ニ騎兵旅團ノ在ル時ト雖軍隊ニ屬スル騎兵ノ大部分(概ネ指揮官又ハ前衛司令官臨機ニ使用スル爲メ所要ノ傳騎トヲ除ク)ヲ

シテ常ニ前衛ノ前方ニ進マシムルヲ要ス蓋シ此ノ如クスルハ之ヲ必要ノ生スル毎ニ始メテ派遣スルニ比シ更ニ能ク全隊ニ安息ヲ與ヘ且阻滯ナク整齊ノ行進ヲ爲サシメ得ルモノトス而シテ此騎兵ハ或ハ前衛ニ屬シ(前衛騎兵)若クハ本隊指揮官ニ直屬ス(獨立騎兵)但シ何レノ場合ニ於テモ本隊ノ戰鬪ニ臨ミ其直接ノ捜索ニ要スル騎兵ヲ殘シ置クコトニ注意スヘシ

情況ニ因リテハ其大部分ヲ他ノ方向ニ使用シ或ハ一時後方ニ殘留セシムルコトアリ其之ヲ後方ニ殘留スルハ例ヘハ近ク敵ト相觸接シ在ル時若クハ著シク優勢ナル敵騎ト對峙シ在ル時ノ如キ是ナリ

(以上要務令第七十五ノ要旨)

前衛

前衛ノ兵力及編組ハ目的地形及縱隊ノ大小ニ從ヒ其兵力ハ大約歩兵ノ六分一ヨリ三分一ニ至ル

騎兵隊ノ大部分ヲ前衛ニ屬セサル時ト雖モ少クモ前衛直接ノ目的ニ充ツルニ足ルヘキ騎兵ヲ之ニ附スルヲ要ス

野戰砲兵及工兵ハ勉メテ戰術上ノ編合ヲ保持シ需要ニ應シテ配屬スヘシ

架橋縱列竝ニ衛生隊ノ一部ノ附屬ヲ必要トスルコトアリ

(以上要務令第七十七ノ要旨)

本隊

本隊ニ就テハ格段ニ注意スヘキコトアラサレ𪜈行軍序列ヲ併セ示ス場合ノコトニ就テ聊カ陳述セントス

此時ニ於テハ本隊ノ下ニ(同行軍序列)ト記載スルヲ通常トス而メ本隊ノ行軍序列ハ全隊ノ指揮官之ヲ規定スルモノニシテ此序列ヲ規定スルハ主トシテ豫メ考定セシ軍隊使用上ノ順序ニ

従フモノトス故ニ通常本隊ノ先頭ニハ前衛ノ歩兵ト同聯隊若クハ同旅團ニ屬スル歩兵部隊ヲ行進セシムル如ク野戰砲兵ハ其警戒ノ許ス限リ前方ニ行進セシメ若シ長大ナル野戰砲兵ノ行軍縱隊ニ在テハ其中間ニ歩兵小部隊ヲ行進セシメ以テ警戒ヲ全クスルヲ可トス

行軍縱隊ノ後尾ニハ歩兵及其他ノ部隊ヲ行進セシム此ノ歩兵ノ一部隊ヲ後尾ニ置クハ戰鬪ニ方リ歩兵隊ノ內ヨリ必ス豫備隊ヲ設クルヲ以テ少クモ歩兵ノ一大隊位ハ本隊ノ後尾ニ置キ而ノ砲兵ヲ中間ニ夾メハ砲兵モ安全ニシテ又軍隊使用上ニモ便ナレハナリ

（以上要務令第二百二十五ノ要旨）

野戰砲兵中隊ノ中隊段列ハ通常大隊毎ニ一團トナリ各中隊ノ行軍序列ニ從ヒ大隊戰砲隊ノ直後ニ在テ行進シ聯隊段列ハ通常聯隊ヨリ離レテ本隊ノ直後ニ在テ行進スルモノトス（砲兵操典參照）

架橋縱列ノ一部若クハ全部ヲ前衛或ハ本隊中ニ列スヘキヤ否ハ本隊ノ指揮官之ヲ定ムルモノニシテ其全ク須要ナキ時ハ大行李或ハ輜重ニ合ス

衛生隊ハ全部本隊ノ直後ニ進ミ或ハ其半部ヲ前衛、側衛等ニ分屬スルモノトス

（以上要務令第二百二十七及第二百二十八ノ要旨）

軍隊區分ヲ示スニハ命令文ノ上欄ニ記スルヲ宜シトス然ルトキハ命令中前衛又ハ本隊等ノ事ヲ記スル項ト上欄ノ軍隊區分ト對照シテ讀ムニ便ナリ

軍隊區分中ニハ騎兵一卒ニテモ必ス記スルヲ要ストハ前文ニ記述スル所ナリ然レトモ或ハ曰ク軍隊區分ハ所謂軍隊ノ區分ナ

リ故ニ騎兵ノ如キハ何騎ト記スルハ不可ナリ分隊又ハ半小隊ヲ以テ表ハスヲ要スト予ハ之ニ同意スル能ハサレ𪜈一説トシテ參考ニ供ス

軍隊區分中ニ旅團司令部等ヲ示スノ必要ナシ司令官ハ命令ノ末尾ニ署名セハ足ル師團司令部ノ如キ之ヲ記入シ若シ軍醫部、經理部等ノ如キモノヽ人馬悉ク其位置ニ入ルヿアレハ甚シキ障碍ヲ生スルコトアルヘシ然レ𪜈此ノ司令部ヲ記載スルヿハ半ハ慣用トナリアルヲ以テ記載スルモ實際ハ甚シク害ナキモノナリ又遺漏ナキ如ク記スル精神ヨリ推セハ或ハ記スルモ可ナラシカ

二、命令ニ於テ具備スヘキ性能ニ就テ

命令ノ文面上ニ於テ求ムヘキ性質左ノ如シ

其一、明瞭

一、要義ヲ欠カサル限リハ勉メテ簡略ニスルヿ

二、論理法ニ由リ理義ノ順序ヲ正シクスルヿ

三、文章ハ簡約ニ言辭ハ普通ノモノヲ用ユルヿ

四、村落等固有名詞ニシテ其名ヲ同クスルモノハ註解ヲ附スルヿ

（要務令第四十五參看）

五、前後左右等誤解ヲ生シ易キモノハ用ユヘカラサルヿ（要務令第四十二參照）

其二、嚴確

嚴確ノ度ハ受令者ノ地位及情況ニ從ハサル可ラス從テ命令ニ左ノ三種ノ場合ヲ生ス

一、命令ニ全然格守スヘキモノ

二、施行ノ方法ヲ全ク受令者ニ委任スルモノ

三、企圖ヲ貫徹スヘキヤ否ヤノ決斷ヲ受令者ニ委任スルモノ

一、ノ場合ヲ例セハ某旅團ハ其一聯隊ヲ以テ某陣地ヲ占領シ其一聯隊ヲ某地ニ置クヘシト言フカ如シ

二、ノ場合ヲ例セハ某旅團ハ何々附近ニ於テ師團ノ渡河ヲ掩護スヘシト言フカ如シ

三、ノ場合ハ某支隊ハ何々高地ヲ占領センコヲ勉ムヘシト言フカ如シ

敵ノ情況不明ニシテ確實ナル命令ヲ下シ得サルコアルヘシト雖モ自己ノ責任ヲ恐レ他日ノ世嘲ヲ恐怖シ躊躇シテ嚴確ナラサルカ如キコアラハ既ニ主將タルノ性能ヲ欠クモノト言フヘシ

其三、完全

自己ノ部下ヲシテ悉ク其目的ト任務ノ在ル所ヲ了解セシムルモノヲ云フ此要領ニ合スル命令ヲ下スニハ命令者自ラ被命令者ノ位置ニ立チテ考慮スレハ可ナリ其地位ニ立チテ知ルヲ要スル諸件ヲ示スヤハ被命令者ハ良ク其任務ヲ了解スルヲ得ヘシ

命令ノ文面上ニ於テ避クヘク又愼ムヘキモノ左ノ如シ

一、部下ニ任務ヲ命スルトキ未來ヲ豫定シ又諸般ノ場合ヲ想像スルコト

二、命令權內ニ干渉シテ細末ナル事項ヲ規定スルコト

二、通常無効ナルモノニシテ變況アリタルヤハ徒ニ受命者ノ心中ヲ疑ハシメ却テ處置ヲ誤ルコアリ

二、ハ部下ヲシテ獨斷決行ノ勇氣ヲ失シ常ニ不快ヲ感シ其服行ニ勇敢ナラサルモノナリ

實ニ司令權ヲ有スルモノヽ技倆ハ其命令ノ正否如何ニ由リテ直ニ判定スルヲ得ヘキモノナリ

三、行軍命令ニ於テ記載スヘキ要件及其注意左ノ如シ

一、敵狀ノ大要

各部隊カ任務ヲ實行スル爲ニ知ルノ必要アルモノヽミ

敵狀ハ確實ノモノヽミヲ示シ若シ疑アル片或ハ精確ナラサル情報ハ疑ヒノ意味ヲ以テ示スモノナリ

我軍情況ノ大要

我部隊ノ事ニシテ各部隊一般ニ知ルヲ要スル件及某部隊任務ヲ果サン爲ニ知ルヲ要スル我軍情況ノ大要ヲ示ス例ヘハ前方ニ在ル騎兵部隊又ハ比隣ノ縱隊或ハ本軍ノ狀態等ナリ

二、我目的

前令ヲ發セシ後異狀ナケレハ略スルヲ得

目的ハ直後ノ目的ヲ示スモノニシテ永遠ニ亘ルモノ或ハ固有ノ任務ヲ示スヘキモノニアラサルヲ要ス

三、獨立騎兵ニ關スルコト

行進路並ニ動作等ハ通常規定スヘキモノニ非ス唯タ捜索方向或ハ目標及ヒ此目標ニ至ルニ取ルヘキ一般ノ方向(此方向ハ要スルトキノミ示ス)並ニ要スレハ特ニ注意捜索スヘキ地點ヲ示セハ可ナリ

時宜ニ依リ電線、鐵道、橋梁、道路ノ破壞及信書電信等ノ奪取ヲ命ス

四、前衛ニ關スルコト

出發時刻及ヒ地點ハ通常其歩兵先頭ヲ以テ規定ス

出發時限ノ撰定ハ早キニ過ク可カラス若シ戰術上ノ景況及行軍ノ目的點ニ達スル豫定時間ニ妨ケナキ片ハ第一ニ出發スル歩兵ト雖モ拂曉以前ニ出發セシム可ラス(要務令第二百五)

行進目標ヲ示スハ其之ニ達スル確實ナル時ノミトス其他ノ場合ニ在テハ唯タ取ルヘキ道路及目標ヲ指示ス

特ニ捜索スヘキ道路(之ヲ要スルトキノミ)

要スル場合ニハ前哨集收ノ件
要スレハ速ニ偵察報告スヘキ道路或ハ渡場等
比隣縦隊トノ連絡
前兵ト前衛本隊トノ距離ハ敵ト衝突ノ際前衛本隊ヲシテ戰鬪
展開ヲ爲スノ時間ヲ得セシムルニ足ルヲ度トス此距離ハ通常
五百米突乃至千米突ナルヘシ小ナル前衛ニ在テハ其距離ハ前
衛本隊有効射撃ノ下ニ不意ノ襲撃ヲ受ケサルヲ以テ度トスヘ
シ大ナル前兵ニ在テ其警戒ヲシテ益々確實ナラシメンカタメ
之ヨリ一部隊ノ派遣ヲ要スルコアルキハ更ニ歩兵一中隊或ハ
一小隊ヲ前方三百乃至四百米突ニ出ス然ルトキハ之ヲ前兵支
部ト稱ス(要務令第八十)

五、側衛ニ關スルコト

前衛ノ項ニ示スモノニ準ス

側敵行ニ於ケル側衛ニ在テ陣地ヲ占領シテ本隊ノ側敵行ヲ掩
護スル場合ニ在テハ敵ニ對シテ駐止シアル時間(通常最後尾ノ
部隊其地ヲ通過シ終ル時刻若シ大行李又ハ輜重等本隊ニ跟隨
スル場合ニ在テハ其後尾ノ通過シ終ル時刻ニ至ル)

六、本隊ニ關スルコト

集合ノ時刻並ニ地點ノミヲ示シ出發ハ通常現地ニ於テ命ス
逐次出發セシムルトキハ其出發スヘキ地點ト時刻ヲ示シ且續
行スヘキ距離並ニ前行部隊等ヲ示ス
行軍ノ爲メ軍隊ノ集合法ハ戰術上ノ顧慮ト其部隊ノ大小トニ
因ルモノニシテ軍隊ヲ大ナル編合ニ集合スルノ利益ハ出發ノ
時期ニ至ル迄各隊ヲ直接ニ指揮スルト又自由ニ行進方向ヲ撰
擇シ得ルト現地ニ於テ行軍序列ヲ命シ得ルトニアレ𪜈此方法
ハ特ニ敵ニ接近シアル場合ニ於テ用フヘキ者ニシテ又此ノ如

キ時機ニ在テハ宿營モ亦近ク相密集シ在テサル可カラサルモノナリ此集合ニテ害トスル所ハ永ク集合場ニ駐止シ且行軍序列ニ轉スルノ遲緩ニアリ故ニ師團ノ如キ部隊ヲ一條ノ道路ヲ前進セシムルカ如キ場合ニ在テハ前衛ヲ一團トシ本隊先頭ノ歩兵及砲兵ヲ以テ一團トシ其他ヲ以テ又一團トシ之ニ各一個ノ集合場ヲ定ムル部隊若シ之ヨリ小ナレハ行軍縱隊ニ路上ニ集合スルヲ得ヘシ(要務令第二百二十四條ノ要旨)

歩兵一旅團(三線配置ノ聯隊ヲ横接シタルモノ)ノ集合ニ要スル幅員ハ約幅百四十米突長百十米突トス

二條ノ行軍路相交叉スルトキハ各行軍聯隊ノ交叉點ヲ通過スヘキ時刻ヲ定ムルヲ良トス此法ハ數團隊ノ兵隊橋梁等ヲ通過スル場合ニモ亦適用ス

前衛ト本隊トノ距離ハ我軍ノ目的、兵力、敵軍ニ關スル顧慮及地形ニ應シテ異ルモノトス此距離ハ一ニハ本隊ノ行進ヲシテ滯滯中止ノ患無カラシメンカタメ勉メテ長遠ナラシメンコトヲ欲スト雖モ又一ニハ本隊ヲシテ時機ヲ失セス戰鬪ニ加ハルコトヲ確切ナラシメンタメ之ニ適スル距離ヨリ長遠ナラサルヲ要ス云々(要務令第七十六)

七、大行李ニ關スルコト

集合時刻、地點、出發時刻又ハ本隊ニ跟隨スヘキ距離

前衛、側衛等ノ如キ警戒部隊ニハ大隊大行李ノ序列中ニ入ルヘキ地點ヲ示ス

大行李長ニハ特別ノ敎示ヲ與フルコトアリ但シ命令中ニ記載セス

前進ノタメ大行李ヲ集合スル方法ハ別ニ記載セリ

八、輜重梯隊ニ關スルコト

出發時刻(要スレハ出發地)前進スヘキ目標地

時宜ニ依リ彈藥縱列、野戰病院等輜重ノ一部ヲ前方ニ招致スル
ヤ、ハ其到着スヘキ地點時刻或ハ出發地點及時刻
九、行進間指揮官ノ所在
時宜ニ依リ集合地ニ至ル時刻及行進間ノ位置ヲ示スコトアリ
右ニ記載スル所ハ大部隊ニ下ス命令ノ標準ヲ示シタルモノニシテ支
隊ニ在テハ通常左記ノ件々ヲ命令スルヲ普通トス
一、敵狀及我軍狀況ノ大要
二、我目的
三、獨立騎兵ニ關スルコト
四、前衛ニ關スルコト及ヒ要スレハ前哨撤收ニ關スルコト
五、側衛ニ關スルコト
六、本隊ノ集合場及時刻(場合ニ依リ出發時刻及ヒ地點等ヲ示スコト
アリ)
七、大行李ニ關スルコト
八、指揮官ノ位置(通常行進間ノ位置ヲ示セハ可ナリ又時宜ニ依リ
何時ヨリ集合地ニ在リ云々ト示スコトモアリ)
右ノ場合要スレハ軍隊區分ヲ示ス
又一ノ下命ノ方法トシテ一、二項及前哨收集ノ時刻、諸隊集合ノ場所及
ヒ時刻七、八項ノミヲ示シ他ハ集合地ニ於テ下ス此法ハ任務ニ服スル
諸官ニ考慮研究ノ餘裕ヲ與フルコトナキヲ以テ特別ノ場合カ或ハ小部
隊ニ適スルモノナリ
四、訓令ニ就テ
訓令ナルモノハ命令ノ一種ナリ而シテ此訓令ヲ與フルノ場合ハ野
外要務令第五ニ示ス如ク發令者情況ヲ豫知スル能ハス受命者ヲシ
テ現況ニ應シテ施行セシムル時ニ於テモ亦然リ此ノ如キ場合ニ在
リテハ或ハ唯訓令ヲ下スヲ以テ足レリトス又同項ニ訓令ヲ說明シ

テ曰ク訓令ナルモノハ雖目的ヲ示スモノニシテ其施行ノ方法ハ全ク受命者ニ委任スルモノトスト雖モ

故ニ訓令ナルモノハ遠隔セル地方ニ在リテ日々直屬上官ノ下セル命令ヲ受クル能ハサル指揮官ニ自己ノ目的ヲ授クルモノナルカ故ニ此指揮官ハ直屬上官ノ趣旨ニ從ヒ部下ノ諸隊ヲ進退スルヿヲ得ルナリ

即チ訓令ハ任務ト一般ノ目的トヲ標準トシテ其施行ノ方法ノ如キハ指揮官ノ干渉セザル所ナリト雖モ受令者ノ任務施行ニ關スル教示ヲ與フルハ妨ナシ而シテ其教示ニ對シ受令者ハ適宜ニ之レヲ斟酌取捨シ得ルモノトス

即チ訓令ハ任務ト一般ノ目的トヲ標準トシテ其施行ノ方法ノ如キハ指揮官ノ干渉セサル所ナリト雖モ受令者ノ任務施行ニ關スル教示ヲ與フルハ妨ナシ而シテ其教示ニ對シ受令者ハ適宜ニ之ヲ斟酌取捨シ得ルモノトス

訓令ノ記載方ハ略ホ命令ニ準ストト雖モ其嚴格ノ度ハ大ニ寬ナルモノナリ且其要目ノ如キモ一定セス要スルニ敵狀及我目的ヲ明示シ受令者ノ任務ヲ確示シ要スレハ指揮ノ希望ヲ述ヘテ臨機獨斷ノ參考ニ資スルモノトス今左ニ普通ノ要點ヲ示サントス

一、敵狀及我軍ノ狀況

命令ニ比シ稍精密ナルヲ要ス殊ニ受令者ノ參考トナルヘキ件ハ必ス之ヲ示スヘキモノトス

二、我目的

受令者獨斷ヲ施行スルニ方リ決心ノ基礎トナルモノナレハ現在ニ於ケル指揮官ノ目的並ニ要スレハ將來ニ於ケル目的ヲモ明示スルモノトス

三、受令者ノ現在並ニ將來ニ於テ服膺スヘキ任務ノ指示

四、指揮官ノ現在並ニ將來ニ於ケル希望及計畫ノ大要

五、要スレハ非常ノ場合ニ於テ執ルヘキ權限ノ委任(假令ハ重大ナル交通路ノ破壞或ハ又指揮權ナキ部隊ニ向テ命令ヲ發シ得ル權利ヲ委任スルカ如シ)

六、報告ヲ送ルヘキ場所或ハ指揮官ノ所在地

五、騎兵捜索(警戒)ニ就テ

夫レ戰地ニ在テ捜索ノ目的トスル所ハ敵軍ノ兵力、其戰鬪序列、敵軍ノ運動幷ニ其企圖等ヲ先知シ我指揮官ニ畫策ノ材料ヲ供スルニアリ又警戒ノ目的トスル所ハ此捜索ヲ行フト同時ニ我軍ノ運動企謀等ヲ敵ニ秘匿スルヿヲ勉メ地形ノ觀察(地形ノ變狀、地圖ト實地トノ差異、我軍ノ運動ヲ利シ或ハ妨害スヘキモノ等)我軍爾後ノ運動ヲ顧慮スルニアリ換言スレハ騎兵ノ動作ハ其自己ノ本軍ヲ掩護シ且同時ニ敵狀ヲ捜索及監視スヘキモノナリ故ニ此使用ニ充テラレタル騎兵隊長タル者ハ常ニ其總指揮官ノ心ヲ以テ己レノ心ト爲シ總指揮官ノ思慮ヲシテ全ク實際ニ其當ヲ得セシムル如ク動作スルヲ要ス

此理ニ由リ騎兵隊長ノ所見ハ必ス總指揮官ノ意圖ト同一ナルヘク又タ此ノ騎兵隊長ハ獨リ其部下ノ指揮上ノミナラス必ス廣ク一般ノ情況ニ其注意ヲ及ホサヽルヘカラス即チ其自隊ノ負フ所ノ作戰上ノ責任ハ常ニ本軍動作ニ關シテ事ノ大ト小トヲ問ハス必ス大關係アル者ナルヲ忘ルヘカラサルナリ蓋シ是ノ關係ハ隊ノ大小ヲ問ハス(大ニシテ師團ナルモ小ニシテ其一部隊ナルモ)皆是レ同一ナルモノナリ

右ノ要求ヲ充足セシムル爲メニ總指揮官ハ豫メ其騎兵隊長ニ精細ノ情況幷ニ己レノ意圖企望等ヲ訓示セサルヘカラス是レニ由テ騎兵隊長ハ自己ノ方針畫策ヲ定メ其目的ニ適スル如ク動作スルヲ得ルモノナリ

六、前衛ニ砲兵ヲ配屬スル利害ニ就テ

砲兵ヲ前衛ニ配屬スルノ可否ニ就テハ種々議論アル問題ナリ然レモ此問題ハ一定ノ主義ニ依テ全然之ヲ律スルコト能ハスシテ其時ノ狀況ニ鑑ミ之ニ從テ決定セサルヘカラサルモノナリ砲兵ヲ前衛ニ配屬スルニ反對スル論者ハ曰ク前衛砲兵ハ優勢ナル敵ノ砲兵ニ對シ孤立シテ戰鬪セサルヲ得ス從テ本隊ノ砲兵援助ノ爲メ來着スル ニ先チ既ニ敗滅ヲ招クニ至ルコアルヘシト是レ固ヨリ或ハ生スヘキ現象ナリト雖モ敢兵我ニ先チテ既ニ其砲兵ヲ展開セルヲ認識シ又ハ全体ノ狀況ニ依リ充分之ヲ知リ得タルトキハ前衛砲兵孤立シテ放列ヲ布畫スルヲ避ケ之ヲ待機陣地ニ置キ悉皆ノ砲兵同時ニ射擊ヲ開始シ得ルノ見込確實ナルニ及ヒ始メテ之ヲ布列セハ右ノ如キ害ヲ生セサルヘシ（上篇砲兵戰術ノ部參看）斯ノ如キ場合ニ於テハ前衛歩兵モ亦適時ニ行進ヲ停止シ以テ砲兵ノ援助ナクシテ激烈ナル敵火中ニ現

出スルノ愚ハ爲サヽルヘシ又今回戰役ノ結果ニ依レハ上篇砲兵戰術研究ノ部ニ於テ陳述スル如ク砲兵ハ優勢ナル敵ノ砲兵ニ對スルモ殆ト之カ爲ニ殲滅セラルヘキモノニアラサルヲ立證シタルヲ以テ前衛ニ砲兵ノ分屬ハ大ナル害アルヲ認メサルナリ

反對論者又曰ク砲兵ヲ前衛ニ附スルトキハ動モスレハ前衛司令官ヲシテ過度ニ獨斷專行ヲ爲サシメ爲メニ前衛ノ專恣ナル戰鬪ニ依リ全体ノ戰局ヲ總指揮官ノ豫想又ハ希望セサリシ方向ニ導クノ危險生シ易シト然レモ前衛其任務ヲ盡スタメニ適當ナル編組ナルトキハ專恣ノ動作ヲ爲スコトハ極メテ稀有ノ場合ナルヘシ野外要務令第七十七ノ要旨ニ依レハ師團ノ前衛ニ於テ其兵力歩兵ハ一聯隊以上ニ及フコト殆トナカルヘク之ニ配屬セラルヘキ砲兵モ亦一大隊ヲ超過スルコト稀ナルヘシ之ヨリ多數ノ砲兵ヲ前衛ニ附スルトキハ或ハ其歩兵ト砲兵トノ關係全ク主客ヲ顚倒シ主兵種ハ補助兵種ノ護

衛タルノ奇觀ヲ呈スルコト生スル場合アラン然レ𪜈又數多ノ砲兵ヲ附シ得ベキ場合モ亦無キニ非ス例令ハ秩序ヲ紊亂セル敵ニ對スル追擊ノトキ又ハ甚タ劣勢ナル砲兵ニ對スルトキノ如キ即チ是ナリ然レ𪜈右ノ如キ特別ノ情況ヲ生セサルトキハ前衛ハ單ニ自己ノ獨力ヲ以テ戰鬪ヲ交ユルコトナカルヘシ是レ蓋シ敵ニ接近セシ場合ニ於テハ總指揮官ハ自ラ前衛ノ許ニ在リテ敵ニ關スル報告ヲ速ニ受領シ尙又自己ノ視察ニ依リ報告ヲ補ヒ得ルヲ以テ戰鬪ノ初期ヨリ總指揮官直接ニ諸隊ヲ指揮シ得テ前衛ハ前衛トシテ戰鬪セシムルコトナク前衛ニ附屬スル軍隊ヲ概シテ戰鬪開始ニ際シ己レノ命令ニ依テ動作セシムルヲ得ルナリ換言スレハ前衛各隊ハ戰鬪序列ニ從ヒ各其所屬ノ建制部隊ニ復歸シ步兵大隊ハ直ニ其聯隊長ヨリ動作ノ爲メノ命令ヲ受ケ砲兵中隊長ハ其所屬砲兵大隊長ノ命令ヲ受ケテ動作スルヲ得ルナリ

然レ𪜈前衛其固有ノ任務ヲ果ス爲メ獨立シテ戰鬪ヲ遂行スヘキ場合ニ在テ例ヘハ本隊ヲシテ多クノ時間ヲ費スヘキ展開ヲ爲サシムルコトナク其進路ヲ開キ而カモ其前進運動ヲ著シク遲滯セスシテ迅速ニ實施シ得ルガ如キ場合ニ在リテ若干門ノ火砲前衛ニ在ランカ光輝アル動作ヲ爲スヲ得ヘク又困難ナル地域例ヘハ隘路等ニ於テ目的地ニ達センカタメ步兵ノミヲ以テ戰鬪センカ恐ラク著大ノ時間ヲ要スルナルヘシ此時ニ方リ前衛若干門ノ砲兵ハ驚クヘキ効果ヲ現ハスヲ得ヘシ追擊ニ在テモ亦充分砲兵ヲ有スル前衛勇猛ニ動作スルトキハ我ニ對シテ正面ヲ取ラントスル敵ノ企圖ヲ既ニ其苗芽ニ於テ挫折スルヲ得ヘシ

本隊ヲシテ開進ノ猶豫ヲ得セシムルハ捜索騎兵適時ノ報告ニ依リテ之ヲ爲シ得レハ最モ希望スル所ナルモ此希望ハ常ニ必スシモ達成スヘキモノナラスシテ前衛ノ獨立戰鬪ニ依賴スルコトアルヘシ此

際ニ於テ前衛ニ砲兵アラハ偉大ナル援助ヲ與フルヲ得ヘシ

反對論者尚又說ヲ爲シテ曰ク砲兵ヲ前衛ニ附スルヿ無ク之ヲ本隊ニ位置セシムルモ其長徑ハ多クモ千五百乃至二千米突ノ距離ヲ增加スルニ過キス此距離ハ僅ニ七分乃至十分時ヲ以テ通過シ得ヘキヲ以テ之ヲ前衛ニ位置セシムルノ要ナシト是レ甚タ粗笨ナル理論ニシテ道路ノ狀態特ニ路幅狹小ニシテ砲兵カ他部隊ノ一側ヲ通過スルニ困難ニシテ路外又軍隊ノ跋涉ヲ許サヽルトキハ如何必スヤ意外ニ多クノ時間ヲ要スルヿアルヘシ假令一步ヲ讓リテ常ニ七分乃至十分間ノ遲延ヲ以テ前進シ得ルトスルモ戰機ノ岐ルヽ間髮ヲ容レサル場合ニ於テ此七分乃至十分時ハ之ヲ關係ナキ時間ト見做シ得ヘキ乎然レモ此論ハ師團ヲ基礎トシテ論シタルモノニシテ步兵一聯隊ヲ基幹トスルカ如キ支隊等ニ在テハ砲兵ヲ前衛ニ附スルモ又之ヲ本隊ニ置クモ戰鬪ニ際シテ布列迄ニ要スル時間ノ差ハ僅小ニシテ寧ロ本隊ニ置キテ指揮官ノ手裏ニ掌握シアルヲ有利トスルヿ多カルヘシ是レ首文ニ於テ全然之ヲ律スル能ハス云々ト前提シタル所以ナリ又今此ノ例ヲ一支隊ニ取リタリト雖モ狀況ノ如何ニ依テハ師團ニ於テモ砲兵ヲ全部本隊ニ置クヲ有利トスル場合ノ生スルハ勿論ナルヘシ

以上論及スル所ニ依レハ前衛ニ砲兵ヲ配屬スルヲ不可ト爲スノ說ハ多クノ場合ニ於テ正當ナラスト論斷スルヲ得ヘシ又野外要務令第七十七ニ曰ク野戰砲兵及工兵ハ勉メテ戰術上ノ編合ヲ保持シ需要ニ應シテ配賦スヘシ但シ野戰砲兵ヲ配賦スルヿハ之ヲシテ優勢ナル敵ノ砲兵ト對峙セシメサルヿニ顧慮スヘシト明示シアリ此原則中需要ニ應シテノ一句ハ大ニ味フヘク又留意スヘキ所狀況及兵力ノ如何ニ依テ砲兵ヲ前衛ニ附スルヲ可トスルカ否ラサルカノ岐ルヽ根源ニシテ全然其可否ヲ決定スル能ハサル所ナルヘシ

七、軍隊宿營地出發ノ方法ニ就テ

軍隊宿營地ノ出發ニ二種アリ露營地ノ出發及舍營地ノ出發之也

其一　露營地ノ出發

露營地ニ在リテハ諸單位皆集合ヲ行フヘシト雖モ豫メ集合シ得サル場合ニアリテハ聯隊以上ハ特ニ出發シテノ集合ヲ行ハサルモノトス

露營ニ在ル聯隊ハ既ニ集合ノ地位ニアルヲ以テ其諸中隊ハ悉ク同時ニ集合スルヿヲ得ヘシ然レ𪜈各大隊長ハ其出發ノ時期來ル迄ハ背嚢ヲ負ハシムルヘカラサルモノトス

其二　舍營地ノ出發

一、中隊ノ集合　舍營ハ中隊ヲ以テ集合ノ單位ト爲ス故ニ各中隊ハ其舍營地域ノ中央附近ニ集合場ヲ設クヘシ中隊長ハ其隊ヲシテ舍營ニ就カシムル前ニ此地點ヲ示シ豫定若ハ不時ノ出發ニ方リ

各兵各自此地ニ來ルヘキヿヲ命ス而シテ其隊形ハ中隊縱隊ヲ宜シトスレ𪜈地形狹長ナル片ハ橫隊ヲ作ルヲ可トス

一旦此集合場ニ集合スルノ後ハ何人ト雖モ止ムヲ得サル事由ナクシテ隊伍ヲ離ルヽヲ許スヘカラス之レ軍隊出發ノ時間ニ關係スレハナリ故ニ許可ナク隊伍ヲ離ルヽモノハ素ヨリ軍紀ヲ紊スモノトシテ相當ノ處分ヲ爲サヽルヘカラスト雖モ將校ハ平時其部下ヲシテ過誤ナク迅速且ツ整肅ニ集合スルヿニ慣レシメサルヘカラス

二、大隊ノ集合　一大隊ノ集合ニ在リテハ其舍營地廣濶ナル片ニアラサレハ四中隊ヲ集合スルハ無益ナリ大隊長ハ唯各中隊カ其途上縱隊ニ入ルノ點ヲ定ムレハ可ナリ然レ𪜈此點ハ成ルヘク舍營地ニ近キ點ナルヲ要ス然レ𪜈中隊甚シク散在スル片ハ大隊ヲ集合スルヲ良トス

操典草案ニ依レハ重複縦隊ナキヲ以テ此隊形ヲ用フルヲ除キタリ

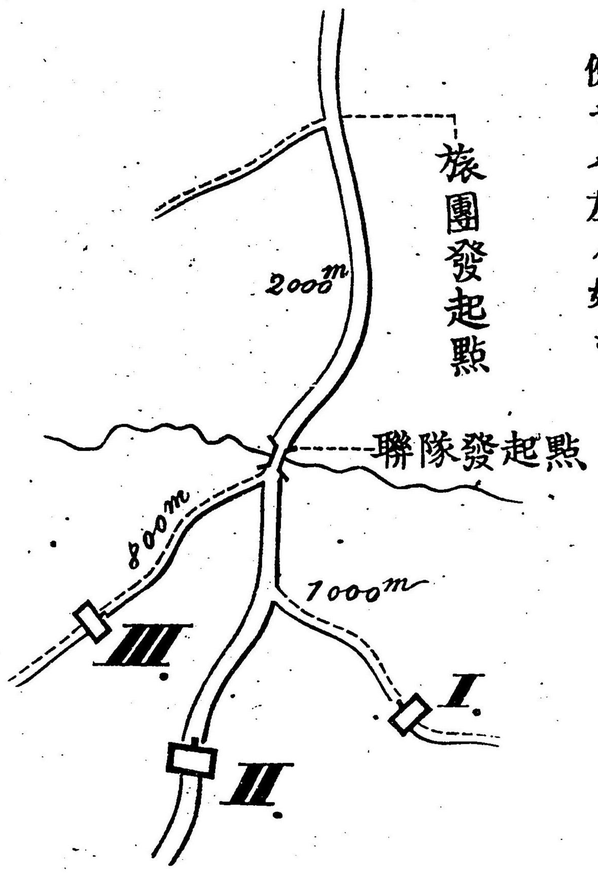
集合隊形ハ通常大隊縦隊、縦隊横隊ヲ用ヒ路上ニ集合セシムルヲ
ハ横隊ヲ可トス

三、聯隊ノ集合　聯隊舎営地ヲ發スルニ方リ全部ノ集合ヲ行ハサル
トキハ各大隊長ハ各指定セラレタル時期ト地點トヲ以テ縦隊中
ニ入ル如ク逐次ニ出發スルモノトス

聯隊集合スヘキ時ニ當リテ其隊形ハ通常縦隊縦隊ヲ以テ一線二
線或ハ三線ニ配置ス然レ𪜈地形ニ從ヒ大隊ノ隊形ハ大隊縦隊ヲ
用フルモノトス又道路上ニ集合セシメントスルヲハ各大隊皆側
面縦隊ヲ以テスルヲアリ

舎営地相遠隔スルヲハ聯隊ノ集合場ヲ設ケサルヲアリ此場合ニ
在リテハ聯隊長ハ各大隊ノ縦隊ニ入ルノ地點即チ發起點ヲ定メ
各大隊ノ先頭此地點ヲ越ユル時刻ヲ各大隊長ニ指示スルヲ要ス
聯隊若シ旅團内ニ在ルヲハ其發起點ヲ旅團長ノ指示スル發起點

ノ後方ニ之ヲ撰定スヘシ而シテ各大隊先頭部隊ノ聯隊發起點ニ到達スルノ時刻ヲ定ムルニ
ハ旅團及聯隊發起點ノ距離ヲ測リ此距離ヲ經過スルニ要スル時
間ヲ大隊先頭カ旅團發起點ニ到着スヘキ時限ヨリ減スヘシ之ヲ
例セハ左ノ如シ



圖上發起點ノ間二千米ナレハ二十六分ヲ要ス又第一大隊カ聯隊發起點ニ至ルニハ一千米ニシテ十三分ヲ要ス故ニ聯隊ノ先頭ハ五時ニ旅團出發點ニ至ルヘキモノトセハ第一大隊ハ左ノ時間ニ出發スレハ可ナリ其公式次ノ如シ

K……大隊ノ出發スヘキ時間
R)=(B+……大隊ノ發起點ヨリ聯隊發起點ニ至ル距離
(B……聯隊發起點ト旅團發起點トノ距離
T……行軍速度
S……旅團ノ發起點ニ至ルヘキ時間

第一大隊ハ四時二十一分ニ出發シ第二第三大隊モ又同樣ニ計算スルヲ得ルナリ

實際ニアリテ聯隊行軍ノ爲メニハ發起點ヲ設ケス若シ之ヲ要スルキハ其舍營地ノ出口ニ之ヲ設クルノミ其他諸隊ノ發途ハ時機ニ由リ異同アルヲ以テ諸隊ハ其發途ノ順番未タ來ラサルニ其時間ニ後レンコヲ恐レテ過早ニ集合シ爲ニ部下ニ無益ノ疲勞ヲ爲

5°,00′-13′(2000ᵐ+1000ᵐ)=,
"5°,00′-13′×3000=„
5°,00′-39′=4°,21′

答四時二十一分

サシムヘカラス實ニ各隊長ハ兵力ヲ養フハ難クシテ之ヲ消費スルハ甚タ容易ナルコヲ忘ルヘカラス(要務令第二百四參看)

以上論述セルモノハ理論的ニ集合時間ヲ算定セルモノナリ各隊長ハ此計算ヲ胸中ニ置キ以テ臨機ノ時間ニ適合セシメサルヘカラス

四、集合法　特ニ敵ニ近接スル場合ニ在リテハ軍隊ヲ大ナル編合ニ集合スルヲ有利トス何トナレハ出發ノ時期ニ至ル迄各隊ヲ直接ニ指揮スルト又自由ニ行軍方向ヲ撰擇シ得ルト現地ニ於テ行軍序列ヲ命シ得レハナリ然レ𪜈此方法ハ永ク集合場ニ駐止シ兵卒ヲシテ徒ニ疲勞セシメ且行軍序列ニ轉スルニ長時間ヲ要スルモノトス故ニ時機ニ應シ一團毎ニ集合場ヲ定メ行軍序列ニ適應セシムルヲ可トス(要務令第二百二十四參看)

大行李ニ關スル件ハ別ニ說述スルヲ以テ茲ニ省ク

五、出發時間ノ規定　長大ナル縱隊ニ在リテハ其經過時間長キヲ以テ通常先頭ノ縱隊ノ出發時刻ハ早キヲ要ス然レ𪜈短縱隊ハ任務又ハ情況上時期早朝ノ出發ヲ要スルニアラサレハ其出發時刻ハ時期ト天候トニ從テ規定スヘキナリ

八、軍隊ノ集合ニ就テ

集合場ハ爾後ノ目的ニ適合スル所ニ撰定セサルヘカラス換言スレハ各隊ハ迂路ヲ取ルヿナク又徒勞スルヿナク集合場ニ至リ或ハ此集合場ヨリ直ニ爾後ノ運動ニ就キ得ル所ナルヲ要ス

行軍ニ移ルニ先チ集合スヘキ場合ニ於テハ各隊ノ集合ニ要スル面積ヲ顧慮シ成ルヘク各部隊ハ充分ナル距離間隔ヲ存シテ集合シ得ル如ク廣濶ノ地ヲ選フヘキナリ之蓋シ狹小ナル地區ニ於ケル集合ハ混雜ノ基ニシテ殊ニ夜間ハ喧噪雜沓ヲ極ムルモノナレハナリ

敵ニ對スル顧慮ナキカ或ハ狀況上之ヲ許ス場合ニ於テ道路上ニ途上縱隊ヲ以テ集合スル時ニ在テハ混雜ヲ避ケ且靜肅ナラシメンカタメ成ルヘク住民地内ノ街路ヲ避ケ住民地外ノ道路上ニ集合スルヲ可トス此集合ニ於テ其位置ヲ示スハ縱隊ノ先頭ヲ以テスルヲ可トス例令ハ何隊ハ何點ヲ先頭トシ途上縱隊ニ集合スヘシト云フカ如シ若シ此際後尾ノ位置ヲ以テ示ストキハ衝突錯誤ヲ生スル基タルヘシ又大行李、輜重縱列若クハ他隊ニ關係ナキ孤立部隊ノ如キモノヽ途上集合ハ若干餘裕ヲ與ヘテ何隊ヨリ何點ノ間ニ集合シアルヘシト命スルモ可ナルヿアリ各隊集合スル場合ニハ互ニ衝突スルコトナク集合場ニ到リ得ヘク又集合場ヨリ前進ニ就クコト容易ナルカ爲ニ交通ニ便ナル所ヲ選ハサルヘカラス道路ノ側方ハ通常此要旨ニ適スルモノトス而シテ又集合場ノ形狀ハ爾後ノ目的ニ由テ差異アレ𪜈概シテ行軍ニ移ル爲メニハ縱長ノ長方形ナルヲ可トシ戰鬪ニ移ルタメニハ横廣ノ長方形

ヲ良トス

集合場ハ豫メ之ヲ偵察シ各部隊ノ位置ヲ決定標示セハ大ニ便ナリト雖此暇ナキ時ハ大略圖上ニ於テ撰定シ命令ヲ下スヘシ然ル時ハ集合時刻ノ少時間前ニ副官若ハ參謀ヲ同地ニ差遣シ各隊ノ到着スルニ從ヒ現地ニ於テ諸隊ノ位置竝ニ隊形ヲ指示セシムヘシ大部隊ノ集合ニ在リテハ縱令豫メ現地ヲ偵察シ位置ヲ標示シタル時ト雖モ集合ノ狀態視察ノ爲ト一ニハ錯誤ノナキタメ幕僚ノ內少クモ一名ヲ集合地ニ派遣シ置クヲ必要ナリ

各種隊形ノ集合ニ要スル幅員概ネ次ノ如シ

步兵(工兵モ亦之ニ準ス)

中隊ノ橫隊		幅九十米	深四米
中隊縱隊(各小隊六步ノ距離ヲ以テ前後ニ重疊ス)		幅三十米	深十五米
大隊縱隊(各中隊ハ中隊縱隊ヲ以テ六步ノ距離ヲ存シ前後ニ重疊ス)		幅三十米	深七十米
縱隊橫隊(各中隊ハ中隊縱隊ヲ以テ六步ノ間隔ヲ存シ左右ニ並列ス)		幅百四十米	深十五米
重複縱隊(各中隊ハ中隊縱隊ヲ以テ六步ノ距離間隔ヲ存シ二個中隊ノ並列ヲ以テ前後ニ重疊ス)		幅七十米	深三十米
聯隊ノ集合隊形ニ在テハ各大隊ノ間隔及距離ハ二十步旅團ノ集合隊形ニ在リテ各聯隊ノ間隔及距離ハ三十步トス故ニ例令ハ步兵一旅團(三線配備ノ聯隊ヲ橫接シタルモノ)ニ在テハ幅百四十米深百十米トス			
騎兵			
中隊ノ橫隊		幅七十米	深二十米
中隊縱隊(各小隊ハ小隊面ニ等シキ距離ヲ以テ前後ニ重疊ス)		幅二十米	深六十米
聯隊ノ橫隊(各中隊ハ橫隊ヲ以テ六步ノ間隔ヲ存シテ左右ニ併列ス)		幅二百三十米	深二十米
聯隊縱隊(各中隊ハ中隊縱隊ヲ以テ一小隊面ニ六米ヲ加ヘタル者ニ等シキ距離ヲ以テ前後ニ重疊ス)		幅二十米	深二百三十米
縱隊橫隊(各中隊ハ中隊縱隊ヲ以テ三小隊面ニ六米ヲ加ヘタル間隔ヲ存シテ左右ニ併列ス)		幅百八十米	深六十米
閉收縱隊(橫隊ヲ以テ縱隊ヲ作リ縱隊ヲ以テ集團橫隊ヲ作ル各中隊ノ間隔ヲ六米ノ間隔ヲ存シテ左右ニ併列ス)		幅八十米	深六十米

操典草案ニ依ルヘシ

操典草案ニ依レハ中隊縱隊十米深八米橫隊幅三十米深二米大隊縱隊幅三十米深七十五米橫隊幅百五十米深十八米

操典草案ニ依ル幅員左ノ如シ

砲兵操典草案ニ依レハ隊形ニ變化ナシ

野砲中隊ノ横隊（砲車間隔ハ二十二歩）　幅百米　深七十米

山砲中隊ノ横隊　幅百米　深八十米

大隊ノ横隊（各中隊ハ三十歩ノ間隔ヲ存シテ並列ス）　幅三百四十米　深七十米八十米

中隊縦隊（閉收間隔ノ横隊ニ於ケル各中隊砲車隊ノ間ニ約四十歩ノ距離ヲ保チ前後ニ重疊ス）　幅二十五米　深九十米百米

聯隊ノ横隊　幅七百米　深七十米百米

一師團（師團戰列隊ノ各兵種戰鬪部隊ヲ戰鬪席列ニ從テ集合ス）　幅三百米　深四百米

注意　大行李輜重ノ如キモノハ成ルヘク同所ニ集合セシメス又戰鬪部隊集合ノ爲メ運動中ハ是等ノモノヲシテ決シテ道路上ニ出テシメサルヲ要ス是レ大ニ諸隊ノ運動ヲ妨害スルモノナレハナリ

各部隊長ハ集合場ニ至ル距離ト時間トヲ精査シ徒ラニ過早ノ集合ヲ爲シ兵卒ヲ疲勞セシメサルコトニ就テ尤モ顧慮スルヲ要ス宜シク各部隊長ハ指揮官ヨリ命セラレタル集合場ノ位置ヲ集合時限迄ニ豫メ偵察シ道路ノ景況距離ノ長短等ヲ確算シテ命令ヲ下スヘキナリ

夜暗ニ於ケル集合ハ動モスレハ喧噪ニ亘リ易キモノナレハ談話ヲ禁シ或ハ聲音ヲ發セス認識ヲ容易ナラシムル手段ヲ講スルハ靜肅ナル集合ヲ行ハン爲メノ第一要件ナリ又兵卒ヲ散亂セシメス各幹部カ手裡ニ掌握シアルコトハ夜暗ニ於テ殊ニ必要ナリ是カ爲メ兵卒ヲシテ萬止ムヲ得サル事由アラサレハ隊列ヲ離レシメサルヲ要ス

九、前進ニ方リ大行李ノ集合法ニ就テ

大行李ノ集合ハ種々命令ノ方法アレ𪜈要スルニ軍隊ノ集合ト衝突セサル如ク命令セサルヘカラス而シテ大行李ノ集合ハ一定ノ時間前ニ隨意ニ道路ニ出テヽ軍隊ノ妨害トナルヲ防ク爲メ多クハ軍隊ノ行軍長徑ヲ顧慮シ其後尾カ宿營地ヲ離ルヽ時間ヲ以テ大行李ノ

集合ヲ始ムル時間トシ其集合ヲ開始スル時間ヲ示スヲ可トス此ハ屢々用フル法ナルモ前隊ノ行李ヲ以テ後隊ノ通路ヲ塞クノ虞アルヲ以テ行軍長徑ヲ顧慮シテ大行李ノ集合時刻ヲ示ス所以ナリ大行李ノ集合ヲ終ル時刻ヲ示ストキハ各隊ノ行李或ハ早クヨリ集合ヲ始メテ隨意ニ道路ニ出テ軍隊ノ妨害ヲ爲スノ虞アリ又往々大行李ニ命スルニ諸隊出發ノ後某所ニ集合シ云々ト云フアレモ是レハ小部隊ノ爲メニハ支障ナシト雖モ大部隊ノ爲メニハ甚タ宜シカラス何トナレハ今假ニ甲乙丙ノ三隊宿營シアリトセンカ各隊互ニ他隊ノ出發シ終リタル時刻ヲ明瞭ニ知リ能ハサルヲ以テ乙隊ノ未タ出發セサル前ニ甲隊ノ大行李ハ既ニ自己ノ隊カ出發セシ故他隊モ最早出發シタルナラント想像ニテ集合ヲ始メ丙モ亦是レト同シ考ニテ集合ヲ始ムル如キアリテ遂ニ衝突ヲ起スアリ往々發生スレハナリ又軍隊運動ヲ始ムル前ニ後方ニ大行李ヲ集合セシムル方法ア

ルモ是レ行李ノ錯雜ヲ防クニ宜シキノミニシテ宿營區域延長ナルトキハ其前方ニ在ル兵隊ハ出發以前ニ於テ早クヨリ既ニ其衛李ヲ出ズヲ要スルノ不便ヲ感スヘシ故ニ前陳ノ如ク集合ヲ始ムル時刻ト跟隨スヘキ距離トヲ示スヲ通常有利ノ方法トス

退軍ノ時ハ軍隊ノ集合スル前尤行李ヲシテ約八吉米以上ノ距離ヲ取ラシムル如ク出發セシムルヲ有利トス

支隊命令答解ノ理由

明日ニ關スル命令ヲ作爲メル爲メニハ先ツ以テ狀況ノ判斷（情況判斷ヲ爲ス方法ハ後文ニ記ス）ヲ爲スヲ要ス此判斷ニ於テ敵ノ爲サントスル動作ヲ突然地ヨリ湧出シタル如ク判斷シ或ハ我ノ爲メニ頗ル不利ノ事換言スレハ實際アリ得ヘカラサルヿヲ考フルハ毫モ價値ナク敵ノ爲シ能フヿヲ判斷セハ足レリ今敵ノ進路ヲ考フルニ之ヲ西尾ノ街道ニ取ルカ又ハ東海道ニ取ルカノ二ナルヘク然レトモ其西尾ニ進路ヲ取ルノ公算ハ少シ何

トナレハ單ニ名古屋平地ニ進出スルモノナラハ孰レヲ取ルヤ圖リ難シト雖モ敵ハ必スヤ目的ヲ有スヘシ若シ知多半島ノ某所ニ更ニ一部隊ヲ上陸セシメ後來ノ作戰上背後連絡線ヲ知多半島ニ取ルモノトセハ或ハ西尾方向ニ主力ヲ用ユルヤモ知レスト雖敵ハ駿河灣ニ上陸シタル第一ノ團隊ナリ又駿河灣ニ一部ヲ上陸セシメ更ニ一部ヲ知多半島ニ上陸セシムル如キハ目下ノ情況上有リ得ヘカラサルヿト考フルヲ得ヘシ然レモ敵ハ必ス此ノ如キ動作ニ出テスト斷言スルハ不可ナリ要スルニ敵ハ本道ニ主力西尾方向ニ一部ヲ差遣スルモノト考フルヲ宜トス此故ニ西尾方向ハ多少顧慮スルヲ要スルモノナリ

我支隊ノ進路ニ於テ平針街道(新街道)ヲ取レハ敵ヲ南方ニ制スルヿ難ク且北ニ偏スルノ嫌アリ之ニ反シ東海道ヲ取レハ敵ヲ北ニ壓迫スルヿモ又南ヨリ來ル敵ニ對スルヿモ爲シ得ヘシ依テ東海道ニ進路ヲ取ルヲ有利トス此ノ兩街道ノ距離及良否等ハ大差無キモノト見テ可ナリ且又四大隊ノ縱隊ナレハ行進ノ爲ニ分割スルノ必要ヲ見サルナリ

加之敵狀ニ依テ攻擊スルヤ將タ防禦スルヤ未定ナルヲ以テ目下ハ集結シ置クノ必要アリトス

右ノ理由ニ依リ支隊命令ヲ下スコト次ノ如シ

軍隊區分

獨立騎兵

騎兵第一中隊(二分隊欠)

前衛

司令官步兵少佐某

步兵第六聯隊第一大隊

騎兵一分隊

縱隊ヲ分ツニ單ニ行軍ノ容易ト云フ點ノミヲ以テスルハ大ニ不可ナ

支隊命令(四月七日午后八時名古支隊司令部ニ於テ)

一、駿河灣ニ上陸セシ敵ノ一部ハ東海道ヲ前通シ本日夕ニハ豐橋附近ニ達スルノ距離ニ在リ其兵力ハ未タ詳ナラス

二、支隊ハ明日宇頭ニ向ヒ前通セントス

三、獨立騎兵ハ午前六時其宿營地ヲ發シ岡崎及西尾方向ヲ捜索スヘシ

工兵第一中隊ノ一小隊
本隊(同行軍序列)
騎兵一分隊
歩兵第六聯隊(第一大隊欠)
砲兵第一大隊
歩兵第三十三聯隊第一大隊
衛生隊二分一

四、前衛ハ午前六時其先頭ヲ以テ本町門ヲ發シ東海道ヲ
字頭ニ向ヒ前進スヘシ
五、本隊ノ諸隊ハ午前六時行軍序列ノ順序ニ從ヒ南方ヲ
先頭トシテ東練兵場ノ南部ニ集合スヘシ
六、大行李ハ午前七時東練兵場北部ニ集合シ後本隊ノ後
尾ヨリ約二千米突ヲ隔テヽ之ニ續行スヘシ
七、予ハ本隊ノ先頭ニ在リ

支隊長少將某

傳達法

各隊長ヲ集メ本命令ヲ口達筆記セシム

問　捜索勤務ノ要旨如何

答　捜索勤務ハ騎兵ノ性質ニ適スルヲ以テ概ネ其專任トスル所ナリ而シテ其目的ト効用トニ從テ左ノ二種ニ區別ス

一、敵ニ接觸シテ敵兵ノ動作ヲ監視スルモノ

二、戰鬪ヲ交ヘ得ヘキ兵力ヲ其後方ニ置キテ之ヲ援助シ或ハ敵ノ爲サントスル捜索ヲ妨害セシメ或ハ敵ノ警戒線ヲ破リテ其背後ノ情況ヲ偵知セントスルモノ

而シテ此勤務ハ相反スル二要訣ヲ滿足セシメサルヘカラス即チ騎兵ヲ正面ニ派遣シテ十分ノ捜索ヲ爲シ且全正面ノ地形ヲ捜索スルヿ及敵ノ騎兵トハ必ス戰鬪ヲ始ムルノ時期アルヲ以テ爲ニ勉メテ集團セル兵力ヲ集結スルヿサリ之ナリ此捜索ノ爲メニ多クノ騎兵ヲ使用スルヤハ兵力ヲ減殺シテ戰鬪ニ預ルノ兵力ヲ少カラシメ又戰鬪ノ爲メニ兵力ヲ集團スルヤハ捜索勤務ヲ十分サラス故ニ敵狀、兵力及地形ヲ如何ニ由リ適當ニ之ヲ定ムルヲ要ス

問　騎兵一中隊ヲ捜索勤務ニ派遣スル場合如何

答　孤立騎兵中隊ヲ捜索勤務ニ派遣スルハ左ノ場合ナリトス

一、小數ナル歩兵縦隊ノ前方ニ於テ孤立ノ動作ヲ爲ストキ

二、聯隊及旅團又ハ十分ニ本部ノ兵員ヲ貯フル所ノ師團ハ數個ノ孤立中隊ヲ捜索面各部ニ派遣ス然レ𪜈此中隊ハ捜索面中敵所在ノ方向又ハ發見セル敵ニ接觸ヲ要スル方向ニ派遣スルヲ利トス而シテ此中隊ハ後方ニ在ル本隊其他近傍ニ在ル歩兵ノ援助ヲ受ケサルヘカス

三、歩兵ノ一支隊ニ附屬セシムルヲ得ルモノトス

問　捜索ニ任スル騎兵中隊ノ最モ多ク遭遇スル狀況及之ニ處スルノ方法如何

答　此一般ノ場合ハ左ノ四種ニ屬ス

一、敵ハ局地又ハ一陣地ヲ爲セル數局地ノ全部ヲ占領セルヤ否ヤ此場合ニ在リテハ中隊ハ偵察シ得ヘキ其地點ノ近傍ニ於テ要點ニ赴クヲ良トスト雖モ其主力ヲ過度ニ接近セシメサルヲ可トス是レ敵ノ追撃スル𣏌安全ニ退却シ得ンカ爲メナリ又此中隊ノ目的ハ戰ノ爲ニアラスシテ情報ヲ求ムルニアルカ故ニ徒ニ戰鬪スヘキモノニアラサルナリ

中隊此要點ニ至ル𣏌ハ停止シテ數多ノ斥候ヲ出ス即チ某村落某森林或ハ高地等敵ノ之ヲ占領セシヤ否ヤヲ偵察スルモノトス此際中隊長ハ偵察ノ難易ニ從ヒ將校下士若クハ上等兵ヲ斥候長トシ爲ス然レ𪜈將校ハ技倆ヲ要スル困難ナル事件ニ用ヒ輕易ノ事項ニハ下士又ハ上等兵ヲ用ユヘシ

將校ヲ以テ之ニ任スル多クノ場合ハ既ニ發見シタル敵ヲ將校親ラ其性質ノ如何ナルカヲ偵察スル時ニアルモノトス

斥候カ敵兵ノ所在ヲ報スル𣏌ハ隘路口若クハ高地ニ占位スル停

止斥候ナルヤ又遊動性ノ斥候若クハ偵察隊ナルヤ否ヤヲ視察セ

サルヘカラス

若シ遊動性ノモノナルトキハ我斥候ヲ此斥候ニ追躡セシメ以テ其

占領セル陣地ヲ偵察スヘシ之ニ反シ固定ノ哨所ニ會スルトキハ尚

其近傍ヲ偵察シテ之ニ連繫スル敵兵ノ所在ヲ偵知シ以テ敵ノ占

有スル断ヲ審ニセサル可カラス之ヲ要スルニ此場合ニ在リテハ

敵ト接觸ヲ絶タサルニアリ

二、主要ノ本道上ヲ稍離隔セル地點迄捜索スルトキ又一定ノ目的ナク

唯單ニ敵ヲ發見スル迄捜索スル方向ニ於テ敵ヲ捜索ス

三、完全ノ情報ヲ得サルヲ以テ明ニ限界ヲ定ムル事能ハス唯一般ノ

四、停止若クハ行進中ノ敵ト接觸ヲ失ハサルヲ目的トセルトキ

斥候一般ノ原則ニ就テ

一、斥候ノ目的

斥候ハ行軍、駐軍及戰鬪ノ三態勢中常ニ之ヲ用フルモノニシテ巧ニ

之ヲ使用スレハ決シテ不意ノ敵襲ヲ蒙ムルノ患ナキモノトス即チ

斥候ノ目的トスル所概ネ左ノ如シ

敵ノ現在スルヤ否ヤヲ捜索シ以テ我隊ヲ警戒シ且指揮官ニ判斷ノ

基礎タルヘキ材料ヲ供スルニアリ

二、斥候ノ人員

斥候ハ成ルヘク人員ノ寡少ナルヲ良トス之レ蓋シ其目的戰鬪ヲ主

トスルニアラスシテ專ラ捜索ヲ主トスレハナリ若シ人員多キ時ハ

徒ニ潜行ノ利ヲ失フノミナラス却テ戰鬪ヲ希望スルノ慮アリ故ニ

其派遣スルトキノ狀況ト土地ノ遠近地物ノ大小等ニ由リ適當ノ人員

ヲ派遣スヘキ者トス即チ斥候ノ人員ハ必要ノ度ニ應シ通常三名ヨ

リ十五六名ノ間ニ變化シ而シテ斥候長ハ任務ノ輕重ニ從テ士官、下士、上等兵或ハ怜悧ノ兵卒ヲ以テス

三、斥候ノ區分

斥候ハ其目的ニ對シ其種類ヲ區別スレハ概ネ左ノ如シ

其一　行軍斥候

1、道路上ノ斥候即チ尖兵

2、側方ニ出ス斥候

其二、前哨斥候

1、前哨配布ノ際ニ於ケル掩護斥候

此斥候ハ配布セントスル所ノ歩哨線ヲ越ヘ數百米ノ地ニ至リ土地ヲ捜索シ遠ク展望シ得ヘキ地ニ停止シ而シテ歩哨ヲ其後方ニ配布シ終レハ歸還スルモノトス

2、前哨配布後前方ノ地形併ニ敵狀捜索ノ爲ニスル小斥候

3、特別ノ目的ヲ以テ敵狀ヲ視察スル有力ナル斥候

此斥候ハ土地ヲ捜索スルノ外敵ノ斥候ヲ拒支シ若クハ擊退シ敵ノ下士哨若クハ小哨ヲ攻擊シ或ハ驅逐シ又ハ捕獲スルモノトス之レ多少威方ヲ用ヒ斯ノ如キ障礙物ノ内部ヲ視察センカ爲メナリ故ニ詭計ノミヲ以テ足レリトセサル時ハ尚攻擊スルヲ得ヘシ此攻擊ヲ爲スニ當リテハ果斷決行スルヲ要ス然レ𪜈細思熟慮シテ前進スルヿ猶潜行斥候ニ於ケルカ如クナルヘシ是レ勉メテ敵ノ不意ニ出テ躬急襲ニ斃ラス或ハ伏兵ノタメニ捕獲スル所トナラサランカ爲メナリ

此場合ニ於テモ亦斥候ノ各兵ハ勉メテ其目的ト行途ノ目標トヲ詳カニスルヲ要ス而シテ此斥候ヨリ出ス所ノ小ナル差遣兵(尖兵、側斥候)ハ相互ノ間竝ニ其所屬部隊トノ間ノ連繫ヲ密ニスヘシ是レ此ノ偵察部隊ニ於テ迅速處置スルニ方リ一

人モ損失セサランカ爲メナリ

4、歩哨線内巡察ノ爲メニスル斥候

其三、戰闘斥候

1、防禦ニ於テ敵ノ近接ヲ監視スル斥候

2、攻撃ニ於テ敵ノ位置兵員等ヲ捜索スル偵察斥候

3、戰闘間隣隊若クハ天然ノ障碍物ニ戰線ノ翼ヲ依托セサル時其側方ニ出ス戰闘斥候

4、戰闘緻敵ニ接觸シテ敵ノ運動ヲ監視シ或ハ敵ノ希望ヲ察知センカ爲メニ用ユル追躡斥候

四、斥候ノ行進法

斥候ハ捜索ヲ主トスト雖モ亦多ク不意ノ敵襲ヲ警戒シ自衛ノ爲メ常ニ其銃ニ裝塡シアルヲ要ス

斥候ハ行軍中耳目ヲ活動シ且又展望ニ便ナル地點或ハ音響ヲ聞ク或ハ故聽ス如何ナル場合ニ在テモ退路ヲ離絶セラレ或ハ又無益ノ戰闘ヲ爲シテ其任務ヲ忘ルヽ等ノコトアルヘカラズ

斥候ノ行進ハ概ネ躍進法ヲ用ユルモノニシテ敵ヨリ展望セラルヘキ平坦開濶ノ地ハ迅速ニ通過シ蔭蔽ニ便ナル地ニ至テ呼吸ヲ繼キ且ツ四方ヲ展望シテ更ニ躍進スヘキ地物ヲ求メテ前進ス時トシテハ敵ニ發見セラレサルタメ匍匐スルコトアルヘシ

斥候ノ行進隊形ハ其兵員ノ多寡ト土地ノ形狀ニ應シテ定ムヘシト雖モ敵ニ遭遇スルニ方リ全員同時ニ捕獲セラレサル如ク若干ノ距離ヲ取ルヘシ此距離ハ土地ノ蔭蔽セルト蔽開セルト一側面蔭蔽セル時等ニ依リ記號或ハ音聲ヲ以テ指揮シ互ニ連絡シ得ルヲ以テ度トスヘシ通常ハ五十米前後ヲ適當トス

五、夜間斥候

夜間ニ在テ斥候ノ業務ヲ行フヤ頗ル容易ナリ地理ニ明カナル片ニ於テ殊ニ然リトス若シ夫レ地理ニ明カナラサル時ハ行進方向ニ在ル村落及街道ヲ質シ而シテ其側端若クハ其街道ニ接シテ前進スヘシ是レ一ツニハ進路ヲ誤ラサルカ爲メ又一ツニハ之ヲ監視センカ爲メニシテ又夜間ニ在テハ多クノ場合ハ街道ノミニ依リテ運動スルカ故ナリ而シテ敵ノ露營火アル片ハ之ヲ目標ト爲シ得ルモ之ニ反シ何モ見ル所ナキトキハ星ニ因テ行進方向ヲ規定スルカ或ハ地圖ニ依テ方向ヲ辨知スルノ外ナシ故ニ各斥候發進前ニ於テハ目的トスル行進方向ヲ質スヲ要ス

夜間差遣スル斥候ハ潜行ヲ主トスルヲ以テ人員極メテ寡小ナルヲ良トス人員多キトキハ運動不便ニシテ敵ニ發覺セラレ易シ

夜間ハ視目ヲ活動スルヨリハ寧ロ聽音ヲ以テ主トス故ニ時々耳ヲ地上ニ傾ケ音響ノ來ル方向ヲ知リ又若シ疑ハシキ響ヲ聞クトキハ忽チ潜伏シ窃カニ其原因ヲ探究スヘシ

前哨警戒ニ於テ斥候ハ遊動スル哨兵ニ異ナラスシテ夜間ニ於テハ殊ニ必要ナリ蓋シ歩哨ニ在ル如ク睡魔ノ襲フ所トナラス加之兵卒ヲシテ其才智ト膽勇トノ全機能ヲ發起セシムルヲ以テ其視察尤モ廣キニ及フモノトス乃チ歩哨ハ目ニシテ斥候ハ耳ト云フモ可ナリ

夜間ニ在テ窃ニ敵ノ歩哨線ヲ通過スルハ晝間ニ比シテ其困難遙ニ少シ黄昏前敵ノ歩哨線ノ所在竝ニ敵ノ斥候ノ巡行スル所ヲ注視シ置キ然ル後我ハ夜暗ニ至リ敵ノ歩哨ヲ迂回シ敵ノ斥候ヲ避ケ以テ該歩哨線ニ侵入スル如シ然レ𪜈夜間ハ屢其方向ヲ失ヒ其任務ヲ全フセサルノミナラス却テ大ナル危害ニ陥ルコアルヲ注意スヘシ

六、行軍間ノ斥候

行軍間兩側面ニ派遣スル斥候ハ道路上ノ斥候カ捜索シ能ハサル遠距離ノ地點ヲ捜索スルニ用ユルモノナリ

行軍間派遣スル斥候ハ前面ノ斥候ニ比スレハ其勤務甚タ困難ナリトス是レ此斥候ハ迅速ニ捜索シ瞬速ニ行進スルニアラサレハ先頭ニアル斥候ノ運動ニ隨從スル能ハサレハナリ

此斥候ノ注意ヲ要スルハ常ニ前衛ト連絡ヲ失セサルニアリ然ルニ蔭蔽斷絶ノ地ニ在テハ不識不知本隊ノ行進方向ニ外ツレ爲ニ復歸ノ道ヲ失シ無用ノ地點ニ彷徨シ甚シキ困難ニ陷ルノミナラス遂ニ本隊ノ安寧ヲ害スルヿアルヿナリ

斥候ハ行軍路ヲ離ルヽノ遠近ニ依リ尖兵、前兵及前衛本隊ヨリ之ヲ派遣スルヿアリテ尖兵ヨリ出ツルモノハ通常三名ニシテ前兵及前衛本隊ヨリ出ツルモノハ五名乃至十五名ニ至ルヿアリ從テ遠距離ニ派遣セラルヽモノトス

行軍間斥候ハ派遣セラルヽ前通常左ノ諭示ヲ受クルモノトス

一、目的

二、取ルヘキ道路(之ヲ示ス必要アルトキニ限ル及ヒ方向

三、捜索スヘキ地點

四、本隊ニ合スヘキ地點

右ノ諭示ハ圖上若クハ現地ノ著名ナルモノニ就テ授クルヲ可トス但シ地圖ハ常ニ有ルモノト限ラレサルヲ以テ成ルヘク著名ノ地物竝ニ方位等ヲ以テ指示スルヿニ習熟シアルヲ要ス是等ノ爲メ磁針ヲ常ニ携帶スルハ尤モ必要ナリトス又時トシテハ手簿ノ紙片ニ最モ概略ナル略圖(主ナル道路ノ方向ト著名ナル目標トスヘキ村落其他若干ノ地物ヲ概記スルニ止ム)ヲ認メテ斥候ニ與フルヲ良トスルヿアリ是レ遠大ノ距離ニ派遣スル騎兵斥候ノ如キニ在テハ屢必要トスルヿ多シ

行軍斥候ノ派遣ハ最モ瞬速ヲ要スルヲ以テ尖兵、前兵及ヒ前衛本隊ハ豫メ斥候ヲ編成シ特ニ尖兵及前兵ニ於テハ通常之ニ番號ヲ附シ其呼聲ニ應シ直ニ隊列中ヨリ出ツル如クス

側方ニ派遣スル斥候ハ任務ト目的トニ依リ一地點ニ留リテ監視シ或ハ平行路ヲ取テ監視ス假令ハ側面ニ危殆ナル地點アッテ本隊ノ通過間是ヲ監視スルヲ要スル時或ハ側方ニ常ニ敵兵出沒シ本隊ニ近接スル如キ場合ニハ本隊ニ平行シテ行進シッヽ是ヲ監視掩護スルカ如シ

一地點ヲ占領シ本隊ノ行進ヲ掩護スル斥候ハ指示セラレタル時間內此點ニ止リテ監視シ本隊ノ後尾ニ歸還スルモノハ次ノ休止ノ時ヲ以テ所屬隊ニ復歸スヘシ

敵ト未タ遠隔セル行軍縱隊ノ前方ニ尖兵ヨリ出ス道路上斥候ノ外遠ク前方ニ獨立シテ士官或ハ下士ノ指揮ニ屬スル斥候ヲ派遣スルコトアリ此斥候ノ目的ハ警戒ニアラスシテ單ニ敵狀ヲ速ニ得ンカ爲ナレハ多クハ騎兵ノ任スル所ナリ若シ步兵ヲ以テ是ニ任スル時ハ脚力尤モ强壯ナル者ヲ撰ミテ報告使ニ宛テ置クヲ要ス蓋シ發見セシ敵狀ヲ速ニ其後方ニ報知シ得ルニアラサレハ先進斥候ノ効用消滅スレハナリ

七、戰鬪間ノ斥候

戰鬪ニ在テモ亦常ニ斥候ヲ用フ乃チ彼我相接スルニ至ル迄ハ互ニ斥候ヲ前面ニ派遣シ以テ敵狀ヲ捜索スルモノトス現今ノ微烟火藥ニ於テハ殊ニ然リ假令射撃ヲ交換スルニ至ルモ以前ノ如ク硝烟ヲ見テ敵線ノ廣狹位置及兵力等ヲ卜知スル能ハス常ニ斥候ヲ派シテ戰鬪間、間斷ナク捜索ヲ行ハサルヘカラス是カ爲メ派遣セラレタル斥候ハ勉メテ敵彈ヲ免レンカ爲メ側方ニ避ケテ行進スルヲ常トス戰鬪中最モ斥候ノ必要ナルハ兩側面ニ在リト雖モ時機ニ依テハ背面ヲモ警戒スルヲ要スルコトアリ

敵兵退却スルニ當リ派遣セラルヽ斥候所謂追躡斥候ハ敵ノ停止スル地點ヲ探ルニアリト雖モ猥ニ侵入シテ敵ノ謀計ニ陷ル勿レ敵兵

退却シテ停止スル地點ヲ見ルヲ得サレハ其方向ヲ探知スルモノトス若シ又敵再ヒ前進シ來レハ發射シ且報告ス

敵カ退却ヲ繼續シ停止スルノ景況ナキ時ハ我ニ危險ナラサル遠距離ノ地ニ至リタルヿヲ確認シタル後該斥候ハ退却ス

八、將校斥候

將校斥候ハ其功績著シキモノニシテ之ニ任スル將校ハ剛膽ニシテ危險ヲ冒スノ性質ヲ備ヘ眼方銳敏ニシテ軍事ニ關スル諸件ヲ判定スルニ熟達シ且報告ノ確實ナルヲ要ス然レ𪜈斯ノ如キ性質ハ各人皆充分ニ具有センヿヲ望ムモ得ヘカラサルヲ以テ宜シク其適任者ヲ撰拔シ以テ任務ニ服行セシムヘシ

將校斥候ハ多ク騎兵士官ノ任スル所ニシテ其要ハ良馬ノ速力ヲ以テ動作ノ基礎ト爲シ出沒奇變窺フヘカラサルノ動作ヲ以テ冒險危地ニ侵入スルニ在ラサレハ充分目的ヲ達スル能ハサルモノトス又

戰鬪ハ決シテ望ム所ニアラサルナリ故ニ人員ノ大ナルハ却テ其累ヲ增スモノナレハ此斥候ニ任スルモノハ人馬共ニ撰拔シテ少數ナル有爲者ヲ以テ編成シ而シテ遠ク派遣セラルヽ時ハ報告ノ傳達使トシテ若干ノ騎卒ヲ伴ヒ或ハ又遞騎線ヲ設クルニ必要ナル人員ヲ伴フヿアリ

將校斥候ノ効力ハ著シキモノナルコト論ヲ俟タサレ𪜈是ヲ出スノ數ニ就テハ又考慮スル可ラサル可ラス即チ新ニ斥候ヲ出スノ必要生シタルトキ既ニ其將校ノ欠乏ヲ訴ヘサル如ク將來ノ必要ヲ顧慮スルヿ又多クノ將校ヲ差遣スレハ騎兵隊ノ活動力ヲ減殺スヘキヿトヲ熟考セサル可ラス特別ニ重要ナル事件ノ爲メニハ參謀將校ヲ以テシ又特科兵ノ專門ニ屬スル事件ノ爲メニハ特科將校ヲ以テシ又時トシテ多小ノ威力ヲ要シ近距離ノ搜索ニハ若干部隊ヲ指揮セル步兵將校ヲ以テスルヿアリ

將校尤候ノ尤モ注意スヘキハ大ナル住民地ニ於テ休止セサルニアリ凡ソ休止ハ必ス開濶ナル原野ニ於テスヘク大ナル住民地ハ迂回シテ之ニ近接スヘカラス若シ晝夜連續シテ派遣セラルヽ時ハ街道ノ側傍ナル小林、獨立家屋、嗣宇等ニ於テ徹夜スヘシ此時ニ在テハ各人皆轄ヲ取テ不意ノ時變ニ應スルノ準備ヲ怠ルヘカラス

騎兵尖兵ニ就テ

凡ソ前衛尖兵ノ職トスル所ハ其前方道路ヲ搜索シ及ヒ其前面若クハ側面ノ地形ヲ極メテ能ク實査シ以テ其實視スル所メモノヲ總テ前衛司令官ニ申報スルモノナリ是ノ理ニ基キ凡ソ前衛尖兵ノ各卒ハ能ク其經行地方ノ邦語ヲ解スル者ヲ撰ムヲ得ハ尤モ宜キモノナリ

尖兵ハ火急ノ事件アルモ其後方ノ兵ニ報告スルニ他ノ良法ナキニ非サレハ決シテ放火スルヲ許サス

敵軍漸ク退クヤ我カ尖兵ハ宜シク之ニ隨從シテ行進ヲ起スヘシ然レ

モ之レ決シテ追撃スルノ謂ニアラサルナリ而メ若シ又敵ノ部隊或ハ單ニ數騎ノ者俄カニ攻撃シ來ル時ハ尖兵亦タ宜シク之ニ抵抗スヘシ然レモ敵兵若シ我ヨリ多數ナルトキハ尖兵ハ宜シク靜ニ退却歸還シ且ツ傍ラ敵ノ擧動ヲ顧慮監査シ以テ我カ後援ノ爲メ後方ヨリ方ニ來ル所ノ前衛ノ動作ノ便ヲ計ルヘシ

尖兵若シ途上ニ於テ種々ノ障碍物ニ遇フノ時即チ車輛ノ傾覆セシモノ或ハ柴柵若クハ切斷地等アルトキハ尖兵長ハ必ス其本務カ警戒ニ在ルコトヲ怠ルコトナク且ツ是ノ障碍物ヲ避ンコトヲ圖ルヘク又急速ニ前衛司令ニ報告スヘシ前衛司令此ノ報告ニ接セハ直ニ所要ノ人員ヲ派遣シテ障碍ヲ除去シ以テ其通行ヲ便ニスヘシ

行軍中ニ在テ最外尖兵(捜兵)ハ其自ラ必ス敵軍ノ發見スル所トナルヲ知リ而シテ敵モ亦必ス退キ去ラサルノ時ニ非サレハ決シテ射撃スルヲ得サルモノトス又最外尖兵ノ不時ニ敵ニ遭遇スルトキハ我ヨリ能

ク敵ノ動作ヲ窺ハンカ爲メ敵ノ目撃スル所トナラサル¬ヲ勉ムヘシ

凡ソ最外尖兵ノ動作ハ其經過スヘキ地形ノ或ハ蔭蔽シ或ハ又斷絶不齊ナルニ從ヒ自ラ齊一ナル能ハサルモノナリ

其敵開地ニ在テ騎兵尖兵ハ敵ノ目撃ニ觸レサル¬ニ勉メ又敵ノ急襲ヲ避ケテ豫定指示ノ方向ニ向フヘシ

又此理ニ基キ尖兵ノ本道上ヲ行進スル時ニ在テハ必ス其道路ノ左右或ハ隱蔽地等敵ノ潛匿スルノ慮アル所ハ之ヲ殘サス必ス周密ノ捜索ヲ爲スヘシ故ニ最外尖兵ハ決シテ二騎共ニ齊頭ニ行進シ或ハ道路ノ一側ニ偏行スルカ如キハ許スヘカラサルモノナリ又一騎ナレハ或ハ敵ノ目撃ヲ避クヘキ¬アランモ二騎齊頭併行スルトキハ敵ノ看視ヲ避ケ難キモノナル¬ヲ注意スヘシ

凡ソ行軍中特ニ敵ノ接近シアル時ノ如キハ尤モ靜肅ヲ要スヘキモノナリ又各同一群ノ騎兵互ニ其怪疑トスヘキモノヲ見タルトキハ必ス相通告スルヲ要ス故ニ行進中各騎互ニ相遠隔セスシテ以テ所要ノ際甚シク發聲スル¬ナクシテ相通告シ得ルカ如クスヘシ

騎兵側斥候ニ就テ

側斥候ノ任トスル所ハ本軍ノ側面ヲ捜索警備スルニアリテ又獨立ノ性質ヲ帶フルモノナルヲ以テ必スシモ之ヲ派出セシ部隊ト斷ヘス連絡スルヲ要セス故ニ道路上ノ斥候即チ最外尖兵トハ稍其赴ヲ異ニスルモノト知ルヘシ然レトモ一旦其道路近隣ノ散開スルアリテ其位置ヨリ本隊ヲ目撃スルヲ得ルニ至ラハ必ス本隊ノ運動ト一致シ以テ自己ノ動作ヲ謀ルヘキモノナリ

凡ソ側斥候ニハ必ス其本隊ノ行進スヘキ道路ヲ豫メ指示スヘシ然レモ若シ地形散開シテ側斥候常ニ其本隊ヲ目撃スルヲ得レハ必スシモ之ヲ示スヲ要セサルモノナリ

總テ側斥候ハ常ニ必ス尋常ノ道路ノミヲ行進スルヲ得サルモノニシ

テ諸種ノ障碍物ニ遭遇スルヲ免レサルモノナリ故ニ之カタメ決シテ停止躊躇スヘキモノニアラス却テ是等ノ障碍物ニ遭遇セハ益々勵精奮起シテ騎兵本然ノ巧智良能ヲ顯スヘキ時機ナリト思考セサルヘカラス

側斥候ハ通常前衛ヨリ派出スレモ亦時トシテハ本隊ヨリ出スコアリ其人員ハ通常長一名騎卒二乃至五名ヨリ成ルモノトス而シテ其前進ニ當テハ縱隊ニ併行シ成ルヘク前衛ト齊頭ニ在テ其側方約五百米突ノ間隔ヲ取テ行進スルヲ可トス

其行進ノ地方大ニシテ地形ノ不齊ナルカ或ハ本隊ヲ隔離スル甚タ遠キニ至ルトキハ「宜シク其兵員ヲ增加セサルヘカラス

側斥候ノ警備範圍ハ其掩護スヘキ縱隊所在ノ面ニ反對スル方向約三百米前後トス

側斥候行進中ハ決シテ密集セス亙ニ大約十乃至十五米ノ距離ヲ隔ツヘシ此ノ如クスル時ハ所要ノ際必ス大聲ヲ發セスシテ相談話シ得又共ニ伏兵ニ陷ルノ禍少ナキモノトス

問　支隊命令ニ基ク獨立騎兵ノ區分ハ如何

答　一、東海道上岡崎方向ヘ將校斥候(第三小隊長ニ騎卒六ヲ附ス)

二、苅谷ヲ經テ西尾方面ヘ將校斥候(第四小隊長ニ半小隊ヲ附ス)

注意　將校斥候ニ兵卒二三名ヲ附スルハ敵ノ翼ヲ位置スル點又ハ其狀況等ヲ偵察セシムルカ如キ近距離使用ノ場合ナリ

三、平針街道ニハ下士斥候(第二小隊ヨリ一分隊)

四、第二小隊(三分隊)ヲ前衛トシ爾餘ヲ本隊トス

問　前衛小隊長ハ如何ナル行進法ヲ取ルヤ

答　四乃至六騎ヲ尖兵トシ自ラ之ヲ率ヒ其餘ハ古參分隊長ヲシテ引率セシム

注意　尖兵長ハ自己ノ眼目ヲ働カシテ視察スルヲ要シ己レノ眼目ノ及ハサルニ至テ兵卒ヲ使用スルモノタリ又平針街道ニ派遣セラレタル下士斥候トノ連絡ノ如キハ騎兵中隊ニ於テ爲スヘキコトナリ

問　捜索ニ任スル騎兵ハ一時間ニ何吉米ヲ行進シ得ルヤ

答　敵ヲ捜索シツヽ行進スル騎兵ハ一時間ニ約六吉米ヲ行進ス又有松附近ノ如キ山地ヲ行進スル間ハ七乃至八吉米ノ速度テ以テ速ニ山地ヲ進出スルヲ必要トス

問　東海道上ノ將校斥候ハ如何ナル行進法ヲ取ルヤ

答　斥候長自身ハ二騎ヲ率ヒ爾餘ハ已レト同時ニ發見セラレサルヲ度トシテ跟隨セシム

情況）午前九時三十分ノ頃東海道上ノ將校斥候ハ尾崎村内ノ三叉路ニ達セリ前方三四百米突ニ敵ノ騎兵五六騎ノ行進シ來ルヲ見ル

問　將校斥候ハ如何ニスルヤ

答　襲撃ヲ爲ス

理由　斥候ハ元來戰鬪ヲ求ムヘキモノニ非スト雖モ此ノ如キ狀況ニ際會シ村内ニ於テ半輪等ヲ行ヒ之ヲ避ント欲スレハ返テ敵ノ致ス所トナリ襲撃セラルヘシ又本道ノ兩側ハ並木アルヲ以テ假令敵兵多シト雖モ包圍セラルヽノ患ナケレハナリ

將校斥候ハ襲撃ニ移ルヤ敵騎ハ逃ケテ字頭西南方ノ森林中ニ隱蔽セリ本道上字頭附近迄ハ敵兵ヲ見ス

問　將校斥候ハ如何スルヤ

答　字頭ノ北端畑地ニ於テ兵ヲ集結シ斥候長自身ハ字頭北側ノ高地ニ至リ矢作村方向ヲ展望シ然ル後本道ヲ取ルヤ將タ他ニ轉スヘキヤヲ決定シ同時ニ河川ノ景況ヲ土民ニ問フヘシ之レ支隊長ニ於テ必要ナルノミナラス直接自己ニモ緊要ノコトナリ而シテ報告ヲ支隊

長ニ呈セントス(第一ニ敵ヲ發見シタルコハ緊要ノ報告タリ)

此時矢作村ノ西端ニ敵ノ騎兵ラシキモノアルヲ認ム又西本郷ヨリ北本郷ヘ向テ敵ノ一騎ノ馳スルヲ見ル斥候長ハ北野方向ヨリ渡河シ岡崎北方山地ニ入リ敵ヲ各所ニ於テ觀察センコヲ欲ス依テ右ノ諸件ヲ併セ報告ス時ニ午前九時四十分ナリ

報告ニ就テ要務令第十二乃至第十七參看

報告ハ命令ノ連繫ヲ有スル下級者カ上級者ニ爲ス通信ナリ假令ハ中隊長ノ大隊長ニ前衛司令官ノ總指揮官ニ報スル如キモノニシテ上級者ヲシテ通報ト相待テ情況ヲ明ニセシムルノ一要素ナリ

報告記載ノ要件概ネ左ノ如シ

一、特別ノ變事アラサルモ豫定ノ時限ニハ必ス報告スルヲ要ス之レ指揮官ハ其時刻ニ於テ豫定又ハ了知シタル事件ハ爾後變化セサルヤ或ハ何地ニモ敵ノ在ラサルヤ等ヲ豫メ辨知スルヲ要スルコ

屢之アレハナリ例ヘハ支隊長ハ甲地ヲ出發スルトキニ於テ前衛司令官ニハ乙地迄前進スヘキヲ命シ行進ヲ起シタリトセンカ前衛司令官ハ乙地ニ達スル迄形勢ノ變化ナク又異狀ナキモ必ス先ツ未タ敵兵ヲ見ストカ或ハ異狀ナシトカノ報告ヲ爲スヲ要ス之レ蓋シ支隊長ハ初メハ多分乙地附近ニ於テハ敵ノ抵抗ヲ受クルコナカラントト判斷シ先ツ乙地ニ向テ前進ヲ命セルナリ而シテ今ヤ形勢變化ナク乙地ニ達シ得タリトスレハ更ニ丙地ニ向テ前進セシメンコヲ望ムモ圖ラレス而シテ此希望ハ乙地ヨリノ報告ニ依テ定マレハナリ

二、報告ハ能ク既往ノ通報ヲ確實ニシ大ニ利益ヲ得ルコアルモノナリ假令ハ軍司令部ヨリ敵ノ一部ハ某灣ニ上陸シ某街道ヲ何地ニ向ヒ前進ストノ通報アリト假定スル而シテ我獨立騎兵カ某地附近ニ至リ敵ノ微弱ナル騎兵ニ遭遇スト云フ報告アリタリトセ

ハ此報告ハ即チ前ノ通報ヲ確ムルモノニシテ此獨立騎兵カ遭遇セシ敵ハ某灣ニ上陸セシ敵ノ騎兵ナラント云フヿヲ判斷シ得ルカ如シ

三、報告ニ於テ尤モ確實ナルハ自ラ目擊セシモノニシテ傳聞或ハ推測ニ依テ得タルヿハ概ネ確實ナラサルモノトス故ニ此等ヲ區別シテ報告スルハ受報者ヲシテ判斷ヲ誤ラシメサル爲メ最モ緊要ナルモノナリ今報告者ノ常ニ服膺スヘキ諸件ヲ陳フレハ次ノ如シ(野外要務令第十二乃至第十七參看)

一彼我ニ關スル過去現在ノ狀況

一報告者ノ將來施サントスル處置

一報告者ノ自ラ目擊シタルヿ他人ヨリ傳聞セシヿ風說又ハ推測ニ關ルヿトハ詳細ニ區別スルヲ要ス而シテ其推測ニ出ツルモノハ其理由ヲ併セテ記載スルヲ宜シトス

一報告ハ時機ヲ誤ラサルヿヲ必要トス機ニ遲レタル報告ハ概シテ無効ナルモノナリ

一報告者ノ署名、時刻、場所ノ記載ハ缺クヘカラサルモノトス

四、報告ヲ記スルニハ第一ニ敵ニ關スルヿヲ記シ第二ニハ報告者ノ爾後實施セントスル處置ヲ記スルニアリ而シテ其敵ニ就テ報告スルニハ、時間、位置、兵力ノ三件ヲ報スルヿ最モ緊要ナリ又報告者ノ爾後ノ處置ニ就テハ勉メテ受領者ノ意圖ニ合スルヲ要ス

敵ニ關スル事項ヲ記スルニ方リ唯タ敵ヲ見タリト云フノミニテハ價値少ク其兵種及兵數ハ如何又何レノ時何レノ地點ニ其先頭或ハ後尾アリテ何レノ方向ニ運動セリト云フカ如ク記セサレハ判斷ノ基礎タルニ充分ナラス而シテ此等ノヿヲ充分ニ捜索スルハ甚タ難キ所ニシテ殊ニ兵數ヲ知ラントスル如キハ多クハ種々ノ障碍ノ爲メ滿足ノ結果ヲ得サルモノナリト雖モ

勉メテ是等ノ捜索ヲ完全ナラシムルニ努力スルヲ緊要トス

又其先頭或ハ後尾等ヲ見タル地點、時刻ハ最モ必要ニシテ之ニ依テ敵ノ某點ニ到着スル時刻ヲ判斷スルヲ得ヘキナリ

五、諸種ノ徹候又ハ一部ノ視察或ハ見聞ニ由テ得タル情報ハ到底充分ニ敵狀ヲ確ムル能ハサルモノナリ確實且充分ノ情報ヲ得ント欲セハ直接ニ敵ヲ探偵視察スルニ如クハナシ就中戰鬪ニ依テ敵ノ兵力意圖等ヲ察知（前衛戰ノ如キハ是等ノ情況ヲ得ルノ任モ有スルモノナリ）スル如キハ指揮官ノ情況判斷ニ有効ナル材料ヲ供シ此報告ニ依リ戰鬪ノ計畫ヲ定メシムルヲ得ヘキモノトス

六、戰鬪局ヲ結ヒシトキハ指揮官爾後ノ作戰ヲ計畫スルニ最モ有効且確實ナル材料ヲ供スルタメ各團隊長ハ直ニ先ツ次ノ事項ニ關シ報告スルヲ要ス

敵幾團隊我ニ對セシヤ、我ニ對スル敵ノ團隊ハ何ナリシヤ、又其狀態ハ如何、何レノ方向ニ退却セシヤ、追擊ノ爲メ如何ナル方法ヲ施シタルヤ等

七、火急ノ場合假令ハ側方ニ派遣シアル騎兵斥候等不意ニ敵ノ來襲ヲ認メタリトセンカ此事ハ所屬隊長ニハ無論報告シ其他敵ノ來襲方向ニ在ル各部隊ニモ速ニ報告セサレハ忽チ危殆ニ陷ル如キ狀況ニアラハ同時ニ是等各部隊ニ報告スヘシ而シテ所屬隊長ニ呈スル報告ニハ既ニ何々部隊ニモ報告セシコヲ記載スルヲ要ス是蓋シ其報告ヲ受ケタルモノヨリ更ニ他方ヘ報告或ハ通報シ二重ノ徒勞ナカラシメンカ爲メナリ

八、報告ハ元來中隊ヨリ大隊ニ、大隊ヨリ聯隊ト順序ヲ逐フヲ正規トスレ𪜈此順序ヲ逐フトキハ報告遲緩スル等ノ場合ニ在テハ此中間部隊ヲ省キ直ニ指揮官ニ報告シ別ニ又此旨ヲ中間部隊ニ報告スヘキモノトス

右ニ記載スルヿハ通報ニモ準用シ得ヘキモノトス

狀況　午前十時五十分東海道上ノ里山ニ於テ獨立騎兵隊長ハ午前九時四十分字頭北端發將校斥候ノ報告ヲ受領シ該斥候ハ敵ノ五六騎ヲ驅逐シテ字頭ニ達シ爾後北野方向ヨリ矢作川ヲ渡河シ岡崎北方山地ニ入リ續テ敵ヲ捜索セントスルヿ、矢作村及本郷村ノ線ニ敵騎出沒スルヿ及矢作川ノ狀況ヲ知ル

問　此報告ヲ齎ラシタル騎兵卒ヲ如何スルヤ

答　中隊ニ留ム

此兵卒ハ既ニ疲勞シアリ且假令之ヲ斥候長ノ許ニ歸還セシムルモ其歸着時ニ於ケル斥候長ノ居所ハ全ク不定ナルヲ以テ留ラシメタルナリ恐ラク此兵卒ヲ派遣シタル斥候長モ亦同樣ニ命シタルナラン

午前十一時十二分騎兵中隊ハ前衛ノ先頭ヲ以テ宇頭茶屋ノ東南端ニ達ス此時尾崎村ノ村端ニ敵騎二三騎ヲ見ル先頭ノ小隊長ハ如何スヤ（此時ハ平針街道ヲ進ミシ下士斥候ハ和會村ニ於テ始メテ敵騎ニ遭遇シ今ハ天神橋方向ニ前進セシヲ知ル）

答　小隊ヲ橫隊ト爲シ森林ノ後方ニ隱蔽シ而シテ敵ノ後方ノ兵力ヲ見ンコヲ努ム即チ森林ノ北方ニ斥候ヲ出シ尾崎ノ東方ヲ偵察セシム

問　敵ノ斥候ハ退却セリ如何スルヤ

答　直ニ斥候ヲ放テ尾崎村ノ東端迄至ラシム

問　敵騎ノ密集隊宇頭村ノ北端ヲ出ントス騎兵中隊長ハ如何スルヤ

答　中隊長ハ宇頭茶屋東端無名祠森林ノ北方ニ中隊縱隊ヲ作リ敵ノ動靜ヲ觀察ス（斥候派遣シアラサレハ直ニ斥候ヲ出ス）

此時前方ニ派遣シアル斥候報告シテ曰ク敵ノ騎兵ハ約二小隊ニシテ

乗馬ノ儘尾崎ノ東南端ニ隠蔽シテ停止シ宇頭附近ニハ後續隊ヲ見ス
ト中隊長ハ我兵力ハ敵ヨリ約一分隊多ク又尾崎村方向ヨリ出ツレハ
先制ノ利ヲ占ムルヲ得地形ト兵力上ニ於テ襲撃ヲ許シ且ツ中隊ハ宇頭
ヲ占領スルノ必要アリ此地ヲ占ムレハ我ノ捜索勤務上便利ナルヲ以
テ縦隊ノ儘尾崎ノ北方ニ向テ襲撃ノ目的ヲ以テ前進シ斥候ハ本道ヲ
進メ敵ノ運動ニ隨従セシメ且以上ノ事ハ支隊長ニ報告ス次テ中隊ハ
横隊トナリ襲撃ス衝突ノ後敵騎ハ潰亂シ少數ノ者ハ宇頭方向ヘ其主
ナル者ハ西別所ノ方向ニ退却セリ我騎兵中隊モ多少潰亂シアリ中隊
長ハ如何スルヤ

答　中隊ヲ宇頭西南ノ畑地ニ於テ整頓シ西別所ニ逃レタル敵ニ對シ
テハ將校ノ率ユル半小隊ヲ、矢作村ノ方向ニハ小斥候ヲ差遣スト而シ
テ中隊長ハ高地前端ニ出テ、前方ヲ觀察ス

此高地ノ前方ハ運動困難且橋梁ヲ安全ニ渡河シ得ルヤヲ見定メタル
後ニ非スンハ前進スヘカラス又西別所方向ヘ退却セシ敵騎ノ動靜ヲ
モ知ラサルヘカラス故ニ此場合輕舉ノ前進ハ決シテ許サヽルナリ又
今中隊長ノ視察スル所ニ依レハ矢作村ノ西端ト中園下ニハ敵ノ騎兵
ラシキモノ徒歩シアリテ舳越川端ニモ復タ若干ノ徒歩セル騎兵アル
カ如シ且又傾方ヘ派遣セシ斥候ヨリノ報告ニ依レハ北野ノ對岸ニモ
敵ノ騎兵ラシキモノ徒歩シアリト西別所方向ニ赴キシ小隊長ヨリノ
報告ニ曰ク小官ハ西別所ヲ占領ス又退却セシ敵騎ハ概ネ本郷村ニ入
レリト如上ノ諸報告ニ依リ中隊長ハ川ヲ渡テ前方ヲ捜索スルノ公算
少キモノト決定シ現在地ヲ中心トシテ諸方ヘ多クノ斥候ヲ派遣セン
トシ左ノ處置ヲ爲ス

第一小隊長(二分隊ヲ率テ西別所ニ在リ)ニ鐵道橋ノ方向ニ斥候ヲ出
シ渡河點ヲ求メシメ爲シ得レハ渡河シテ岡崎方向ヲ偵察セシム

此任務ノ爲メニハ將校斥候ヲ派遣スルノ要アルモ後來緊要ノ時ニ將校ヲ使用セントスルモ一名モ有ラザルニ至ルヲ以テ在西別所ノ小隊長ニ任務

（ナ貫ハシメタルナリ）

北野ニ一分隊（第四小隊ノ一分隊）ヲ出シ諸方面ノ捜索及監視ニ任セシム

第二小隊ノ三分隊、第一小隊ノ二分隊第三小隊ノ二分隊即チ一小隊ト三分隊ヲ宇頭西南ノ畑地ニ集結シ該地西南部ノ高地端、小針及宇頭ノ東端ニ監視哨ヲ出ス

狀況　午後二時支隊ハ前衛ノ先頭ヲ以テ今村東端ニ達ス此時支隊長ハ左ノ情報ニ接ス

一、東海道ヲ前進セル敵ノ兵力ハ約混成一旅團ニシテ午後三時ニハ其歩兵ノ先頭ヲ以テ矢作川ノ線ニ達スヘシ

二、西尾方面ニ於テハ米津附近ニテ若干ノ騎兵ニ遭遇シタルノミ未タ他ニ敵兵ヲ見ス

三、矢作橋上流舳越河端及北野ニハ徒渉場アリ又北野ニハ假橋ヲ架

シアリ

四、我獨立騎兵ノ主力ハ宇頭附近ニ在リテ敵ノ騎兵ニ對持ス

右ノ情報ニ依リ支隊長ハ前衛ヲシテ宇頭茶屋附近ニ於テ支隊本隊ノ開進及防禦陣地設備ノ掩護ヲ爲サシム（支隊本隊ノ開進地及防禦陣地ハ次ノ問題ニ關係スルヲ以テ之ヲ記セス）

午後四時支隊長ハ左ノ諸情報ニ接ス

一、午後三時頃敵ノ一部ハ矢作村ニ入リテ停止ス敵ハ岡崎附近ニ宿營セルモノヽ如シ

二、北野及渡下切ニモ若干ノ敵兵現出ス

三、歩兵約一大隊ヨリ成ル敵兵西尾街道ヲ前進シ午後三時乃至四時ニハ米津附近ニ到着スヘシ

問、支隊長ノ決心

答、支隊ハ本夜今村附近ニ宿營セントス

問題　支隊ノ前哨配布及宿營ノ略圖

答解ニ關スル講評

宿營ノ爲メニ隊ヲ配布スルニハ明日ノ動作及隊ノ使用等ヲ考慮シテ計畫スヘキモノトス

警戒ノ爲メニ今村ノ南方ニ獨立セル小部隊ヲ多ク出スヨリ此方面ハ警戒ノ必要アルヲ以テ一ノ指揮官ヲ定メテ指揮セシムル如クスルヲ宜シトス換言スレハ一ノ建制部隊ヲ以テ該方面ノ警戒ニ充ツルヲ可トスルナリ

命令ノ系統線ノ側方ニ出ツルカ如ク前哨ヲ配布スルハ不可ナリ之レ蓋シ側方ヘ應援スルハ甚タ難ケレハナリ故ニ配布ノ形狀ハ扇形トナルヲ以テ宜シトス

歩哨ト歩哨トノ間ニ隱蔽地ヲ夾ム如ク配布スルハ不可ナリ斯ノ如キ場合ニ於テハ隱蔽地ノ前方或ハ後方ニ避クルヲ要ス

警戒ヲ全フセンニハ先ツ以テ捜索ヲ緊要トス故ニ前哨ニ於テハ斥候ノ使用甚タ必要ナリ

小哨或ハ獨立下士哨等ヨリ斥候ヲ出シタル場合ニハ孰レモ森林又ハ地點等ヲ捜索セシムヘキカヲ點線ヲ以テ示スヲ可トス又斥候ハ三名ト定メアル如ク圖上ニ記スルハ誤ナリ斥候ノ人員多ケレハ其數ヲ傍ニ記スヘシ

前哨中隊若クハ前哨本隊ヨリ出ス斥候ハ地形開濶ナレハ通常歩哨ノ監視區域外ノ地ヲ捜索スヘキモノナリ

前哨中隊ヨリ直接ニ第一線ニ複哨ヲ出スハ異例ナリ且斯ノ如クスレハ徒ニ繁雜トナルノミニシテ毫モ利益無シ

前哨本隊等カ警急舍營ヲ爲スト云フハ誤ナリ警急舍營ハ要務令ノ示ス如ク舍營中ノ一部隊ニ特別ノ處置ヲ爲サシムルヲ云フニシテ全隊ノ警急舍營ヲ爲スカ如キハ原則上無キ事ナリ一村落

ノ人家ヲ悉ク利用シテ舎營シ而シテ彈藥盒脚絆等ヲ脫セサルノミカ警急舎營ニハ非サルナリ

本隊ノ宿營ハ此場合前後ニ重疊スルヨリ左右ニ併列スルヲ利益トス集合地カ各隊宿營地ノ前方ニ在ル片ニ於テ殊ニ然リトス

外衛兵ヲ以テ敵ヲ抗拒セントスルハ大ナル誤ナリ外衛兵ノ任務ヲ考フレハ瞭然タルヘシ

警急大集合場ヲ設ケ直ニ集合スル隊アラハ矢ヲ以テ集合場ニ至ル線ヲ示スヘシ若シ各隊先ツ其集合場ニ集リテ而シテ後警急大集場ニ至ルトキニ於テハ宜シク各隊ノ集合場ヲ示スヲ要ス

大行李ハ炊爨ヲ終リ知立町ヘ下ケル如キハ之レ誤ナリ敵前露營ノ時等ニテ宿營地ニ於テ大行李ヲ使用セサル如キ場合ニ在テハ之ヲ後方ニ宿營セシムルヿアルモ此際ニテモ大行李中ノ糧秣及炊具ノミヲ某地點ニ持來ラシメ炊爨ヲ行ヒ荷物等ハ宿營地ニ招致セサル

ヿアリ要スルニ如上ノ事ハ特別ノ場合ニ於テ爲スモノニシテ本日ハ斯ノ如キ手段ヲ執ルノ要ナカルヘシ

一、前哨各部隊普通ノ區分任務及位置ニ就テ（要務令前哨ノ部參看）

前哨ノ任務ハ休止スル軍隊ヲ安全ナラシメ敵ノ狀況ヲ候察シ同時ニ我軍ノ狀況ヲ敵ニ對シテ秘匿スルニアリ

凡ソ前哨ノ警戒捜索ハ諸種ノ場合ニ應シ適當ノ區署ヲ爲スノ外豫メ一定不變ノ法則ヲ立ツルヲ得スト雖モ通常前哨ノ兵力ハ大部隊ニ在リテハ其前衛ノ二分一乃至四分一ヲ以テシ小部隊ニ在リテハ全隊兵力ノ四分一ニ至ルヲ最大限トス然レ𪜈警戒ニ任スル兵力ハ常ニ當時ノ形勢之ヲ許ス所ノ最小限ヲ以テスルヲ原則トス

抑モ捜索ハ主トシテ騎兵ニ任シ警戒ハ若干ノ獨立抵抗力ヲ要スルヲ以テ多クハ之ヲ歩兵ニ任ス故ニ前哨ハ此二兵ノ連合スルヲ通則トス混成前哨之ナリ

混成前哨ハ大別シテ前哨本隊、前哨中隊及前哨騎兵ノ三部トス而シテ又此各部ヨリ監視警戒ノタメ出ス所ノ小哨、獨立下士哨、下士哨、歩哨斥候、巡察等ノ別アリ

前哨本隊ハ通常首要ナル道路ノ近傍ニテ抗戰ニ適スル要點ノ後方ニシテ敵ノ急襲ニ遇フモ機ニ後ルヽコトナク此要點ヲ占領シ得ル位置ニ在リテ或ハ露營シ或ハ村落露營スルヲ普通トス又前哨本隊ハ前哨中隊ノ後拒トナリ要スルトキハ之カ收容ニ任シ又本隊ニ先ンシ抗戰ニ任スルモノトス

前哨中隊ハ夜間小哨或ハ獨立下士哨ヲ派遣シテ監視線ヲ成形シ之カ交代、赴援又ハ收容ニ任スルモノトス又前哨中隊ハ敵兵ノ來襲ニ方リテハ通常抵抗線トナリ兼テ前哨騎兵ノ後拒トナル獨立歩兵ノ前哨ニ在リテハ晝間モ小哨又ハ獨立下士哨ヲ出スモノトス

前哨中隊ノ番號ハ其固有ノ番號ヲ以テス例ヘハ第二中隊カ前哨中隊トナルトキハ前哨第二中隊トモ云フカ如シ

前哨中隊ハ常ニ首要ナル道路ノ近傍ニ位置スルヲ要ス然ラサレハ監守スヘキ地ノ中央ニシテ防禦ニ便ナル隱蔽物アリテ成ルヘク敵ヲシテ我兵數ヲ商量スルヲ得セシメサル地ニシテ且交通路ノ近傍ニ位置スヘク而シテ進退不便退却困難ノ地等ハ避クヘキモノトス

前哨中隊警戒ノ爲メニ取ルヘキ方法ハ該中隊長ノ職權内ニ在リ又敵襲ニ際シ中隊ノ常ニ必ス戰備ヲ缺カサルコトニ就テハ身ヲ以テ其責ニ任スヘク且其受クル所ノ命令ニ依リテ其位置ヲ固守スヘキヤ或ハ赴援セラルヽカ等ヲ審ニスヘシ其之ヲ固守スヘキトキニ方リテハ其身其隊ヲ以テ全軍ノ犧牲ニ供スヘキナリ前哨騎兵ハ騎兵部隊ノ任スル所ニシテ晝間ニ在テハ最前線ニ在テ警戒ヲ擔任シ夜間ハ後方ニ退却セシムルヲ通常トスレトモ所要ノ場合ニ於テハ一部ヲ最前線ニ殘シ敵ト接觸セシメ或ハ又時宜ニ依リ遠ク前方ニ在

ル地點ヲ占領セシムルコトアリ

前哨騎兵ハ背後ノ歩兵隊ト斷ヘス連絡ヲ保持スルヲ要ス

前哨騎兵ノ兵力ハ警戒ヲ命セラレタル正面ノ廣狹ト警戒ヲ要スル程度トニ從ヒ其任務ニ適合セサルヘカラス

凡ソ騎兵ハ其運動輕捷ナルヲ以テ前哨一定ノ配置及形狀ヲ固執スルヲ要セス故ニ前哨騎兵ノ部署法ハ其時ノ形勢及地形ニ從ヒ一ナラス即チ通視シ得ヘキ土地ニ於テハ其兵力ヲ合シテ一個ノ控兵トシ爲シ相反スル土地ニ於テハ數個ノ控兵ニ區分スル而シテ控兵ハ之ヲ一個若クハ數個ノ小哨或ハ獨立下士哨ヲ出シ或ハ之ヲ併用ス

控兵ノ位置ハ現時ノ狀況ニ依リテ定ルモノトス通常道路ノ輻湊點ハ適良ノ位置トス若シ遠ク前方ヘ出ツルヲ要セサルトキハ前哨中隊ノ一ニ接シテ位置スルモノナリ

以上ハ前哨ノ大區分ニシテ此各部ヨリ更ニ次ノ哨所及監視兵ヲ出シ始メテ前哨ノ警戒完全ナルモノトス

小哨ハ最前線ニ在テ切要ナル道路及要點ノ警備ニ任ス

小哨ニ適當ナル位置概ネ次ノ如シ

一、敵ニ對シテ隱蔽ノ地

二、敵ニ通スル道路ノ近傍

三、歩哨線ノ中央後又ハ抗戰ニ適切ナルカ若ハ緊要ナル地點ノ後方

四、騎兵小哨ニ在テハ閉塞セル塲所ニ位置スルハ尤モ忌ムヘキコトトス

小哨ニハ成ルヘク建制ノ小隊或ハ半小隊ヲ用ヒ其長ハ將校ヲ以テス

小哨ハ一個若ハ數個ノ下士哨或ハ歩哨(騎哨)ヲ配置シ或ハ此兩哨ヲ併用ス

獨立下士哨ハ小哨ノ小ナルモノニシテ其任務及動作モ亦小哨ト同

一ノ原則ニ從フモノニシテ即チ小哨ノ連絡及側面ノ警戒ヲ補ヒ時トシテハ又小哨ニ代用スルモノニシテ複哨交代兵ノ外尚斥候ニ充ツヘキモノ若干名ヨリ成ル時トシテハ遠ク歩哨線前ニ出テ騎兵ヲ支援シ或ハ橋梁山頸等ノ如キ殊ニ必要ナル點ヲ守備シ或ハ夜間敵ノ運動ヲ監視スルニ任スルコトアリ此ノ如キ場合ニハ其兵員稍多キヲ要ス

下士哨ハ小哨ヨリ出スモノニシテ歩哨ノ大ナルモノニ過キス而シテ之ヲ用フル場所概ネ次ノ如シ

一歩哨線上ニ於テ殊ニ緊要ナルカ又ハ危殆ナル地點

二暴露セル側面

三小哨ヨリ遠隔セル地例ヘハ歩哨交代ニ多クノ時ヲ費スカ如キ所等ナリ

四査哨

下士哨ハ歩兵ニ在テハ通常兵卒六名ヲ以テシ其長ハ下士或ハ上等兵トス又敵兵ニ在テハ下士一人兵卒三名以上ヨリ成ルモノトス

査哨ハ前哨線ヲ出入通過スル者ヲ監査スルモノニシテ通常道路上ニ位置シ我軍ノ所屬タルコト疑ナキ者ニ限リ其通行ヲ許シ否ラサル者ハ護衛兵ヲ附シ之ヲ査哨所屬ノ小哨ニ送致ス

査哨ハ時トシテ獨立下士哨ヲ以テ之ヲ兼ネシムルコトアリ

實驗ニ依レハ査哨ハ之ヲ全廢スルヲ可トス何トナレハ言語ヲ異ニスル他國人ニ對シテ下士以下カ問答スルハ爲シ得難キ所ナレハナリ

歩哨ノ前方ニ來ル敵兵ハ軍使ノ外ハ捕ヘテ之ヲ後方ニ送ルカ射殺カ擊殺ノ三アルノミ

明治二十七八年戰役、北清役及今回ノ戰役ニ於テ前哨線ハ一搬ノ通行者ヲ遮斷セルヲ以テ恐ラク將來ノ戰役モ然ルナラン故ニ通過セシム

ヘキ者ハ何レノ點ニテモ之ヲ許シ許スヘカラサル者ハ何レノ點ニテモ之ヲ禁止スヘキヲ有利ト考フ

歩(騎)哨ハ專ラ監視ニ任スルモノニシテ概ネ複哨トシ又騎哨ハ二人乃至三人ヲ以テス第一線内ノ歩(騎)哨ハ通常單哨ヲ以ヲ足レリトス

歩哨ノ位置ハ通常左ノ諸件ヲ顧慮シテ決定スヘキモノトス

道路ハ主トシテ敵方ニ通スル道路特ニ橋梁其他ノ險路ヲ監視スルヲ要ス

歩哨ノ位置ハ敵ノ通視ヲ妨ケ我ヨリハ能ク敵方ヲ展望シ得ルヲ要ス

歩哨相互ノ連絡容易ナルヘキコト若シ地形之ヲ許サヽルトキハ其間隔ハ動哨又ハ斥候ヲ以テ監視ス

後方所屬哨所ト交通便ニシテ且晝間ハ展望記號等ヲ以テ容易ニ連絡シ得ルヲ可トス

展望哨ハ前哨線内ニ於テ晝間通視ニ便ナル地點(山頂、寺塔、獨立樹等)ニ置クモノトス其特ニ緊要ナルモノニ在テハ將校ヲ以テ之ニ任ス

展望哨ハ敵ニ近キトキ及要塞前ニ於テ久シク前哨ヲ配備スルトキ殊ニ緊要ナルモノトス

銃前哨ハ前哨本隊、前哨中隊、小哨等ノ部隊ノ爲メニ直接監視ヲ爲スモノニシテ前方ノ部隊或ハ歩哨線ヲ相瞻望シテ連絡ヲ保持スルヲ要ス通常單哨ヲ以テスルモ部隊若シ掩蔽下ニ在ルトキハ複哨ヲ以テシ又隱蔽地ニ在テハ數個ノ單哨ヲ相連絡シテ布置スルコトアリ

斥候ニ關シテハ別ニ詳述セリ

巡察ハ所要ニ應シ前哨諸部隊ヨリ出スモノナレモ小哨ヨリ之ヲ出

スコト最モ多シ何レノ場合ニ於テモ其任務ハ時々歩哨線内ヲ巡視シ歩哨ヲ備ヘサル土地ヲ巡視シ兼テ比隣哨所ト連絡ヲ通スルニ在リ其人員ハ通常長ト共ニ二名ヨリ成リ歩哨交代ノ時間外ニ於テ巡視スルヲ良トス是レ交代ノトキハ自然歩哨ヲ監視シ得ルヲ以テナリ

巡察ハ時ノ需要ニ應シテ將校或ハ下士若クハ上等兵ヲ以テ其長トシ監視巡檢ヲ要スルノ度ニ應シ回數ノ多少ヲ定ム

二、前哨各部ノ距離及其警戒面

前哨各部ノ距離及其警戒面ハ敵狀、地形、掩護スヘキ部隊ノ大小及次ノ原則ニ基キ定ムルモノトス

一、應援其機ニ後ルヘカラス

二、退却ニ方テ危害ナカルヘシ

三、本隊ヲシテ砲彈ヲ避ケシムヘシ

四、後方部隊ヲシテ戰備ヲ整ルノ猶豫アラシムヘシ

今普通ノ場合ニ於ケル前哨各部ノ距離及警戒面ヲ掲クレハ左ノ如シ但シ此等ハ眞ニ一ノ標準ニ過キサルモノトス

各部ノ距離

前哨本隊ト前衛本隊	混成旅團ニ在テハ千乃至千二百米突 師團ニ在テハ三千乃至四千米突	
前哨中隊ト前哨本隊	六百乃至八百米突	
小哨ト前哨中隊	三百乃至六百米突	
騎兵小哨ト控兵	概ネ歩兵ノ二倍	
歩哨ト騎兵小哨	三百乃至四百米突	
騎哨ト騎兵小哨	五百乃至千米突	
警戒面		
歩兵小哨	五百乃至六百米突	

騎兵小哨
前哨中隊
歩兵一大隊（前哨中隊二個ヲ出シタルモノトシテ）約三千米突

三、前哨配布（要務令第百九乃至第百三十五參看）

前哨ノ警戒面廣キ片ハ前哨ヲ數區ニ分チ各區毎ニ獨立セル前哨司令官ヲ設クルヲ良トス之レ蓋シ一人ノ前哨司令官カ廣大ナル全線ヲ指揮セントセハ命令報告ノ傳達不便指揮困難ニシテ緩急事ニ應シ難ケレハナリ

普通ノ場合ニ於ケル前哨配布ノ順序概ネ左ノ如シ

一縱隊指揮官宿營ニ決心セハ前衛司令官ヲシテ速ニ警戒ノ區署ヲ爲サシメン爲メ宿營ニ關スル命令ハ成ルヘク行軍中ニ與ヘ晩クトモ駐止ト同時ニ下スヘキモノニシテ其大略ハ地圖ニ依テ考定シテ命令ヲ下スモノトス

二、前衛司令官ハ右ノ命令ニ基キ同シク地圖ヲ按シ大略ヲ考定シ警戒ニ關シ概ネ次ノ事ヲ命令ス

前哨部隊ノ任命、概略ノ警戒線、前哨司令官ノ任務實行ニ要スル特別ノ敎示

三、前哨司令官ハ前衛命令ニ基キ大体ノ地形ヲ偵察シ左ノ區署ヲ爲ス

前哨騎兵ニ命スル事項
警戒線ノ大要及此騎兵ノ嚴ニ警戒スヘキ道路晩ニ至リ前哨本隊ニ退クヘキ騎兵ニ就テノ規定又ハ夜間ニ於ケル騎兵ノ任務
前哨中隊ニ命スル事項
警戒區域及概略ノ位置、傳令騎兵ノ分配及歩兵部隊ニ配屬スヘキ騎兵部隊、要スレハ査哨ヲ置クヘキ道路（前文査哨ノ末文參照）敵襲ニ方

リ取ルヘキ處置

前哨本隊ニ關スル事項

宿營地、宿營法要スレハ前哨本隊ヨリ直チニ出ス警戒兵ノ指定

戰備緩嚴ノ度及道路閉塞等ノ如キ特別處置

右ノ諸命令ヲ與ヘ終レハ速ニ炊爨シテ糧食分配ヲ爲スコトニ付

萬般ノ注意ヲ與フ

諸報告ノ輻輳竝ニ前哨全体ノ監視ニ便ナル地點ニ在テ各部ヨリ

到着スル報告ヲ受ケ又要スレハ命令ヲ與フ

前哨配布終レハ速ニ報告ヲ前衛司令官ニ呈ス

（小部隊ニシテ前衛ノ全部直ニ前哨トナルトキハ前衛司令官ハ即チ前哨司令官ニシテ前衛命令ハ前哨命令ト合一スルモノトス）

前陳ノ如ク順次ニ完全ナル命令ヲ下シ警戒ニ就カシムルトキハ

大ニ時間ヲ徒費スルモノナルヲ以テ迅速ヲ主トセンカ爲メ始メ

ヨリ完全ノ命令ヲ下スニ代ヘ高級指揮官ハ前衛司令官ニ前衛司

令官ハ前哨司令官ニ目下緊急ノ事項ニシテ警戒ニ關スルコトノミヲ命令シ各其警戒ノ部署ニ就キアル間ニ完全ナル命令ヲ製シテ一般ニ下スヲ可トス

四前哨中隊長ハ前哨命令ニ基キ大體ノ地形ヲ偵察シタル後左ノ區處ヲ爲ス

小哨、獨立下士哨等ヲ區分シ其警戒線及位置ヲ指示シ隣哨及前哨中隊ヘ位置及前方ニ他隊ノ有無（有ルトキハ其位置）ヲ示ス

要スレハ査哨ヲ置ク道路ヲ示ス（前文査哨ノ末文參照）

前哨中隊ノ位置ヲ撰定ス

銃前哨ヲ配布ス

斥候巡察及雜役等ヲ區分ス

戰備ノ度ヲ定ム

前哨騎兵及比鄰前哨中隊ト連絡ヲ取ル

敵襲ノ場合ヲ顧慮シ小哨赴援ノ道路抵抗線、退路等ノ爲メ更ニ地形ノ偵察ヲ爲ス之カ爲メ要スレハ部下ノ幹部ヲ助手トシテ偵察セシムルヿアリ

前哨配布終レハ略圖ヲ添ヘタル報告ヲ前哨司令官ニ呈ス

五小哨長ハ前哨中隊長ノ命ニ依リ次ノ區處及動作ヲ爲ス

小哨概定ノ位置ニ至ル之カ爲メ要スレハ警戒法ヲ設ク

斥候ヲ派遣シ歩哨配布ヲ掩護ス

歩哨線ノ偵察

歩哨ノ配布及小哨ノ位置決定

銃前哨ノ配布

斥候巡察雜役等ヲ區分シ然ル後又銃セシム

略圖ヲ添ヘタル報告ヲ前哨中隊長ニ呈シ又比隣哨所ト連絡ヲ執ル

戰役ノ實驗ニ基ク前哨ニ關スル二三ノ注意ヲ述ヘントス

敵ト近ク相對シ久シキニ亘ルトキハ前哨ノ交代時刻ヲ屢々變更スルハ勿論時トシテハ配備ヲ變更シ以テ對敵ニ慣ルヽヿヨリ自然ニ生スル怠慢ヲ避ケ又我配備ヲ敵ニ知悉セシメサルヿ必要ナリ

前哨線ニ來襲スル敵ハ必ス奇襲的行動ヲ爲スモノタルヲ忘ルヘカラス即チ一側面ヨリ射撃ヲ爲シ他ノ側面ヨリ潜入ヲ試ムル等ノ如シ故ニ歩哨ハ敵ニ對スル間ト雖モ反對側ニ於ケル警戒ヲ忘ルヘカラス

小哨長ノ歩哨ヲ配布スル順序ハ一翼ヨリ之ヲ爲サスシテ小哨警戒面中最モ重要ナル地點ヨリ配布シ始ムルヲ良トス

歩哨ト小哨トノ距離及歩哨間ノ間隔ハ縮小スルヲ可トス殊ニ複哨ヲ小哨ヨリ四百米突モ隔テヽ配布スルカ如キハ敵ヲ距ル極メテ遠キ場合ノ外ハ甚タ危險ナルモノトス

敵ニ近キトキハ前哨各部及歩哨ハ爲シ得ル限リ工事ヲ施スヲ要ス

敵ニ接近シ警戒ヲ嚴ニスルヲ要スル前哨ニ於テ第一線ノ歩哨ハ晝間展望自在ナル間ハ複哨ニテ可ナリト雖モ夜間複哨ハ敵ノ近接又ハ隣哨ノ連絡其他ノ處置不確實ナルノミナラス往々敵ノ潛行斥候ノ爲ニ捕獲セラルヽアルヲ以テ所要ニ應シ三人哨四人哨下士哨ト爲スヲ可トス之レ第一線警戒兵ノ持續心ヲ强固ニスルト併セテ一時相當ノ抵抗力アラシメンカ爲メナリ

敵ニ近キ場合前哨線外ニ派遣スル斥候ハ通常五六人以上ヲ用フルヲ可トス

又敵ニ近キトキ歩哨線外ノ要點ニ出セル獨立下士哨及潛伏斥候ハ常ニ大ナル効力アルモノナルヲ認メタリ

備考　前哨騎兵ハ概ネ前哨中隊ニ、獨立下士哨ハ概ネ小哨ニ準ス

四、敵ト稍接近シタル宿營警戒

敵ト近接シ敵ハ夜半ヨリ運動ヲ起セハ拂曉ニ於テ我宿營地ニ到着シ得ルノ距離ニ在ルトキハ簡易ナル警戒殊ニ戰鬪準備ニ不便ナル延長ノ舍營ヲ爲サスシテ戰鬪上ノ開進展開ノ便ヲ顧慮シ略ホ圓形若ハ方形ニ集團シテ狹舍營又ハ村落露營ヲ爲シ前哨ハ稍正規ニ從ヒ嚴密ナラシメ道路間ノ地區ト雖モ樞要ノ點ハ小哨若ハ獨立下士哨ヲ以テ警戒ス

敵ノ運動ヲ監視スル爲メ要スレハ特ニ夜間ト雖モ騎兵ノ一部ヲ放テ敵ニ觸接ヲ保タシメ或ハ前方必要ノ點ハ歩兵ノ一部ヲ派遣シテ占領セシメ置クヲ要ス

前哨抵抗線ハ作戰ノ目的及當時ノ情況ニ從ヒ例ヘハ敵ノ攻擊ヲ受クルノ虞アルトキ等ノ場合ニ於テ之ヲ要スレハ本隊防禦線ト一致

セシメ或ハ明日前哨カ後衛トナルヘキ場合ニ在テハ其後衛陣地ト一致ス

前進ノ目的ヲ有スル場合ニ於テ前方ニ隘路アルトキノ如キハ本隊ノ隘路通過ヲ容易ナラシムル爲メ時宜ニ依リ隘路前ニ前衛若ハ前哨ヲ出スコトアリ

五、前哨抵抗線ハ通常執ニ選定スルヲ適當ト爲スヤ

前哨抵抗線ハ通常前哨中隊所在地ノ附近ヲ貫通スルモノヲ良トス其理由次ノ如シ

前哨警戒ノ原則ヨリ考フルトキハ前哨ニハ監視線、抵抗線ノ二種ノ線ヲ有セサルヘカラス是蓋シ前哨カ其任ヲ竭サンカ爲メ抵抗ヲ爲サント欲セハ若干ノ準備ヲ要ス此準備ノ爲メニハ成ルヘク速ニ情報ヲ得サルヘカラス迅速ニ情報ヲ知得センニハ前方ニ於ケル監視

ノ線ヲ要ス此故ニ監視線ハ必ス抵抗線ノ前方ニ在テ敵狀ヲ知得シテヨリ敵カ我カ抵抗線ニ近接スル間ニ後方部隊ハ抵抗ノ準備ヲ爲シ得ルノ距離ニ在ラサルヘカラス是カ爲メニハ歩哨線ヲ以テ監視線ト爲シ前哨中隊ノ線ヲ以テ抵抗線ト爲スヲ要ス小哨ノ線ノ如キハ監視線ノ支援ニ過キスシテ抵抗線タルニハ兵力不充分ナリ假令小哨ノ兵力ヲ增加シテ此要求ニ應セシメントスルモ之レ亦不可能ノコトタリ何トナレハ前哨ノ目的タル戰鬪ニ非スシテ警戒ニ在ルカ故ニ成ルヘク寡少ノ兵員ヲ以テ警戒ヲ全フセシメ徒ニ無益ノ兵員ヲ疲勞セシメサルヲ要スレハナリ且又前哨各部ハ前方ニ及フニ從ヒ警戒ノ度ヲ嚴ニスルモノニシテ從テ其疲勞ハ大ナルモノナレハ小哨ハ單ニ歩哨ヲ交代シ或ハ斥候派遣等ノ爲メニ須要ナル人員ヲ供給スルヲ以テ足レリトセサルヘカラス加之多數ノ兵員ヲ之ニ用フルモ監視線タル歩哨線ニ近キヲ以テ抵抗ノ準備完全ナル能ハ

サルナリ若又前哨本隊ノ線ヲ以テ抵抗線ト爲サンカ然ルヤハ前哨本隊ハ其線上ニ展開セサルヲ得サル不便アリ且又前哨中隊ハ退却シテ此線ニ就カサルヘカラス此ノ如キ動作ハ志氣ノ關係上不得策ナリ而シテ彼ノ小哨、下士哨等ノ如キ監視ノ任ニ當ルモノヽ退却ハ敢テ困難ナラサルノミナラス志氣上ノ影響モ亦少クシテ戰鬪單位タル兵力ノ退却ト同一視スルヲ得サルナリ

如上ノ要旨ニ依リ歩哨線ヲ以テ監視シ小哨ヲ以テ之ヲ支援シ前哨中隊ヲ以テ抵抗線トスルトキハ敢兵俄ニ歩哨線ニ逼迫スルモ之カ前哨中隊ニ至ル距離ヲ行進スル間ニハ前哨中隊ハ之ニ應スル準備ヲ完フシ得ヘク而シテ前哨本隊ハ其後方ニ於テ豫備ノ姿勢ヲ保チ機ニ應シテ之ヲ赴援又ハ收容スルヲ得ヘシ

前哨抵抗線ト前哨各部トノ關係前陳ノ如シト雖モ前哨ハ本隊ノ宿營地ヲ基礎トシテ配布スルモノナレハ常ニ右ノ如クナル能ハス且地形ノ如何ニ依テモ此要求ヲ充足スル能ハサルナリ此二者ノ關係ニ依リ抵抗線ヲ或ハ前哨本隊ノ附近ニ設ケ或ハ小哨ノ線附近ニ置キ例外トシテ地形適良ナルトキハ特ニ歩哨線ヲ以テスルコアリ戰鬪準備隊形ニ在テ徹霄スル如キ軍隊ノ休養ヲ度外ニ置ク場合ニ在テハ監視線ト抵抗線ト全ク合一スヘシ此ノ如ク其變化種々ナリト雖モ通常抵抗線ヲ撰ムノ基礎ハ前哨中隊ノ線附近ニ定ムルヲ要スルナリ

六、村落露營

村落露營トハ舍營ト露營トノ混シタルモノニシテ此宿營法ハ例ヘハ人口稀少ナル爲メ舍營ヲ爲シ能ハサルトキ或ハ直ニ戰鬪ヲ豫期セサルモ既ニ敵ノ近傍ニ在ルカ爲メ狹少ノ地域ニ衆多ノ兵ヲ集ムルヲ要スルモ部隊大ニシテ其人馬ヲ掩蔽スル家屋無ク加之其軍隊

ヲ悉ク舎營セシメント欲セハ諸兵ヲ所々ニ分離シ爲ニ團結ヲ失フノ恐アル片等ニ在テ是ヲ用ユルモノニシテ戰闘準備ニ於テハ殆ト露營ニ等シク又給養ノ便ニ關シテハ舎營ノ利ヲ享有シ得ルモノトス然レモ夜間ニ際シ村落内ニ密集ノ舎營ヲ爲シ軍隊ノ混亂、兵卒ヲシテ擅ニ人民ノ物品ヲ亂用スルノ弊害水ノ配當ノ困難其他總テ大兵ノ輻輳ヨリ生スル困難ヲ豫防スルコトハ此宿營ニ就テ殊ニ深ク注意ヲ要スルヿトス此等ノ弊ヲ防キ靜肅ニ就宿セシメンニハ軍隊ノ村落ニ入ルニ先チ宿營ニ必要ナル諸件ヲ規定スルニアリ故ニ其時ノ狀況之ヲ許セハ露營司令官ニ各部隊ノ將校ヲ率ヒ先ッ宿營地ニ急行シ遲滯ナク處置スルヲ可トス

給養ヲ顧慮シ村落ヲ平等ニ分配セントシ之カ爲メ建制部隊ヲ分割スルハ混雜ヲ來ス基ナリ又家屋内ニ宿營スヘキ部隊ト庭園若ハ周園ノ地ニ露營スヘキ部隊トハ明瞭ニ建制ニ由テ區別スヘキナリ

七、前哨ニ於ケル斥候ノ研究

凡ソ哨兵ハ視域外ノ敵ヲ發見スルコト能ハス故ニ斥候ヲシテ遠ク且廣キ地域ヲ捜索セシム故ニ前哨ニ在テ斥候ハ最モ緊要ナルモノニシテ其使用巧ナレハ警戒ヲ助クルヿ歩哨ノ數ヲ多クスルニ勝ルモノトス殊ニ騎兵ニ在テハ馬足ヲ利用シ運動ヲ以テ警戒スルヲ主要トスルモノナレハ歩哨ハ成ルヘク節減シ斥候ヲ以テ捜索ヲ周到カラシムヘシ又地形隱蔽シ或ハ斷絶シ又ハ濃霧ノ時若ハ夜間等ニ在テハ歩兵前哨ト雖歩哨ヨリハ寧ロ斥候ノ捜索ヲ以テ警戒スルヿ有利ナリトス然レモ之ニ任スル者ノ疲勞ハ大ナルコトヲ顧慮スヘシ

斥候ニ命スヘキ行進路ハ殊ニ必要ナル片ニアラサレハ細密ニ規定セサルヲ可トシ唯捜索スヘキ目的點ヲ示シ其經路ハ地形ヲ活用ス

ルノ自由ヲ得セシムベシ

斥候ノ各兵ハ其任務即チ斥候ノ目的及目標ヲ詳ニ知ルヲ要シ其長ハ發程ニ際シ各兵充分ニ彈藥ヲ有スルヤ否ヤヲ檢査シ又若シ離隔スル場合アレハ再ヒ集合ズヘキ地點ヲ約定シ置クヲ要ス

斥候ハ任務ノ實施困難ナルカ爲メ疲勞シ易ク之カ爲メ緩慢ナル行進ヲ行ヒ時間ヲ徒費シ小哨長ヲシテ長ク情報ヲ得サルニ至ラシムルノアルヲ以テ小哨長ハ斥候ノ歸還ズヘキ概略ノ時間ヲ指示スルノアリ然レモ敵ヲ監視スルノ必要上ヨリ某地ニ駐止セシムルモノニ在テハ時々報告ヲ呈セシムヘキモノトス是レ小哨長ニ於テ狀況ノ變化及斥候ノ生存ト其動作トヲ知ランカ爲メナリ

斥候ハ敵ニ潛行近接シタル場合ニハ敵ニ發覺セラレサル爲メ記號ヲ以テ各人ノ進退連絡ヲ通スルノ必要ナリ故ニ是等ノ記號ハ平時敎育者ニ於テ須ラク規定シ置カサルヘカラス而シテ臨時要スル所ノ記號ハ斥候出發ニ際シ互ニ約定スルモノトス

二名若ハ三名ノ兵卒行進スルノ方法ハ地形ニ應シ若干ノ距離ヲ以テ前後ニ重疊スルカ或ハ若干ノ間隔ヲ以テ左右ニ扇形ヲ以テ展開スルカ或ハ二名前方ニ一名ハ後方ニ在テ三角形ヲ形造ル等ナリ要スルニ廣ク通視シ得ル點ニハ必ス其長ノ在ルヲ可トス而シテ其離隔ノ度ハ互ニ連絡ヲ失ハサルヲ以テ限トスヘシ

斥候敵ノ斥候ト會遇スルトキハ隱蔽地ニ潛匿シ之ヲシテ通過セシメ然ル後竊ニ之ニ跟隨シ之ヲ監視スヘシ又斥候カ遠ク前方ニ在テ敵ノ斥候ト爭鬪スルヲ求ム可ラス之レ或ハ敵ノ發見スル所トナリ烈シク擊退セラレ之カ爲メニ一モ得ル所ナキニ至ルノ虞アレハナリ然レモ精練ノ狙擊手ハ無烟火藥ノ利ニ依リ敵ニ發見セラルヽ顧慮少キトキハ時宜ニ依リ其銃ヲ應用シ得ルノ時機アルモノトス

此射擊ヲ要スルカ或ハ其効力アルヤ否ヤヲ考慮シ且ツ射擊ニ依テ

我カ前哨ニ警報スレハ損益相償フニ足ルヤ否ヲ判斷スルヲ要ス若シ之ヲ償フニ足ラスト認ムレハ射撃ヲ爲スヘカラサルモノトス

斥候敵ノ前哨ニ接近スレハ一層注意靜慮シテ動作スルヲ要ス是レ第一ニ己ヲ警戒シ然ル後目的ヲ達センカ爲メナリ又此場合ニ於テ斥候ハ蔭蔽地ヲ撰ミテ潜匿シ概子左ノ諸件ヲ觀察スヘシ

一、敵兵ハ如何ナル所ニ幾何ノ哨兵ヲ配置セシヤ

二、敵ノ歩哨線前方及其相互ノ間ニ在ル地形ハ如何

三、敵ノ小哨及前哨中隊ハ何レニアルヤ

四、敵ノ斥候ハ數回巡候セシヤ其兵員ハ幾許ナリシヤ又如何ナル道路ニ派遣セシヤ

右等ノ諸件ハ哨兵交代ノ時、哨兵報告ニ赴ク形況時々哨所ニ於テ發起スル火煙等ニ依テ偵知シ得ル塲合多キモノトス

八　前哨略圖記載ノ注意

一、各哨ノ位置

點線ヲ以テ直屬部ヲ現ハシ又隊號ヲ記入ス

二、斥候ノ行進路

點實線ヲ以テ經過路ヲ示ス但シ略圖外ニ亘ルモノ又圖内ナルモ要スレハ矢ヲ以テシ且其行先ノ地名ヲ傍記ス

要スルトキハ斥候ノ兵力ヲ記ス

三、傳令騎兵ノ配布

符號ヲ以テシ或ハ符號ノ傍ニ兵數ヲ記ス

四、抵抗線ノ決定位地

五、敵ノ位置或ハ方向

矢或ハ隊標ヲ以テ表ス

六、河川、水田等ノ概況ハ備考ニ短簡明瞭ニ記スルヲ要スルヿアリ

七、工事ヲ爲ス時ハ工事ノ符號及之ニ要スル人員時間
人員時間ハ省略スルコトアリ例令ハ散兵壕ノ構築ノ如キハ單ニ
其符號ヲ以テ位置ヲ表示スルノミニテ足ル

九、宿營略圖記載ノ注意
一、各隊ノ區畫
二、各隊ノ警急集合場及要スルトキハ警急大集合場ノ位置
集合場ニ至ルニハ各隊ヨリ點實線ヲ以テセル矢ニテ之ヲ示ス
又集合ノ爲ニ取ル道路等ハ交叉セサルコトニ注意スヘシ
三、砲廠ノ位置
砲廠ハ暗黑ノ際混亂ナク繫駕或ハ駄載ヲ爲シ直ニ發進シ得ル
爲メ充分ノ地幅ヲ與フルヲ可トス
四、各隊ノ馬繫場及小行李ノ置場
通常之ヲ省略ス
五、飲水、飲馬場ノ位置及各隊ヘ配當
飲馬用水ハ流水ニ依ルヲ可トス（示スヲ要セサルコト多シ）
六、分配所（之ヲ要スルトキノミ）
七、外衛兵ノ位置及特ニ要スル捜索方向
八、風紀衛兵ノ位置（記セサルモ可ナルコト多シ）
九、指揮官ノ位置
司令部ニ屬スル騎兵小部隊ノ如キハ此近傍ニ宿營セシメ符號
ニテ示ス
十、工事ヲ爲ストキハ符號ニテ示ス（註記ハ前哨略圖記載法ヲ參照スヘシ）
支隊ノ前哨配備及宿營略圖答解ノ理由
警戒トハ本隊ノ宿營ヲ安全ナラシムルタメニ爲スモノナルヲ以テ

本隊ノ宿營カ主ニシテ警戒ハ客タリ故ニ此要旨ニ基カサルヘカラス而シテ先ツ明日ハ如何ニスルヤヲ考フルニ目下決心セシハ午后二時ノ情報ニ依リテ當夜ハ今村附近ニ準備陣地ヲ取ラントスルナリ此決心ハ西尾方面ノ敵情如何ニ依テ或ハ變更スルヤモ測ラレスト雖前面ノ敵ニ比シテ西尾方面ノモノハ一時間餘ヲ費サヽレハ我陣地ニ迫リ來ルヿ能ハサルヲ以テ該方面ニ對シ未タ兵力ヲ分離スルノ必要ナク從テ今決心ヲ變スルヲ要セス唯西尾方向ニ對シテハ捜索ヲ周密ニシ速ニ敵情ヲ得ルヲ勉ムルノミニテ足レリ

次テハ今村附近ノ防禦線ノ研究ナリ標高二一、五二ノ北方約六七百米ニ在ル長方形ノ横根畑ニ亘リ北ハ標高二一、五二ノ森林ニ亘ル線ハ敢テ堅固ナラサルモ多少工事ヲ施セハ平針街道方面ニ對シテ地形開濶シ敵ニ損害ヲ與フルヿヲ得又横根畑方面モ明治用水ニテ障碍ヲ成シ敵ハ迂回セサレハ我ニ近接スルヿ能ハス敵若シ此方向ヨリ迫リ來レハ長ク陣地ヲ保ツヿ能ハサルモ此陣地ハ我後來ノ處置即チ今村ノ東端又ハ牛橋ノ東端ニ於テ防禦セントスルニモ便利ナリ是ニ依テ陣地トノ關係上今村附近ハ適當ノ距離ナル本隊ノ宿營地ナリ

概略ノ宿營地決定セハ次テハ宿營地ノ廣狹及戰備ノ度ヲ定ムルニ在リ之カ爲ニハ敵ノ遠近警戒線ノ程度ヲ考フルヲ要ス敵ハ岡崎ニ在ルヲ以テ敢テ遠キニ非スト雖戰鬪準備隊形ニテ警戒スルカ如キ切迫ノ狀況ナラス然レ𪜈明拂曉ニハ或ハ攻撃シ來ルヤモ知ルヘカラサルヲ以テ稍嚴重ニ警戒スルヲ要ス抑モ地形ハ寡少ノ兵員ヲ以テ廣ク警戒シ得ルヲ宜シトスレ𪜈現在ノ地形ハ概シテ射界狹ク隱蔽地綿亘スルヲ以テ警戒ニ稍多クノ兵員ヲ要スヘシ換言スレハ今村附近ノ宿營ハ嚴重ノ警戒法ヲ要求スルナリ

本隊ノ宿營地ニ關シテ今村、里中野池ノミヲ以テ之ニ充ツレハ區域

狹少ニシテ集結ニハ可ナルモ混雜ヲ生スルノ患アルヘシ故ニ今里村字里ヲ利用シ以テ集合ノ便利ヲ圖ラントス此ノ如クナレハ宿營地稍廣キニ失スル如キモ集合ノ爲ニハ便且速ナルヲ以テ之ヲ有利トス而シテ前陳ノ敵狀ト宿營地ノ景況ニ依リ此場合本隊ハ舍營ヲ爲ス能ハス村落露營ヲ適當トスヘシ

是ニ次テ決定スヘキハ前哨ノ警戒線ナリ行軍前哨ノ要領ハ成ルヘク少キ兵員ヲ以テ警戒スルヿ及敵ト遠隔スルニ從テ之ニ對スル顧慮ヲ減少スヘク之ニ反スレハ顧慮ヲ增加スヘキナリ今地形ヲ一見スルニ現時ノ場合ハ前方ニ出ッルニ從テ敵トノ關係繁多トナリ第一線ノ環形大トナリ從テ前哨抵抗線モ亦薄弱トナル此抵抗線ヲ本隊ニ接近スルトシテモ其限界アリ則チ警戒隊ハ前方ニ在テ警戒シ本隊ハ其後方ニテ安全ニ防禦陣地ヲ占領シ得サルヘカラス警戒隊此任務ヲ竭シ得ルニ足ル線迄ハ後退スルモ妨無キモノニシテ實ニ其極限ハ本隊ノ防禦線ナリトス之ニ由テ今村附近ノ地形ヲ觀察スルニ前哨配布ハ稍困難ナル所トス何トナレハ周圍ハ殆ト開濶シ前方ニ出ッルニ從テ前哨各部ノ抵抗力ヲ減シ本隊ニ近カント欲スルモ充分敵ニ抵抗シ得ル線ナシ故ニ止ムヲ得ス本隊ノ防禦線ヲ最終ノ抵抗線トスルノ外策ナカルヘシ即チ敵襲ニ方テハ抗拒シッヽ漸次ニ此線ニ引退シテ本隊ノ來援ヲ待ッヘキナリ

西尾方向ハ距離遠シト雖若シ敵ノ來ルヿアラハ三乃至四時行程ナルヲ以テ此方面ノ敵ニ對スル顧慮モ亦必要ナリ然ルニ前衛ヲシテ此方面迄警戒セシムルハ其警戒線廣キニ失シ赴援困難ナリ且又區域上ヨリ考察スルモ本隊ヨリ一部隊ヲ出スヲ宜シトス尙此方面ハ敵ノ動靜ヲ察知センタメ米津方向迄斥候ヲ出スノ要アルヘシ此故ニ騎兵將校斥候トシテ嘗テ派遣シアル者ニ西尾方向ノ運動ヲ監視スルヿヲ命スルヲ可トス而シテ此斥候ノ宿營スルヿハ目下ノ時機

之ヲ許サヽルヲ以テ敵前ニ在ル下士哨ノ如クニシテ休憩セサルヘカラス從テ該斥候ハ長ク勤務ニ服セシムル能ハス依テ明日ハ之ヲ交代スルノ必要アルモノトス

右ノ理由ニ基キ配備ノ概略ハ第一圖ノ如クナルヲ要ス

注意　外衛兵ハ本隊ノ各大隊ヨリ一分隊宛ヲ出サシメ日直將校之ヲ指揮シ分配、守則、交代兵及哨所等ヲ定ム即チ歩兵第三十三聯隊第一大隊及仝第六聯隊第二大隊ヨリ出テタル二分隊ハ里中野池ノ西南方ノ墓地附近ノ家屋ニ入レ東部及南部ニ複哨ヲ出サシム砲廠ノ傍ナル哨所ハ交代ノタメニ不便ナルヲ以テ此内ヨリ下士哨トシテ派遣ス第六隊第三大隊ヨリ出セル外衛兵ハ里ニ位置シテ二複哨ヲ出サシム

前哨中隊ヘハ優勢ノ敵襲ニ遭ヘハ漸次退却スヘキ規定ヲ與フ

今村南方ノ前哨中隊ヘハ池浦方向ヨリスル敵ニ對シテハ小哨ノ

メ若シ敵ニ對シ遮蔽ハスシテ能ク遠隔スルノ場合ニ在テモ彈藥ノ補充ニ支障ナキ要スル又此場合ニ在テハ力メテ密集シタル隊形ヲ避ケヘシト規定セリ

操典草案ニ依レハ六百米突ナル標準距離ヲ定メスレハ聯隊要スレハ聯隊段列ヲ二分シ前後ニ梯隊ト爲シテ位置セシムルヲ得ル如ク規定セリ

トス又此場合ニ在テハ力メテ密集シタル隊形ヲ避クヘシ

聯隊段列ノ占ムヘキ位置ハ敵彈ノ危害ヲ被ムルヿ無ク靜肅ニ彈藥補充ヲ行ヒ得ル限リハ力メテ陣地ニ接近シ交通自在ニシテ容易ニ之ヲ發見シ得可ク又道路若クハ最モ能ク遮蔽物ヲ利用シ得ル如ク之ヲ定ム可シ放列トノ距離ハ通常六百米突ヲ以テ標準トス

前陳放列ト中隊段列トノ標準距離ハ主トシテ迅速ニ彈藥補充ヲ爲シ得ルヿニ基ケルモノナリ然レトモ今回ノ戰役ニ於テ敵ノ爲メニ屢々我陣地ノ後方ヲ捜射セラレ不測ノ損害ヲ蒙リタルヿ多シ故ニ專ラ地形ト狀況トニ應シ指揮官ヲシテ適宜ニ之ヲ撰定セシメ標準距離ハ仝ク之ヲ顧慮セス最モ踈散ナル隊形ヲ撰用シ之ヲ爲シ得レハ急斜面ノ後方、溝渠、地隙等ヲ利用スルヲ可トス之カ爲メ段列ヲ數個所ニ分離シテ位置セシムルノ止ムヲ得サルヿ多カルヘシト雖モ此分

離位置ハ大ナル弊害ナキモノタリ又戰場ニ於テ屢々目撃スルニ時トシテハ野砲隊ニシテ中隊段列ト聯隊段列ト其位置ヲ共ニセルアリ甚シキハ放列ヨリ一吉米以上ノ後方ニ位置セル中隊段列ヲ見タリ此ノ如キ遠距離ニ位置スルモ補充法其宜シキヲ得レハ補給ニ支障ヲ生スルノ患ナカルヘシ

前車及彈藥車ノ輓馬モ亦通常之ヲ中隊段列ノ位置ニ在ラシムルヲ有利トス之レ戰況如何ニ急劇ノ變化ヲ生スルモ砲兵ノ運動カ四五分時ヲ爭フカ如キ急速ヲ要スルモノニアラサルヘク從テ特ニ之ヲ要ヲ認メサルヲ以テナリ

放列線ニ接近セシメ置クノ必要ヲシテ適宜ニ撰定セシムルヲ可トス聯隊段列ノ位置モ亦中隊段列ニ就テ述ヘタル如ク標準距離ニ依ラス地形ト狀況トニ依リ指揮官ヲシテ彈藥補充ニ困難ヲ來スハ當然ナリ距離ノ遠隔ハ其度ヲ增スニ後ヒ彈藥ト雖モ段列カ放列ト共ニ敵彈ノ有効地帶内ニ位置シテ損害ヲ受クルノ不利ニ比セハ殆ト云フニ足ラサルナリ且彈藥補充法ノ如何ニ依リテハ距離隔大スルモ放列ヲシテ彈藥缺乏ノ訴ヲ告クルコトナカルヘク又彈藥補充ノ困難ナル時期ハ多ク彈藥縱列ノ過度ニ遠ク後方ニ位置セル場合ニ起ルヘキモノタリ

右數多ノ原理實驗及砲兵陣地撰定ノ要旨ニ基キ東軍砲兵ノ陣地ハ次ノ如クナラサルヘカラス

山砲二中隊ノ放列ハ宮前村ノ東南ニシテ池ノ東側野砲三中隊ノ放列ハ井口堂西方陸田

但シ山砲二中隊ノ中隊段列ハ宮前村ノ東側方ニ位置シ野砲大隊右翼中隊ノ中隊段列ハ北部井口堂村東側ニ左翼二中隊ノ中隊段列ハ中部井口堂村ノ東側トス而シテ此大隊ニ屬セラレタル聯隊段列第一小隊ハ瀨川村西端本道北側ノ一地ヲ占領ス

注意　旅團長ハ多分北轟木ノ西端附近ニ在ルナラン砲隊群長タル

聯隊長ハ旅團長ノ許ニ在テ砲兵一般ノ指揮ヲ執ルト同時ニ彈藥縱列ノ事ニ注意スルナラン又大隊長ハ砲隊群ノ指揮ト同時ニ聯隊段列ニ彈藥補充ヲ受クル事ニ注意スルナラン而シテ山砲野砲兩大隊長ハ電話遞歩哨又ハ傳騎ヲ以テ聯隊長ト連絡ヲ迅速且ツ確實ニス砲隊群長ハ指揮官ノ許ニアルヲ得ルトキハ電話、遞歩、傳騎等ニ依テ連絡ヲ取ルノ外必ス部下ノ將校ヲ派遣スルヲ忘ルヘカラス之レ蓋シ戰鬪ノ經過ニ應シ適時ニ命令ヲ受ケ或ハ全般ノ狀況ヲ悉知スルノ外第一線部隊ハ指揮官ヲ通シテ速ニ各時期ニ於ケル狀況ヲ悉知スルノ外第一線部隊ハ指揮官ヲ通シテ速ニ各時期ニ於ケル狀況ヲ砲兵隊ニ通報シ砲兵隊長ハ之ニ應シ迅速ニ機宜ノ處置ヲ取ルヿニ努ムルヲ要スレハナリ此他特ニ必要ナルハ前方ニ進出シアル各團長ト直接ノ連絡ヲ保持スルニ在リ之カ爲メ成シ得ル限リ砲兵斥候ヲ差遣スヘキモノトス前方ニ在ル團隊長モ亦必要ノ狀況ヲ通報シ以テ協同一致ノ實ヲ擧ケサルヘカラス

情況　午前九時十分前衛歩兵ノ先頭ハ北今在家ノ西ニ達シ續テ一部ハ下河原村ヲ占領ス此時前衛砲兵タル山砲大隊ハ其先頭ヲ以テ中島村ノ東南ニ達ス此時儕ニ砲兵第二大隊ヨリ斥候トナリ前衛尖兵ノ後方ヨリ行進セシ砲兵將校ハ報シテ曰ク

辻村及字鑄御師ノ高地ニハ排列セル肩墻ラシキモノ數個ヲ認ム又北村附近ニハ敵ノ歩兵アルカ如シ

砲兵第二大隊長ハ前衛司令官ニ伴隨シテ程ナク北轟木村ノ西南ニ達シ前衛司令官ト共ニ伊丹高地方面ヲ目擊シテ斥候ノ報告ヲ確メ得タリ此時久代新田及下河原村西方ニ方リ數發ノ銃聲ヲ聞ク砲兵第二大隊長ハ陣地偵察ヲ爲シテ宮前村東南方ニ撰定ス

問　山砲大隊長ハ其大隊ヲ今ヨリ如何スルヤ

答　大隊ハ現在地附近ニ待機陣地ヲ占メテ本隊砲兵ノ展開スルヲ待

ソース

其理由　敵ノ砲兵ハ大隊ニ比スレハ遙ニ優勢ニシテ尚且我ヲ待チツヽアリ凡テ豫期戰ニ在テ防禦砲兵ニ對シ前衞砲兵ノ孤立砲戰ヲ爲スハ戒ムルヲ要ス此場合本隊ノ砲兵ノ來着スルハ之ヨリ約二十分餘ヲ費スナラン此間勝算無キ砲戰ヲ持續セハ旅團ノ全砲兵ハ始終敵ノ砲兵ニ優勢ヲ占メラルヽニ至リ遂ニ旅團ノ目的ヲ達スル能ハサルノ原因ヲ惹起スニ至ラン又操典第四百十五ニ曰ク砲兵ハ多クノ場合ニ於テ最初ヨリ優勢ノ砲數ヲ展開シ機ヲ誤ラス集團ノ効ヲ現ハシ迅速ニ敵火力ヲ壓倒スルヲ緊要トストアルニアラスヤ

情況　午前九時二十分砲兵聯隊長ハ旅團長ニ隨行シテ北轟木ノ西ニ達シ山砲大隊長ニ會シ其報告ヲ聞キテ決定シタル陣地ヲ是認シ已レハ陣地偵察ノ結果野砲大隊ノ爲ニ井口堂ノ西方ニ陣地ヲ概定シ副官ヲ差遣シテ野砲大隊ハ瀬川村西方ヨリ運動シテ井口堂村西方陸田ニ

放列ヲ布置スルコトヲ命セリ

問　野砲大隊長ハ如何ナル行進及隊形ヲ應用シテ放列ヲ布置スルヤ

答　第一中隊ハ砲車縱隊ヲ以テ瀬川村西方ノ三叉路ヨリ片點線路ヲ經テ北部井口堂方面ニ向ヒ第二第三中隊ハ同シク砲車縱隊ヲ以テ三叉點ヨリ本道ヲ若干行進ノ後野村ニ向ヒ前進シ南部井口堂方面ヨリ所定ノ放列陣地ニ就カシム

其理由　孰レノ兵種ニ在テモ敵前ニ於テ隊形ヲ變換スルコトヲ避ケ而シテ之ヲ爲スヲ要スルトキハ遮蔽若クハ蔭蔽地ニ於テスルヲ勉メ其已ムヲ得ス敵ノ眼前ニ於テスルトキト雖モ勉メテ遠距離ニ於テ之ヲ爲スヘキハ操典ノ原則トスル所ナリ又陣地ヲ構成シテ我ヲ待ツ所ノ敵ノ砲兵ニ對シ逐次放列ヲ布置シテ砲戰前敵ニ優勢ヲ輸スルハ此場合モ避クヘキコトトス故ニ三中隊一本ノ縱隊トナリテ進ミ側面放列ヲ順次ニ布ク如キハ不利ノ甚シキモノナリ此ノ如

クナルヲ以テ一部ニ分ツテ同時ニ放列ヲ布置シ得ル如ク前進セシムル所以ナリ又操典第四百五十二ニ曰ク陣地進入ノ爲メ前進スル二方リテハ長ク道路上ヲ行進シ爲シ得レハ縱長ヲ短縮シ且同時ニ進入シ得シカ爲メ數多ノ平行路ニ由ルヘシトアルハ蓋シ此ノ如キ場合ヲ云フナラシ

注意　戰役ノ實驗ニ依ルニ晝間平坦開濶地ニ於ケル陣地進入ハ迅速整正ニ行フヘキモノタルヿハ論ヲ俟タス然レ𪜈準備シテ待ツ敵ヨリ忽チ疾風射ヲ以テ迎ヘラレ到底隊形ヲ整ヘテ陣地ニ進入スルヲ許サス之カ爲メ成シ得ル限リ小部隊ニ分レ若干ノ距離ヲ存シ遂次進入ヲ爲スカ如キ方法ヲ採リ勉メテ敵火ヲ減殺スルヿヲ圖ラサルヘカラス換言スレハ成ルヘク敵眼ヲ避ケ敵ノ不意ニ出テ迅速ナル步度ヲ取リ敵彈ノ顧慮少キ隊形ヲ以テ進入スルヲ要ス之カ爲メ採ルヘキ隊形ニ數種アリ橫隊及砲車縱隊ノ外各砲車三四十米突ノ距離ヲ取リタル縱隊隊形アリ此四者各利害得失アルモ要スルニ敵狀及地形ニ依テ其孰レヲ採ルヘキカヲ決定スルモノニシテ今之ヲ斷定スル能ハサルナリ故ニ此所ニハ縱隊進入ノ一例ヲ揭ケタリ

情況　午前九時四十分字鑄御師附近ニアル敵ノ砲兵ノ一部ハ北今在家ヨリ進出スル我步兵ヲ射擊シ又我步兵ノ一部ハ猪名川左岸ノ堤防ニ據リ敵ノ步兵ト銃火ヲ交換セリ

山砲第二大隊ハ我野砲大隊ノ井口堂村ニ入ルヲ認ムルヤ直チニ待機陣地ヨリ西南方ニ向テ橫隊ヲ作リツヽ陣地ニ向テ行進シ同九時四十五分放列ヲ布置シ野砲大隊ハ約二分之ニ先ツテ放列ヲ布置シ終レリ

敵ノ砲兵ハ辻村高地本道北側ニ一中隊字鑄御師ノ北ニ三中隊アルカ如シ

開　砲隊群長ハ如何ニ目標ヲ配賦スルヤ

答　山砲大隊ニハ本道北側高地ノ砲兵野砲大隊野砲大隊ニハ字鑄御師北方高地ノ砲兵ヲ射撃スヘキヲ命ス

其理由　集團砲兵ノ用法ヨリ論スルトキハ全砲兵ヲ以テ逐次ニ其一部(例ヘハ一中隊)ヨリ撲滅スヘキヲ原則トス此原則ノ利トスル處ハ我ノ全力ヲ以テ彼ノ一部ヲ粉碎スルハ其全部ヲ撲滅スルニ要スル時間ヲ其砲隊數ニ等シキ分數ヲ以テ除シタル時間ヨリモ更ニ至大速度ヲ以テ撲滅スルヲ得ル計算ナリ例ヘハ敵ノ四中隊ヲ撲滅スルニ我ハ五中隊ヲ以テ各其中隊ヲ射撃シ一時間ヲ要スルモノトセハ我ノ五中隊ヲ以テ敵ノ一中隊ヲ撲滅スルニハ約十五分ヨリ更ニ小ナル時間ヲ以テ其一部ヲ撲滅シ速ニ之ヲ半端ノ中隊ト爲シ從テ其全部ヲ撲滅スルハ更ニ一時間ヨリ速ナリ且常ニ我ハ優勢ヲ占メテ砲戰ヲ指導スルヲ以テナリ然レトモ約三中隊以上ヲ以テ一目標ヲ集射スルノ利益ハ比較的ニ其効ノ增加セサルト無數ニ落達スル射彈ノ集合ハ修正及觀測ヲ困難ナラシムルコト實驗ノ證スル所ナリ故ニ此場合野砲ト山砲トニ各別ノ目標ヲ與フルヲ適當トス而シテ最初ニ撰フヘキ目標ハ最モ我ニ害ヲ與フルモノ及ヒ撲滅シ易キモノヨリスルハ操典第四百五十九ノ要求スル所ナリ

操典草案第四百三十四（射撃指揮ノ第一項）ノ注意　實驗ニ依ルニ防禦陣地ノ敵ヲ偵察スルニ方リ射撃セサル敵ノ砲兵ノ位置ハ殆ト之ヲ發見スル能ハサルヲ常トス故ニ彼ヲシテ砲火ヲ開始セシムル爲ニハ我モ亦砲火ヲ以テ挑發スルノ必要アリ此砲戰ニ際シ我若シ假ノ砲兵陣他ヲ利用スルヲ得ル如キ場合ナラハ大ナル利益アルヘシ

狀況　敵ノ砲兵ハ我砲兵ノ運動ヲ始メタルヲ認ムルヤ字鑄御師北方ノ砲兵ハ我歩兵ヲ射撃スルヲ止メ直ニ我野砲大隊ニ目標ヲ變換シ同所ノ他ノ二中隊ノ砲兵モ共ニ射撃ヲ開ケリ

我山砲大隊ノ放列ヲ布置スルヤ否ヤ辻村高地ノ敵ノ砲兵ハ我山砲大

隊ニ向テ射撃ヲ開始ス我砲兵モ直ニ之ニ應射シ始ム

午前十時二十分神田村方向ヨリ前進スル歩兵一大隊ハ全ク同村ニ入リ其西方及南部ノ土手ヲ占領シテ久代新田ニアル敵ノ歩兵ヲ撃退セントシ又旅團ノ二大隊ハ下河原ノ西部及ヒ中村以北ノ堤防ヲ占領シテ小銃火ヲ交換シツヽ我砲戰ノ熟スルヲ待ツ而シテ旅團ノ他ノ三大隊ハ此時北今在家ノ東北部ニ在リ

同十時三十分辻村高地ニ在ル敵ノ砲兵中隊ハ沈默セルノ模樣ナリ茲ニ於テ砲隊群長ハ山砲大隊長ニ命シ字鑄御師ノ北方ニアル敵ノ砲兵中隊ニ目標ヲ變換セシム山砲大隊長ハ右翼中隊ヲシテ命セラレタル目標ニ向テ射撃セシメ左翼中隊ハ依然本道方面ノ砲兵ヲ射撃セシム」

同十一時過刻ヨリ久代新田ニ在ル敵ノ一部及北村東方ノ堤防ニ在ル敵ハ漸次北村及久代村ヘ退却セリ我歩兵ハ漸次猪名川ヲ徒渉シテ右岸ノ堤防ニ據ラントシ又旅團ノ主力ハ下河原村ニ進入ヲ殆メタリ此時我野砲及山砲ハ尚砲戰ヲ持續シアリ先是一時砲撃ヲ中止シアリシ辻村高地凸出部ノ敵ノ砲兵ハ復タ砲撃ヲ始メタリ

問　此際砲兵陣地ヲ變換スルニハ有利ノ時機ナルカ如シ砲隊群長ハ如何ニ決心スルヤ

答　陣地ヲ變換セス

理由　砲兵ハ成ルヘク同一陣地ニ於テ射撃スルヲ原則トス陣地變換ノ爲ニハ一時射撃ノ効力ヲ失フモノニシテ又新陣地ニ到着後再ヒ試射ヲ爲サヽルヘカラサルノ不利アリ現今砲兵戰鬪ノ有様ハ同兵力ノモノ彼我同時ニ射撃ヲ開始セリトセハ其早ク試表尺ヲ得タルモノ勝者ノ位置ニ立ツモノナリ又今假令敵砲兵ノ火力衰ヘタリト雖モ我若シ前進運動ヲ開始セハ敵ハ必ス爲シ得ル限ノ力ヲ竭シテ射撃センコトヲ圖ルナラン又陣地變換ニ於テ五百米突以下ノ距離ハ反テ害アルモノナリトノ原則アレハ放列ノ撤收及此前進時間

並ニ新陣地放列ノ爲ニ費ス時間換言スレハ射撃セヌ時間決シテ少カラス山砲ニ於テ殊ニ然リ故ニ寧ロ舊陣地ニ於テ假令尠少ノ不利アリトスルモ依然射撃ヲ繼續スルヲ優レリトナス況ヤ今我砲兵ハ最大ノ有効距離ニ位置スルニ於テオヤ唯距離少シク遠大ノ爲メ射彈ノ觀測ニ不便ナルカ如シト雖モ兩眼鏡ニ依レハ觀測敢テ困難ニモ非ラサルヘシ且又友軍前進ノ爲メ目標ヲ明瞭ニ識別スル能ハサルノ場合ニモ非スシテ毫モ陣地變換ノ理由ヲ見出サヽルナリ

注意　攻者ノ志氣ヲ振起スル爲メ攻撃砲兵ニ隨伴シテ前進スルノ場合ハ損害ヲ顧ミスシテ之ヲ行フヘキモノタリ而シテ又近距離ニ於テ砲兵ハ歩兵ト充分ニ對戰シ得ルノ能力ヲ有スルモノナルコトハ學説ハ元ヨリ試驗及實戰ノ結果モ之ヲ證明スル所ニシテ之カ要スル時期ニ於テハ假令損害ヲ被ムル事アルモ之ヲ排除シテ毫モ躊躇スルコトナク前進スヘキモノナリ實驗ニ依ルニ堅固ナル防禦工事ヲ施セル陣地ヲ死守セル敵ニ對シテハ之ニ近接シテ破壞射撃ヲ施サシムルタメ砲兵ノ一部ヲ攻撃歩兵ノ第一線ニ近ク前進セシムルヲ有利トスル場合少カラス殊ニ機關砲ヲ有スル防者ニ對シ殊ニ然リトス

防禦砲兵ニ於テハ地形ハ熟知スル所ナルヲ以テ陣地變換ノ易キハ攻者ノ比ニ非ス又決戰ノ際不意ニ新ナル陣地ニ出テヽ近距離射撃ヲ以テ攻者ノ歩兵ヲ腦マシテ撃退スルコトノ有利ナル場合ハ本邦ノ如キ地形ニ於テ生スル事蓋シ多カラン

今攻撃砲兵ニ於テ良好ノ陣地無クシテ友軍前進ニ方リ我砲彈ノ爲之ニ危害ヲ與フルカ如キ情況トナリ所謂戰鬪ノ目的ヲ果ス能ハサルコトナリ陣地變換ヲ要スル場合生シタルモノトシテ如何ニ實施セハ適當ナルカヲ説明セシニ(今了解ニ便ナル爲メ此地圖ニ依ルコトセン)假ニ我野砲三中隊宮前村南方二ツ池ノ東方ニ陣地ヲ占領シ

アル場合ニ於テ陣地ヲ變換セントセハ其全部ヲ擧テ行フモノナラサルコトハ諸君ノ知ル所梯隊ヲ以テ之ヲ行ヒ勉メテ單一ノ方法ヲ撰フヘキハ其要旨ナリ而シテ陣地變換ヲ行フヘキ距離ハ前陳理由中ニ云ヘルカ如ク五百米突以内ノ距離ニ在テハ射彈ノ効力ニ大差無ク即チ陣地ヲ變換スルノ無益ナルノミナラス反テ此間敵ニ有利ノ目標ヲ呈スルコト砲火中止及新陣地到着ノ後試射ヲ要スル等時間ノ徒費トハ之ヲ償フコト能ハサルニ由テ五百米突以内ノ陣地變換ハ爲スヘキモノニ非サルナリ隊形ノ應用ニ於テハ右翼ノ一中隊ハ依然舊陣地ニ在テ急射ニ移リ左翼ニ中隊ハ小池ト字井ノ尻ノ中間ヨリ砲車縦隊ヲ以テ同時ニ進出シ此線ヲ超ユレハ直ニ前面横隊ヲ編成シ右翼中隊ヲ基準トシテ小坂田ノ北方ニ向テ前進シ同村西北端ト齊頭面ニ於テ其北方約三百米突ノ地ニ第二陣地ヲ占メ直ニ目標ニ向テ試射ヲ始メ而シテ試表尺ヲ得効力射撃ニ移ルヤ第一陣地ニ

砲兵ノ如ク敵ノ反對側ニ置キ安全ナラシムヘシ

又乘馬隊ハ厩ノ多カラン爲メ成ルヘク村落ヲ可トシ戰術上ノ顧慮ナキトキハ普ク宿營地全般ノ厩ヲ利用スル爲メ諸兵種ヲ混宿セシムルヲ可トス

多數ノ馬匹ヲ有スル部隊ハ勉メテ飲水ノ便ヲ得ンカ爲メ流水ノ近傍ニ在ラシムルヲ可トス

八、行李ハ敵狀ノ顧慮ナケレハ其所屬部隊ト共ニ宿營スルヲ普通トス

九、風紀衛兵ハ其監視スヘキ地ノ中央ニ設クルヲ可トス

十、各司令部ノ位置ハ舍營地ノ中央ニシテ稍前方ニ在ルカ又ハ交通道路ニ在リテ共ニ認識シ易キ所ナルヲ良トス是蓋シ命令ノ傳達、報告ノ受領等ニ迂路ヲ取ルコトナク且命令ヲシテ殆ト同時ニ各隊ニ達セシムルノ便ヲ得ンカ然ナリ

十一、警急集合場ハ歩工兵隊ノ爲メニハ通常舍營地ノ前面若ハ其側方

ニ定メ騎兵砲兵ノ爲メニハ通常其後方ニ定ムルヲ便トシ砲兵ノ爲
ニハ通常砲廠ノ所在ヲ以テ之ニ充ツルヲ要ス蓋シ此ク ノ如クセハ
騎兵砲兵ハ戰備ヲ整フルヿ最モ速ナル歩兵ノ掩護ヲ受クルヲ得ヘ
キヲ以テナリ

警急集合場ヲ撰定スルニハ特ニ其集合場ニ至ルトキ各小部隊ノ彼
此互ニ妨碍スルヿナク且概ネ其隊ノ占領スヘキ豫定位置若クハ警
急大集合場ニ速ニ到リ得ルヿニ注意スヘシ之カ爲メ各隊ニ其取ル
ヘキ道路ヲ示シ置クヿ緊急ナリ

十二、警急大集合場ハ時宜ニ依リ大部隊ヲ圍結スル爲メ設クルモノニ
シテ聯隊或ハ旅團等警報アル時命令ヲ待タス速ニ集合スヘキ所ト
ス其撰定ノ要旨ハ緊急集合場ニ準ス

十三、輜重梯隊ハ補給ノ便ト軍隊ノ後方ニ適當ノ距離ヲ存セシムルト
ノ原則ヲ配慮シ其位置ヲ定ムヘシ

給養ニ就テ（要務令第二百八十九乃至三百參看）

戰時殊ニ野戰軍ニ在テ軍ヲ給養スル處置ハ頗ル困難ナルモノニシテ
其宜シキヲ得ルト得サルトハ大ニ軍ノ運命ニ關係ヲ及ホスモノナリ
此給養ノ處置ヲシテ宜シキヲ得セシムル爲ニ指揮官タルモノハ須ク
作戰ト給養トヲ能ク調和セシメ適切ニ給養ノ諸法ヲ應用シ苟モ粗惡
缺乏ヲ訴フルヿナカラシメンヿヲ要ス而シテ戰時ノ給養諸法ハ宿舍給
養、倉庫給養、携行糧秣給養及徵發給養ノ四種トス

其一　宿舍給養

宿舍給養トハ舍主ヨリ宿舍ト共ニ糧秣ノ供給ヲ受クルモノニシテ
若シ其供給スル糧秣定量ヨリ不足シ舍主之ヲ補足シ能ハサルトキ
地方吏ニ要求シ之ヲ補足スルヲ得ルモノニシテ此給養ハ軍隊ノ爲
メニ最良ノ給養法タリ然レ𪜈廣キ舍營ニシテ且時日短少ナル時ニ

非スンハ多クハ之ヲ爲シ得サルモノトス而シテ此給養ノ場合ニ於テハ其性質上大行李ノ糧秣ヲ用ユルヿナク舍主ノ供膳ヲ受ケ或ハ舍主ノ供給スル糧秣ヲ部隊ニ於テ其携行スル炊具又ハ舍主ノ炊具ニ依リテ自炊スルモノトス

其二倉庫給養

倉庫給養トハ一地ニ倉庫ヲ設ケテ糧秣ヲ集積シ以テ直接ニ糧秣ヲ軍隊ニ支給スルモノヲ云フ故ニ倉庫ノ糧秣補塡ハ如何ナル調辨法ニ依ルモ又軍隊ニ糧秣ヲ供給スル爲メニ大行李ノ駄馬或ハ空縱列ノ人夫等如何ナルモノニ依テ運搬スルモ共ニ問フ所ニアラス然レ𪜈倉庫ノ糧秣ヲ以テ大行李又ハ縱列ノ糧秣ヲ補充シタル後之ヲ以テ軍隊ヲ給養セハ倉庫給養ノ名稱ヲ附スル能ハサルモノトス

倉庫ハ專ラ糧食縱列及諸隊ノ携帶糧秣ヲ補充スルモノニシテ其倉庫給養ヲ施行スヘキ時期ハ軍隊一地ニ永ク駐留スルトキ或ハ軍隊

寒村僻地ヲ通過スル際其宿營地ノ物資不足スルトキ豫メ其地方ニ倉庫ヲ設ケテ給養スル場合等ニシテ倉庫設置ノ場所ハ宿營地ノ近傍カ否ラサルモ宿營地ヲ距ルヿ約十二吉米ヲ超過セサルヲ例トス又倉庫ノ糧秣ヲ調辨スルニハ或ハ近傍ノ市町村ヨリ購買シ或ハ徵發ニ由リ或ハ地方官衙ニ命シテ供給セシメ或ハ背後ノ輸送ニ由ルモノトス

其三携行糧秣給養

携行糧秣トハ携帶糧秣、大行李及縱列ニ在ル糧秣ヲ總稱セルモノニシテ其孰レヲ以テ給養スルモ皆携行糧秣給養ナリ而シテ携帶糧秣ヲ使用スルハ非常ノ場合トス仝ク他ニ給養法無ク止ムヲ得サル時其使用ヲ必ス高等指揮官ヨリ命シ或ハ時宜ニ依リ隊長自已ニ責任ヲ帶ヒテ其使用ヲ命スルモノナリ又縱列ヨリ直接ニ軍隊ニ供給スルハ是亦稀有ノ場合トス而シテ糧食縱列ハ運動性ヲ有スルモノナル

ヲ以テ其糧秣ハ成ルヘク使用セサルヲ通則トシ之ヲ軍隊ニ配與スルハ大行李ノ糧秣ヲ補充スルニ他ノ方法即チ近傍ノ市町村ヨリ購買スルカ或ハ地方官衙ニ命シテ供給セシムル等ノ手段ニ依ルモ尚補充ノ途無キトキカ又ハ携帯糧秣ノ補充ヲ要スルトキ等眞ニ止ムヲ得サル場合ニ限ルモノトス是ニ由テ之ヲ推セハ大行李ノ糧秣ヲ使用スルハ携行糧秣給養ノ普通ノモノタルコヲ了知シ得ヘシ

大行李糧秣使用ノ權限ニ於テハ數多ノ論者アリト雖予ハ大行李糧秣ノ使用ハ高等指揮官ノ命令スヘキモノニシテ若シ各隊長獨斷ヲ以テ之ヲ使用セハ其應用如何ニ付責任ヲ帶フルモノナリト斷案ヲ下サントス而シテ其理由トスル所ハ要務令ニ何レノ給養ニ依ルヘキカハ高等司令部ヨリ臨時ニ之ヲ命スルモノトスト明記セラレアルト、補充調辨ノ必要上及高等指揮官ノ豫メ計畫スル所ニ從テ給養補充スル爲メト、編制上大行李ハ各部隊ニ附屬セラレアルモ其進退ハ高等指揮官ノ掌中ニ在リトノ三要旨ニ基クモノナリ

戰術實施等ニ於テ高級指揮官ノ下ス給養ニ關スル命令ハ往々單簡ヲ尚フノ餘リ遂ニ其意義ノ完全ヲ缺クカ如キコト勘カラス例令ハ「本日ノ給養ハ携行糧秣トス」ト云フカ如キ命令ニテハ給養實施上大ナル行違ヲ生スルコアルヘシ故ニ携帶糧秣ヲ用フヘキヤ又ハ尋常糧秣即チ大行李ニ在ル物ヲ用フヘキヤ是等ノ補充ハ如何スルコヲ下命シ稀有ノ場合ニ於テハ宿營地迄糧食縱列ヲ送リ得ルコモアルヘシ就中大行李ノ宿營地ニ到達スヘキ時刻若ハ各宿營地ニ分進スヘキ地點ニ到達スル時刻等ヲ指示セハ各隊長ハ此到達前ニ給養ニ必要ナル諸準備ヲ爲シ得ヘシ宜シク高級指揮官ハ徒ニ形式ニ泥マス單簡ニ失セス懇切且實際ニ適當スル如ク下命スルヲ緊要トス

其四　徵發給養

徵發トハ軍需品調達ノ實行法ニシテ其徵發シタル糧秣ヲ以テ直ニ

軍隊ヲ給養スル是ヲ徴發給養ト謂ヒ分テ官憲徴發ニ依ル給養及部隊徴發ニ依ル給養ノ二種トス

官憲徴發ニ依ル給養トハ徴發權ヲ有スル者其機關ヲ使用シ統一ニ糧秣ヲ徴發セシメ之ヲ倉庫ニ納入スルヿナク直ニ軍隊ヲ給養スルモノニシテ軍紀ヲ紊サス正實ニ爲シ得ル限リ此法ニ據ルヲ宜シトス又官憲徴發ナルモノハ通常倉庫ノ補塡若ハ縦列ノ糧秣補充ノ爲メニ行フモノニシテ之ヲ以テ直ニ軍隊ヲ給養スルハ特別ノ塲合ナリトス而シテ又官憲ニ依リ徴發サレタル糧秣ヲ以テ大行李又ハ縦列ヲ補充シ或ハ倉庫ヲ補塡シタル後之ヲ以テ給養ヲ爲スヿハ既ニ徴發給養ニ非サルナリ

部隊徴發ニ依ル給養トハ徴發權ヲ有スル軍隊指揮官カ其部下軍隊ニ一定ノ地域ヲ示シ限界ヲ明ニシテ徴發ヲ行ハシメ調達シタル糧秣ヲ以テ其隊ノ給養ヲ行ハシムルモノニシテ此法ハ動モスレハ奪掠ニ流レ軍紀風紀ヲ紊亂スルカ故ニ官憲徴發ニモ依ル能ハサル等萬止ムヲ得サル時ニ非サレハ之ヲ行フヿナキモノトス

一般ニ徴發權ヲ有シ其命令ヲ發シ得ル者ハ陸軍大臣、軍司令官、獨立師團長或ハ軍司令官ヨリ特ニ分任セラレタル師團長、特ニ任務ヲ帶ヒテ派遣セラレタル獨立隊長トス

以上陳述スル諸給養ノ外時宜ニ依リ部隊ニ一定ノ金額ヲ給シ當該隊ヲシテ其地方ノ物資ヲ適宜買取シテ自活セシムル法アリ此法ハ富饒ナル地方ニシテ永ク駐屯スル部隊等ノ爲メニハ殊ニ簡便ナルモノトス

作戰命令中給養ニ關スル項ノ記載方ニ就テハ一定ノ法則ヲ設クルノ必要更ニナク唯受命者ヲシテ疑惑ヲ生セス實施シ得セシムルヲ以テ足レリトス然レモ單ニ給養法ノミヲ命令セハ單簡ニ失シ明了ヲ缺クヿアルヲ以テ要スレハ補充ノ方法ヲ併セ示スヿアリ故ニ左ニ二三ノ

例ヲ掲ケントス

一、宿舎給養トス

一、倉庫給養トス午前(后)何時何地ノ倉庫ニ就テ分配ヲ受クヘシ

一、給養ハ携帯糧秣ニ依ルヘシ其補充ハ追テ命令ス

一、携行糧秣給養(常食)トス午前(后)何時何所ニ於テ分配ヲ受クヘシ

一、給養ハ大行李ノ糧秣ニ依ルヘシ其補充ハ後刻命令ス

一、給養ハ部隊徴發ニ依ルヘシ其徴發區域左ノ如シ(此場合時トシテ時刻ヲ示ス必要アリ)

何隊　何村

〃　〃

〃　〃

一、給養ハ官憲徴發ニ依ル午前(后)何時何地ニ於テ分配ヲ受クヘシ

宿營命令ニ記載スヘキ要件

一、敵狀ノ大要及一般ニ通知ヲ要スヘキ我軍ノ狀況

二、我目的ノ大要

三、獨立騎兵ニ關スルコト

獨立シテ前方ニ在ル騎兵隊ニ命令ヲ傳達シ得レハ通常左ノ事ヲ命令ス

概略ノ宿營地、警戒及捜索スヘキ地方、特ニ偵察スヘキ地

若シ前哨線内ニ歸還セシムヘキトキハ任務ヲ續行シアル時間又ハ宿營歸還ノ時刻、宿營地、要スルハ前方ニ於ケル必要ノ處置(停止斥候ヲ置ク等)

四、警戒隊ニ關スルコト

警戒隊ノ主力ノ宿營スヘキ位置警戒區域、特ニ捜索及偵察ヲ爲スヘキ地方、特ニ掩護スヘキ隘路等此ノ他時トシテ翌日行進ノ爲メ架橋スヘキ地點及其完成ノ時刻等ノコトヲモ示スコトアリ

五、側支隊或ハ側衛ニ關スルコト（要スルトキノミ）

六、本隊ノ諸隊ニ關スルコト

宿營ノ種類、本隊ノ各部隊ノ宿營地、同上司令官ノ任命、特ニ本隊ヨリ派遣スヘキ部隊ノ警戒捜索ノ方法、要スレハ警急大集合場ノ指示、此他他施スヘキ工事

七、給養ニ關スルコト

種類、要スレハ分配時刻及其地點、部隊徴發ニ在テハ其區域、露營或ハ携帶糧秣ヲ用フルトキハ需用品ヲ取ル地（上記ノ他前ニ說述セル給養ノコトヲ參看スヘシ）

八、輜重梯隊ノ宿營及其他ニ關スルコト

輜重梯隊ハ通常道路ニ沿フテ宿營セシメ且其細部ハ其隊長ニ一任スルモノナルカ故ニ通常其宿營地ノ區域ハ大略先頭ト後尾トノ位置ヲ概定シテ示セハ可ナルモノトス

此他要スレハ彈藥或ハ糧食補充ノ爲メ其縱列ヲ招致スヘキ地點及時刻竝ニ空縱列トナリタルモノヽ復歸宿營スヘキ地點ヲ示ス

場合ニ依リ此項ニハ右ノ要旨ノミヲ示シ輜重梯隊ニハ特別ニ命令ヲ下スコトアリ

九、指揮官ノ所在地及翌日ニ係ル命令受領者ヲ出スヘキ時刻

注意　上記ノ他宿營命令ニ於テ注意スヘキハ獨立騎兵等ヲ離隔シテ宿營セシムル場合ニ於テ其大行李ヲ如何スヘキヤヲ指示スルコトナリ然ラスンハ隊及其大行李共ニ處置ニ惑ヒヲ生スヘシ

混成第一旅團命令　四月十七日午后三時　知立町北端ニ於テ

一、今正午以後彼我ノ騎兵斥候ハ鳴海大高附近ニ於テ衝突セリ

兵力知レサル敵兵天白川右岸ヲ占領セルモノヽ如シ

二、旅團ハ本夜知立町附近ニ宿營セントス

三、獨立騎兵ハ午后五時迄鳴海附近ニ在テ捜索ヲ續行シ然ル後知立町
北方里山ニ歸來シテ同地ニ舍營スヘシ
但シ東海道方面ノ敵ニ對シ接觸ヲ維持セシムル爲メ有力ナル一將
校斥候ヲ殘置スヘシ
四、前衛ハ其本隊ヲ以テ逢見村逢見ニ宿營シ鳴海大高方向ニ對シテ境
川ノ線ヲ警戒シ且第二師團ノ前哨ト連絡ヲ保持スヘシ
砲兵第一中隊ハ同大隊ニ復歸セシメ又騎兵四騎ヲ歩兵第二聯隊第
一大隊ニ交付スヘシ
五、歩兵第一聯隊第一大隊ヨリ一部隊ヲ小山田新田屋敷ニ出シ大府村
方向ニ對シテ警戒セシムヘシ之ニ騎兵四騎ヲ附ス
六、本隊ノ諸隊ハ左ノ如ク舍營スヘシ
旅團司令部　知立町
歩兵第一聯隊第二大隊　同第二聯隊本部竝ニ第二大隊
騎兵一分隊
砲兵第一大隊
歩兵大佐某(第二聯隊長)ハ知立町舍營司令官タルヘシ
歩兵第二聯隊第一大隊　一木村
衛生隊　駒場村
警急大集合場ハ知立町西方ノ陸田トス但シ第二聯隊第一大隊ノ爲
ニハ一木村西方ノ畑地トス
七、給養ハ宿舍給養ニ依ルヘシ
八、予ハ知立町ニ在リ午后八時命令受領者ヲ出セ

旅團長少將某

傳達法

獨立騎兵ニハ一葉ヲ筆記シテ傳騎ヲシテ齎ラサシメ爾餘ノ諸隊ニハ

命令受領者ヲ集メテ筆記セシム

備考

副官ヲ遣シ前衛ニ停止ヲ命シ警戒線ト前衛本隊ト概略ノ宿營地及本隊ノ宿營地トヲ示シ命令受領者ヲ知立町北端ニ出スコトヲ命ス

同時ニ各隊ノ命令受領者ヲ集ム

大行李ニハ宿營表ノミヲ送附ス(又必要ニ依リテハ午后何時迄ニ何地ニ行クヘキヤヲ命スルコトアリ)

旅團長ハ本隊ヲ知立町東端ヨリ東方ニ停止シ自身ハ北端ニ至リ副官ヲシテ前件ヲ前衛ニ命セシメ又傳騎ヲ取リ各隊長ノ許ヘ宿營ノコト、舍營司令官ノ官姓名、命令受領者ヲ出スコトヲ傳達セシム此際宿營ノ大略ヲ圖ヲ以テ示スヲ得ハ各隊ハ宿營地ヲ知リ命令受領者ノ歸還スル頃ニハ舍營地ニ至ルヲ得ヘシ又他ノ傳騎一騎ハ大行李ニ送ル

舍營準備ヲ爲ス舍營司令官以下ノ動作(要務令舍營ノ部參看)

今一ノ場合トシテ左ノ研究ヲ爲サントス(知立町附近ノ土民ハ若干不穩ノ狀アルモノトス)

一、旅團長ハ知立町附近ニ宿營スルノ預定ニテ概略ノ計畫ヲ定メ今村西北端ニ於テ歩兵第二聯隊長ニ知立町舍營司令官ヲ命シ之ニ所要ノ命令(訓令)(略ス)ヲ與ヘタリ

是ニ依テ舍營司令官ハ聯隊副官ヲシテ舍營ノ日直將校ヲ割出サシメ次ニ知立町ニ舍營スヘキ預定ナル歩兵第一聯隊ノ第二大隊、仝第二聯隊本部及第二大隊、砲兵大隊ノ設營隊及部隊日直ハ直ニ出發知立町中部ヨリ箕輪ニ至ル三叉路附近ナル町役場ニ到ルコトヲ傳騎ヲ以テ命令シ尚旅團長ニ騎兵一分隊ノ分屬ヲ請求シ此騎兵及日直將校並歩兵第二聯隊副官ヲ從ヘテ知立町ニ向ヒ先行シ歩、砲兵隊ノ設

營隊司令ニハ追及スヘキヲ命ス

二、舍營司令官知立町ニ到着スルヤ騎兵分隊ノ二騎ヲ殘シ他ヲ二分シ其一部ヲ舍營日直將校ニ附シ他ノ一部ヲ聯隊副官ニ屬シ舍營地ノ主ナル出口即チ知立町ノ北端、師崎街道ノ出口及知立町ヨリ實輪ニ通スル道路ノ出口等ニ哨兵ヲ配布シテ人民ノ通行ヲ禁止セシメ同時ニ兩官ヲシテ警急大集場トナルヘキ地ヲ視察セシ後町役場ニ集ルヲ命ス

三、舍營司令官自身ハ騎兵二騎ヲ隨ヘテ知立町ニ入リ公吏若ハ名望家ヲ拉シテ町役場ニ至リ舍營ノ要求ヲ爲ス

四、此所ニテ舍營日直及聯隊副官ノ報告ヲ聞キ警急大集合場ハ知立町西方陸田ニ選定セシヿヲ報告シ次ニ舍營日直ニ歩兵隊及砲兵本隊ノ誘營將校ヲ屬シテ警戒ニ關スル件即チ內外衛兵ノ位地、員數、司令部及騎兵分隊ノ舍營地並ニ各隊舍營區域、砲廠、馬繋場、飲料、飲馬用水等ノ景況ヲ偵察セシム（要スル片ハ警急集合場ノ全部又ハ一部ノ選定ヲ命スルヿアリ）

五、歩兵聯隊副官ヲシテ地方建或ハ名望家ニ就テ物資ノ調査又之ヲ徴集スルノ手段ヲ講セシムルヿニ依テ旅團長ノ豫メ示サレタル給養ノ種類ヲ確定シ得ルナリ

六、右總テ舍營司令官ハ舍營地全部ヲ視察シ諸報告ヲ聞キタル後各隊ノ舍營地及警急大集合場等ヲ略圖ニ記註シ次ノ命令ヲ口達ス

各設營隊ニ與フル命令

一、各隊ノ舍營地及警急大集合場ハ別紙略圖ノ如シ

二、宿舍給養ト ス

三、旅團司令部ハ某方ニ在リ

舍營日直ニ與フル命令

一、歩兵第一聯隊第二大隊ヨリ知立町北端及師崎街道ノ出口ニ各一

分隊、歩兵第二聯隊第二大隊ヨリ知立町東端及同町ヨリ箕輪ニ通スル道路ノ出口ニ各一分隊ノ外衛兵ヲ出シ主ナル道路ヲ警戒セシムヘシ

二、風紀衛兵ハ某所ニ置キ其司令ハ將校トシ且所要員ハ歩兵第二聯隊第二大隊ヨリ出スヘシ

風紀衛兵ハ毎時巡察ヲ出シ且特ニ主ナル道路ノ集合點及外衛兵ノ設ナキ諸出口ヲ巡視セシムヘシ

三、歩兵兩大隊ヨリ巡察將校各一名ヲ出サシムヘシ

四、警報ニ際シテ大行李ハ馬繋場ニ在テ駄載シ後命ヲ待ツヘシ

五、旅團司令部ハ某所ニ予ハ某所ニ在リ

注意　舍營司令官若シ警急集合場ノ全部又ハ一部ヲ選定シタル片ハ併セテ命令ス

諸號音禁止、舍營地出入免許證ニ關スルコトヲ規定スルコトアリ

風紀衛兵ハ建制部隊ヲ用ウヘキモノニアラス又舍營司令官ハ之ヲ配置スルノ方針即チ巡察回數、特ニ哨兵ヲ置クヘキ地ノ如キコトヲ指示セハ可ナリ

舍營日直ハ之ニ基キ部隊日直ニ殊ニ出スヘキ人員ノミヲ命ス而シテ部隊日直ハ之ニ自隊ニ要スル人員ヲ加ヘテ指示セラレタル地點ニ哨兵ヲ配置シ之ヲ衛兵司令ニ引繼キ然ル後舍營日直ニ報告ス

七、右ノ命令ヲ下シ舍營司令官ハ舍營準備整頓シタルコトヲ旅團長ニ報告ス

八、舍營司令官ハ各隊ヨリ其本部ノ宿所ヲ報告シ來レハ之ヲ旅團司令部ニ報告ス

問　歩兵大隊ノ設營隊司令ハ如何ナルコトヲ爲スヤ

答　本部ノ位置及各中隊ノ舍營區域、炊事場、馬繋場、診斷所、大小行李監視員及輸卒等ノ宿舍竝ニ荷物ノ置場ヲ定ム

問　歩兵大隊部隊日直ノ為スヘキ如何ナルヤ

答　各営日直ヨリ差ヤタル衛兵ノ人員、巡察、外衛兵ノ位置人員、当該大隊ヨリ要スル衛兵ノ人員、集合場ニ至ル各隊ノ取ルヘキ道路ヲ大隊長ニ届告シ然ル後自ラ其宿営地域内ニ特ニ要スル衛兵ヲ配置シ爾後屢々巡察スヘキモノトス

問　歩兵大隊長トシテ舎営中ニ為スヘキ処置ハ如何

答　旅団ノ完全ナル宿営命令ハ通常宿営地ノ入口ニ於テ下附セラルヘキモノトス故ニ大隊長ハ此命令ニ依テ敵状、我カ目的及投宿並ニ命令受領者ヲ直ニ出スヘキコトヲ命シテ舎営地内ニ入リ設営隊司令及部隊日直ヨリ上記ノ諸件ヲ聞キ然ル後次ノ命令ヲ下ス

診断ノ時刻、炊事場ノ位地、食事分配ノ時刻、警急集合場及此ニ至ル道路ノ指示及本部ノ位置

副官ハ巡察、衛兵、炊事ニ要スル人員及之ヲ出スヘキ中隊ヲ割出シ又行李ニハ馬繋所、荷物置場及宿舎等ヲ指示ス

翌日ニ関スル命令ハ通常当番卒ヲシテ各中隊ヲ持廻ラシムルヲ宜トス

戦役ノ実験ヨリ来ルトテ舎営及露営、勤務ノ将校下士ハ不必要ナリトノ説ヲ為ス者アルヤニ聞クモ未タ俄ニ之ニ同意スルヲ得ス

状況　十七日午后九時迄ニ旅団長ハ左ノ諸情報ニ接ス

一、敵ノ兵力ハ約一師団ニシテ平針街道ヨリ東海道ニ亘リ天白川ノ右岸ニ陣地ヲ占領セルモノヽ如シ

二、第二師団ハ本夜若園村附近ニ宿営シアリ明日ハ依然平針街道ヲ前進ス

三、天白川ニハ所々ニ徒渉場アリ

問　旅団長ハ明日如何ナル方法ニテ前進セントスルヤ

答　騎兵中隊ハ依然獨立シテ前方ノ捜索ニ任シ爾餘ノ諸隊ハ二縱隊トナリ東海道及師崎街道ヲ前進セントス其區分左ノ如シ

右縱隊

歩兵第一聯隊本部及第一大隊
騎兵第二中隊ノ二分隊
砲兵第一大隊
工兵第一中隊(二小隊欠)

左縱隊

旅團ノ殘餘

大行李ハ東海道ヲ前進ス

其理由次ノ如シ

敵ハ天白川右岸ヲ占領スルヲ以テ進出ノ公算尠シ
敵ハ天白川右岸ヲ占領スルヲ以テ進出ノ公算尠シ
敵ハ天白川右岸ヲ占領スルヤ分明ナラスト雖笠寺附近ヲ占領スル際若シ鳴海方面ヨリ進出セハ損害多ク且又時間ヲ徒費スヘシ
築大脇ヨリ桶狹間ニ出ツル山地ハ歩兵ノ行進困難ナラス又此場合部隊ヲ分割スルモ取ルヘキ兩道ノ間隔狹キヲ以テ相應スルモ易キ故ニ兵力分離ノ弊害ニハ陷ラサルナリ又砲兵ハ地形上隘路ヲ出テタル所ニテ使用スヘキヤヲ考フレハ本道ヲ取ラシムルカ後來ノ使用上便利ナラン

狀況　十八日午前五時三十分獨立騎兵ハ宿營地ヲ出發シテ笠寺方向ヘ前進ス

右縱隊ハ午前六時其歩兵ノ先頭ヲ以テ境橋ヲ出發本道ヲ前進ス
左縱隊ハ歩兵第二聯隊第一大隊及騎兵十騎ヲ前衛トシ其歩兵ノ先頭ヲ以テ午後五時四十五分泉田東南方ノ橋梁ヲ發シ近畸桶狹間ヲ經テ大高ニ向ヒ前進ス

本隊ハ午前五時四十分警急大集合場ニ集合即時行進ヲ起ス

右縦隊ノ軍隊區分ハ左ノ如シ

前衛

司令官歩兵第四中隊長

歩兵第四中隊

騎兵二分隊(四騎欠)

本隊(同行軍序列)

歩兵第三第二中隊

工兵小隊

砲兵大隊

歩兵第一中隊

注意(要務令第百十四ヲモ參看スヘシ)前哨ノ撤收時刻ヲ示スニ午前何時ヨリ前哨ヲ撤セヨト云フハ警施困難ナルヘシ故ニ午前何時迄ニ何

地ニ集合スヘシト命スルハ其司令ハ距離上ヨリ警戒上トヲ考慮シテ收容ノ時刻ヲ定ムヘキヲ以テ働キノ餘裕アリ

逢見ニ在ル前哨本隊ニハ午前五時四十五分逢見西方ノ畑地ニ集合ヲ命ス午前六時逢見村中央無名寺ノ西方十字路ヲ先頭トシテ本道上ニ集合スヘキヲ命ス

前哨第一中隊ニハ午前六時三十分曉橋附近ノ道路ノ傍ニ集合シ行軍序列ニ入ラシム

第二中隊ヨリ出セシ泉田ノ小哨ニハ左縦隊ノ先頭其線ニ達スルト同時ニ警戒ヲ撤シ桑大鞠ノ北方ニテ所屬中隊ニ合スルヿヲ命ス

東境ノ獨立下士哨ニハ撤收時刻ヲ示ス即チ午前五時四十五分警戒ヲ撤シ曉橋ニテ中隊ニ入ラシム

新前衛ニ下スヘキ命令ハ集合場ニ於テス

騎兵小隊長ニ卒五名ヲ附シテ尖兵(一名ハ連絡)トシ本道ヲ前進セシ

ム其後方約三百米ニ歩兵一小隊ヲ歩兵尖兵トシテ進メ尚其後方約四百米ニ前衛本隊行進ス殘餘ノ騎兵ハ此本隊ノ先頭ニ置ク

右ノ如ク部隊小ナレハ前兵ヲ設ケスシテ其任務ハ前衛本隊之ヲ兼ヌルモノトス

前衛本隊ト本隊トノ距離ハ約五百米突トス

掩護スヘキ部隊小ナルトニ依テ各部隊間ノ距離ヲ短縮スルヿヲ得又一ニハ捜索ニ任スル部隊小ナルニ從テ距離ヲ大ニスル必要ヲ生スルトノ原則アリト雖此原則ハ例ヘハ師團カ行軍スルトキニ際シ歩兵一聯隊ヲ前衛トセハ其兵力多キニ過クルヲ以テ之ヲ歩兵一大隊ト爲シタル如キ場合ヲ指スモノナリ

狀況　午前九時旅團ハ兩縦隊ノ先頭ヲ以テ鳴海及大高ニ達セシモ彈藥縦列到着ノ遲滯ニ原因シ第二師團ノ運動ニ伴フ爲止ムヲ得ス一時該線ニ停止シ午后一時再ヒ前進ヲ始メ笠寺附近ニ在リシ寡弱ノ敵ヲ

撃退シ同地ヲ占領シ次テ彌富村字中根ヨリ北井戸田ニ亘リ堅固ニ陣地ヲ占領セル敵ニ對シ第二師團ノ平針街道方面ノ敵ニ對スル攻撃動作ト共ニ之ニ向テ攻撃ヲ開始セリ然ルニ日没ニ及フモ遂ニ戰鬪ノ勝敗ヲ決スルニ至ラス爲ニ全線戰鬪ヲ中止シテ彼我共ニ占領地附近ニ宿營セントス

戰鬪前及戰鬪中ニ於テ旅團長ノ見聞セル敵陣地ノ狀況左ノ如シ

中根ノ南端ヨリ其西南ノ凸角ヲ經テ其西方桑畑附近ノ高地端ニ亘リ強固ノ散兵壕ヲ構築シアリ又北井戸田ノ南端ニモ同樣ノ工事ヲ施セリ

戰鬪ノ景況ニ依レハ敵ノ歩兵ハ約三大隊ノ兵力ト推測シ得尚北井戸田ニハ約二中隊ノ歩兵アルカ如シ

砲兵ハ約二中隊ニシテ中根西方約六百米ノ高地上(二軒家ノ在ル高地)ニ在リテ堅固ナル工事ヲ施シアリ又此陣地ノ右側前ニ在ル森林

ハ多少伐採シアルモノト如シ

問題

十八日夜ニ於ケル旅團ノ宿營配備略圖

旅團ノ宿營配備ニ關スル講評及答解ノ理由(戰鬪準備隊形ノ露營)(要務令第百一參看)

○普通ノ前哨ト自カラ任務異ルヲ以テ戰鬪線前ノ要點ニ配置スルニ獨立下士哨又ハ下士哨ノ符號ヲ以テスルハ適當ナラス若シ之ニ相當スル兵力ヲ置クナラハ部隊ノ符號ヲ以テシ其傍ニ兵力ヲ記シ置クヲ宜シトス

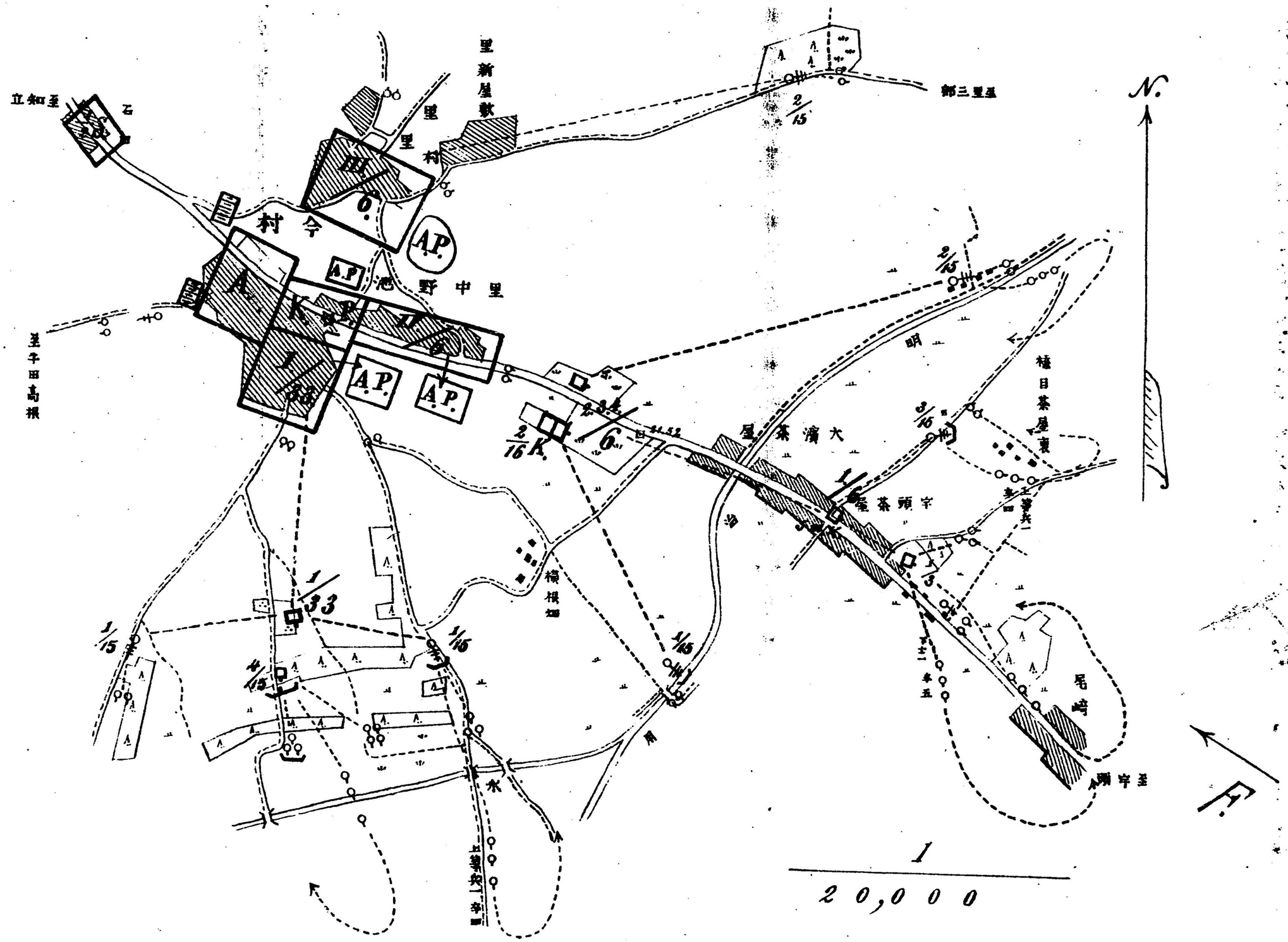
○跨際工事ヲ施スハ晴日ノ攻擊ニ是非據點トス可キ必要アル地點及前進運動ヲ幇助スルニ要スル地點ニノミ散兵壕ヲ構築スヘシ

○騎兵ハ主力ノ本隊ノ附近ニ置キ之ヲ捜索ノ中心トシテ左側ノ警戒

第一圖

東軍支隊宿營配備略圖

作戰四月八日夜ニ於ケル



第一圖

ニ任スルカ至當ナリ即チ熱田方面ニ屬セル斥候或ハ部隊ヲ派遣スルヲ宣シトス

○砲兵ハ夜間其用無キヲ以テ運動ノ便ヲ圖リテ適當ナル地ニ置クヘシ明朝モ本日ノ陣地ニ據ラシムルヲ可トス之レ砲車ノ手入又ハ修理ヲ施スノ必要アルノミヲ下ケルカ如キハ不適當ノ處置トス

○戰鬪準備隊形ノ徹夜ト雖總豫備隊ハ狀況之ヲ許シ且適當ノ位置ヲ選メハ純然タル露營ヲ許スモ可ナリ

○衛生隊ハ開設シタル儘ニテ夜ヲ徹セシムルヲ可トス

○民家ヲ利用シテ集合シアル隊標ヲ表ハスハ下圖ノ如クスヘシ

○携帶糧秣ヲ使用セシトスル考案アルモ素之ヲ使用スルハ萬止ムヲ

得サルヤ即チ如何シテモ他ノ給養法ニ據ルノ能ハサルヤニ於テ行フヿニシテ今日ノ場合ニ在テハ大行李ノ糧秣ヲ使用スルヿヲ得ヘシ其方法ハ大行李中ノ炊具ト糧秣ノミヲ招致シ諸隊ノ位置セル後方適宜ノ所ニ於テ炊爨セシメ而シテ各隊ヨリ派遣シタル炊事卒又ハ人夫ヲ用ヒ或ハ大行李ノ駄馬ヲ使用シテ糧食ヲ各隊ノ所在地ニ運搬セシムヘキナリ從テ炊爨所遠隔ニ過クルハ此際好マシカラス笠寺ヲ以テ適當ノ距離ト爲スヿ而シテ大行李中ノ糧秣及炊具ノ他ノ物ハ鳴海町ニ置クヘク倘炊具ハ炊爨終リシ後ハ直ニ鳴海ニ復歸セシムルヲ要ス

注意歩兵露營ノ正規ノ隊形ハ要務令ニ示シアルモ實驗ニ依ルニ集合ニ方リ兵卒ヲシテ混雜ナク又銃線ヒ就カシムル爲メ兵卒ノ休憩地ハ小隊毎ニ又銃線ニ近ク位置セシムルヲ利益トス

繃帶所ハ戰線ヲ距ル一成ルヘク一千米以内ニ選定スヘシトノ原則ア

ルモ實際ニ於テハ決シテ之ヲ履行シ得サルモノナルヿヲ實驗ス師團ノ戰鬪正面擴大セルトキニ於テハ殊ニ然リトス故ニ此距離ハ之ヲ戰術上ノ判斷ニ委スルヲ可トス

○答解ノ理由

我旅團笠寺ノ敵ヲ擊退シタル後ハ先以テ旅團悉皆ヲ呼續村ニ入ルカ或ハ一部ヲ此地ニ置キ主力ハ天白川左岸ニ置クカ又ハ之ニ反スル處置ヲ取ルカヲ判斷セサルヘカラス而シテ騎兵斥候等ノ報告ニ依テ敵カ中根ヨリ井戸田ニ亘テ陣地ヲ占領スルヿヲ知リテ爾後ノ攻擊ニ決心スルナリ

抑モ笠寺ニ入リシ諸隊カ更ニ野並ニ轉位スルハ困難ニシテ且敵ヨリ視察セラレ又地形上天白川ノ堤防ハ據點トナルモ此地ニ到着スル迄ノ間ニハ多クノ損害ヲ被ムルヘク且該方面ニハ砲兵陣地ハ在ルカ如クニシテ無キナリ此方面ニ轉位セハ第二師團ニ連絡スルハ

確實且容易ナルモ前面ノ敵ヲ攻撃スルニ就テハ千竈新屋敷ノ高地ヲ我有トセサルヘカラサルヲ以テ此地ニ一部隊ヲ派遣スルヲ要ス若シ然ルトキハ此部隊ト野並ニ在ル隊トノ連絡困難ナリ加之敵ハ退却上ニ便利ナルカ爲ニ攻撃効ヲ奏スルモ其結果ハ良好ナラサルヘシ故ニ今好ンテ前陳ノ不利ヲ犯シテ主力ヲ野並方面ニ轉スルノ價値アラサルヘシ

井戸田ヨリ敵ノ側翼ニ迫ルモ亦妙ナラス何トナレハ井戸田或ハ北井戸田ノ高地ハ容易ニ略取スルヲ得ルモ敵ノ本正面ニ直接ニ迫ルヿ難ケレハナリ且敵ハ大喜本願寺等逐次ニ防禦シテ退却スルヿヲ得又我ハ敵ノ砲兵ヨリ側射ヲ受ケ加之此際千竈新屋敷ニ逆襲ヲ被ムルヿアランカ我ハ退路ヲ失ヒ危險甚シ

砲兵陣地前方ナル凸角ヲ攻撃點トスル考案ノ基ク所ハ其前方ニ多少ノ村落アリテ近接ニ容易ナリト判斷シテ之ニ着目セシナラン然ルニ此點ハ凸角ノ如ク見ユルモ敵ノ全線ヨリ見ルトキハ寧ロ凹角ニシテ之ニ近接スルニハ側射ヲ受ケ且新屋敷前ニテ長時間縱射ヲ被ルノ不利アルヲ以テ危險ト損害多クシテ地形上凸角ヲ包圍スルノ利ヲ生セス又山崎ノ水車ノ在ル附近ヲ前進セハ敵ノ砲兵ノ好目標トナルノ患アリ而シテ又該攻撃點ノ爲ニハ北井戸田ハ少クモ我有トセサルヘカラス然ルニ是ヲ略取スルニハ可ナリ多クノ兵力ヲ分割スルヲ要スルノミナラス此兵カ果シテ効ヲ奏スルヤ測リ知ルヘカラス何トナレハ此方面ノ敵ハ我ニ妨害ヲ逐次ニ與ヘ得ルノ據點ヲ有スレハナリ故ニ此攻撃點モ亦好ム所ニアラサルヘシ

中根西南ノ凸角ハ地形上包圍ヲ行フヿヲ得之カ爲ニハ野並ニ一部隊ヲ出スヲ必要トス而シテ凸角前ノ運動ハ容易ニシテ且又集射ヲ行フヿヲ得敵ヨリ被ムル射撃モ少シ陣地ノ形狀ヨリ論スルモ此凸角ニ對シテハ他ノ攻撃點ニ比シ我動作自在ニシテ損害ヲ被ムルヿ

少カルヘシ故ニ此攻撃點ヲ有利トスル之カ爲ニハ前陳ノ如ク天白川ノ堤防ニ一部隊ヲ出スヲ要ス此隊ハ笠寺ヨリ主力カ主攻撃ノ方面ニ進出スル片ニ於テ出スヘキモノニシテ從テ上記ノ判斷ハ笠寺ニ於テ既ニ爲スヘキモノトス

師團ト連絡ニ就テハ甚シク必要ナシ何トナレハ此間ノ開濶地ヲ敵カ前進スルハ不利ノ甚シキモノタルヲ以テ進出ノ公算尠ケレハナリ

天白川ノ堤防ニ出ス兵力ハ成ルヘク制限スルヲ要ス故ニ一大隊ノ分割ハ許サス然レ𪜈一中隊ニテハ過少ナルヲ以テ建制ヲ割クノ害ヲ忍テ二中隊ヲ出スヲ適當トスヘシ而シテ此隊ニハ天白川ノ水流ヲ占領スルヲ努メシムヘキナリ

凸角攻撃ニハ歩兵第二聯隊ノ第一大隊ヲ千竈新屋敷ノ北方ニ同第二大隊ハ其左右ニ展開シ北井戸田方向ヲ牽制シ且左翼ヲ掩護セシム

總豫備隊ハ六中隊トス

砲兵ハ其二中隊ヲ呼續村ノ北ノ陣地ニ置ク此陣地ハ地形ノ狹キト攻撃點ニ向テ効力少キヲ以テ他ノ一中隊ハ千竈新屋敷東南端ノ高地ニ放列ヲ布キ先ッ砲兵ノ効力ヲ現ハスヲ待ッ而シテ機熟スレハ豫備隊ノ第三大隊ヲ先ッ展開シ二中隊ヲ豫備トシテ新屋敷ノ東端ヨリ前進ス

右ノ狀況ニテ歩砲兵ノ準備射撃ノ機熟セサル內ニ日暮レタルカ又ハ攻撃實行ノ際ニ一時擊退セラレタルカ明カナラサルモ要スルニ以上ノ景況ヲ判定シテ而シテ後宿營ノ配備ハ第二圖ノ如シ

（上文混成旅團ノ天白川右岸ニ於ケル動作ハ無キモノトシテ）

狀況　第二師團ヲ歩兵第三旅團ヲ島田方面ニ歩兵第七聯隊ヲ植田方面ニ展開シ仝第八聯隊ヲ豫備トシ八事ニ向テ攻撃ヲ實施シ暫時激戰ノ後戰勝ヲ獲取シ午后六時三十分ノ頃田代廣路ノ線ヲ占領ス此時友軍ナル混成第一旅團ハ高田及熱田附近ニ達シアル筈ナリ情報ニ依レハ敵ノ遁却方向ハ名古屋及名古屋ノ東方ヲ經テ可ナリ散亂シテ退却セリト第二師團長ハ占領地附近ニ宿營スルニ決ス

問題

十八日夜ニ於ケル第二師團ノ宿營及警戒ノ略圖

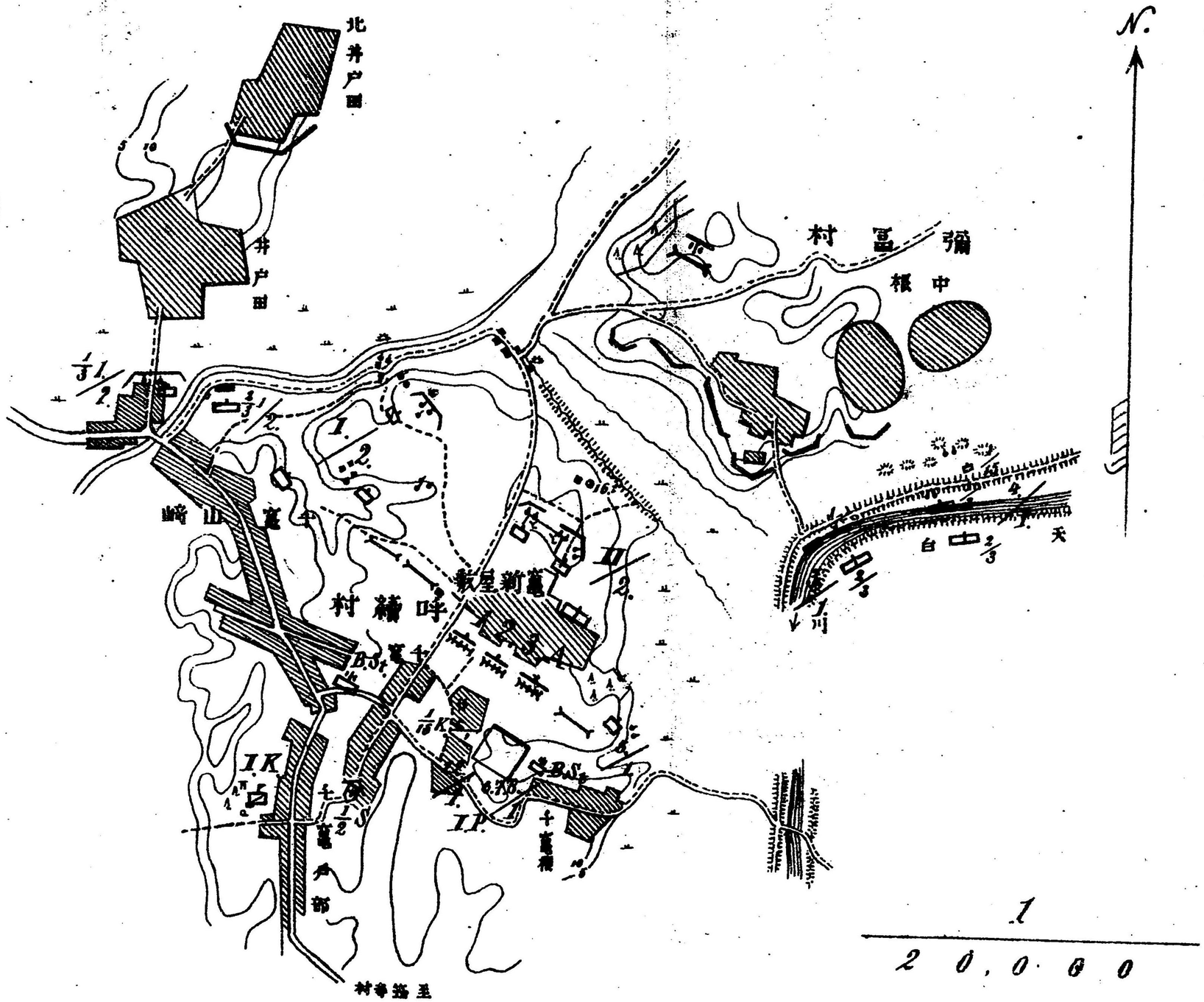
第二師團ノ警戒及宿營ノ講評

○普通ノ警戒面上ニ出スハ小哨ニシテ其兵力ハ必スシモ一小隊ト定ムヘカラス小哨ニシテ可ナリ又獨立下士哨ハ小哨ノ連絡側面ノ警戒等ニ用フルモノニシテ兵數ノ大小及緊要ノ度

第二圖

混成第一旅團宿營配備之畧圖

作戰四月十八日夜ニ於ケル



備考

一、東海道笠寺村南端ニ歩兵第一聯隊第二中隊ヨリ下士一卒十名ヲ派遣シ本道ノ警戒ニ任ス

二、騎兵第二中隊ノ一小隊（一分隊欠）ハ第二師團ト連絡ノ爲メ野立附近ニ在リ

至熱田町